

阿見町
男女共同参画に関する
町民意識調査結果報告書

令和3年6月

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の方法及び対象者	3
3	調査の方法及び回収状況	3
4	分析・表示について	3
II	調査結果の分析	5
	あなたご自身についてお伺いします。	7
	F 1 性別	7
	F 2 年齢	7
	F 3 結婚の状況	8
	F 3-1 共働き	8
	F 4 世帯構成	9
	F 5 同居の家族の状況	9
	F 6 居住年数	10
	F 7 中学校区について	10
1	男女共同参画社会の形成についておうかがいします。	11
	男女の地位に対する意識	11
	法令等の認知度	16
	「男は仕事、女は家庭」という考え方について	20
	女性の社会参画が少ない理由	21
	議員・審議委員長など女性の登用割合について	22
	女性の進出が少ない分野に対する優先枠の考え方について	23
2	家庭生活についておうかがいします	24
	家庭における男女の役割分担	24
	家庭における役割分担	28
	男女の生き方や家庭生活に関する意識について	34
	男女が共に家事、子育てや教育、介護等に参加していくために必要なこと	39
3	子育てについておうかがいします	41
	出生数が減少する理由について	41
	子育てに関する考え方	42
	教育の場での男女共同	46
4	高齢化についておうかがいします	47
	老後の不安	47
	介護について	49
5	労働・職場についておうかがいします	51
	職業	51
	男女における仕事の内容や待遇面の差	52
	仕事をされていて困ること	53
	女性が役職につくこと	55
6	ワーク・ライフ・バランスについておうかがいします	56
	生活の中での優先度（希望）	56
	生活の中での優先度（現状）	57
	女性にとって望ましい生き方	58
	女性の再就職と家庭等の両立支援や対策で望まれること	59

7 男女の人権についておうかがいします	60
職場・学校・地域における不愉快な経験	60
配偶者やパートナーからDVを受けた経験	62
だれかに打ち明けたり、相談したか	66
誰か（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由	67
DV対策や援助の充実	69
「性的少数者」の認識度	70
「性的少数者」に対する意識	70
「性的少数者」の人権を守るために必要な取組	71
8 情報についておうかがいします	72
テレビやビデオ、インターネット等などの表現について	72
インターネットによる情報交換について	73
9 男女共同参画センターについておうかがいします	74
男女共同参画センターの認知度	74
男女共同参画センターに必要な機能	75
10 施策の要望についておうかがいします	76
自由記述	79
資料編 アンケート調査票	87
1 調査票	89

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和4年度に策定する「阿見町第4次男女共同参画プラン」の基礎調査として町民の男女共同参画に関わる生活の実態や意識などを把握し、町の男女共同参画関連施策の展開に資することを目的とする。

2 調査の方法及び対象者

町内在住の20歳以上の方2,000人を無作為に抽出。

郵送による配布、回収。（令和2年12月18日～令和3年1月31日）

3 調査の方法及び回収状況

配布数	回収数	回収率
2,000件	926件	46.3%

4 分析・表示について

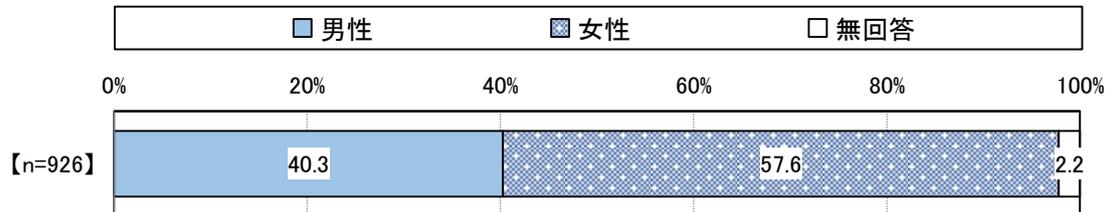
1. 回答の比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%とならないこともあります。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、算出しています。このため、すべての比率を合計すると100%を超えることがあります。
3. グラフ中の「n=〇〇」という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
4. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合があります。

Ⅱ 調査結果の分析

あなたご自身についてお伺いします

F 1 性別

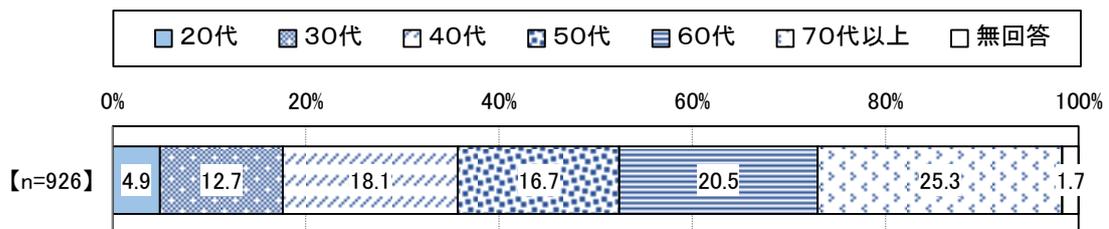
あなたの性別をお答え願います。(〇は1つ) ※自認している性別でかまいません



性別は、男性40.3%、女性57.6%と女性の方が多くなっています。

F 2 年齢

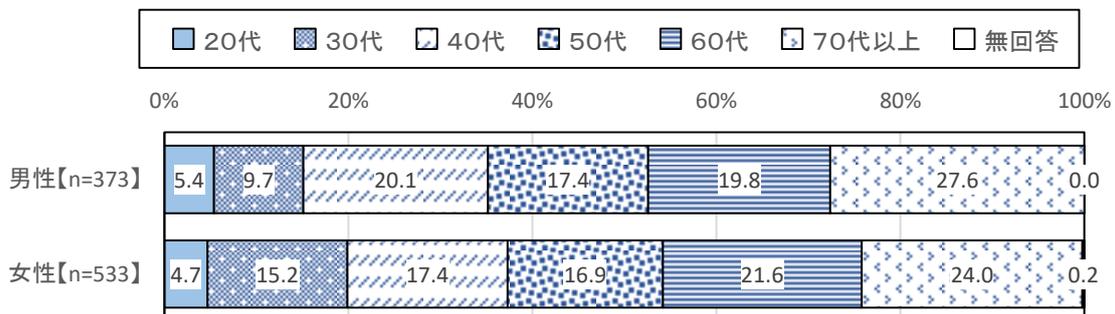
令和3年1月1日現在のあなたの年齢は、次のどれになりますか。(〇は1つ)



年齢構成は、年齢が上がるに従い回答割合が多くなっています。最も少ないのが「20代」の4.9%、最も多いのは「70代以上」の25.3%となっています。

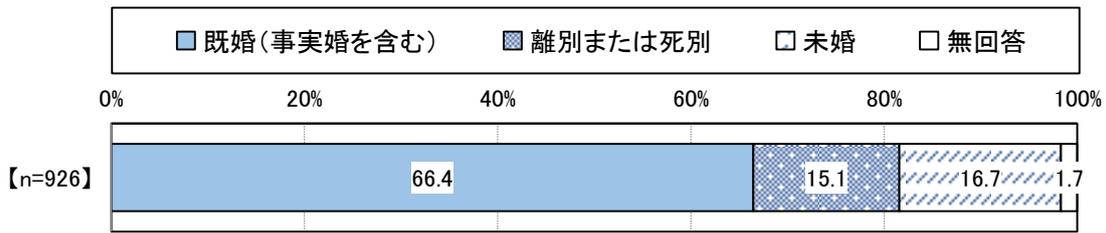
男女別にみると、回答割合は全体と同じような傾向となっていますが、「30代」では、女性の回答割合が男性よりやや多くなっています。

【男女別集計】



F 3 結婚の状況

ご結婚されていますか。(〇は1つ)

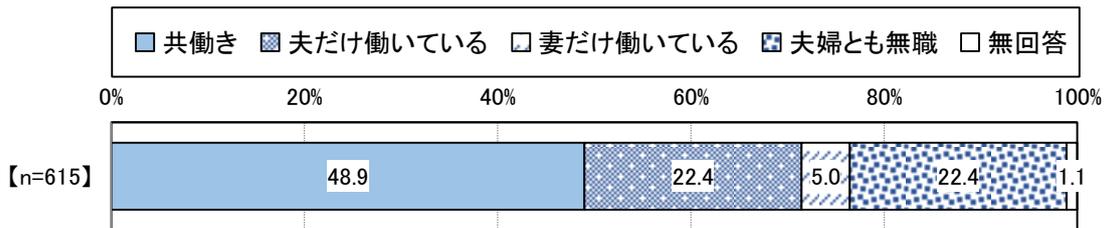


結婚をしているか尋ねたところ、「既婚（事実婚を含む）」と回答した方が66.4%、「離別または死別」と回答した方は15.1%、「未婚」と回答した方は16.7%となっています。

F 3-1 共働き

【F 3で「1 既婚（事実婚も含む）」とお答えた方におうかがいします】

F 3-1 あなたの世帯は共働きですか。(〇は1つ)



既婚（事実婚を含む）と回答した方に、労働状況について尋ねたところ、「共働き」と回答した方は48.9%と最も多く、既婚者の半数が夫婦共に働いています。

また、「夫だけ働いている」と回答した方は22.4%、「妻だけ働いている」と回答した方は5.0%となっています。

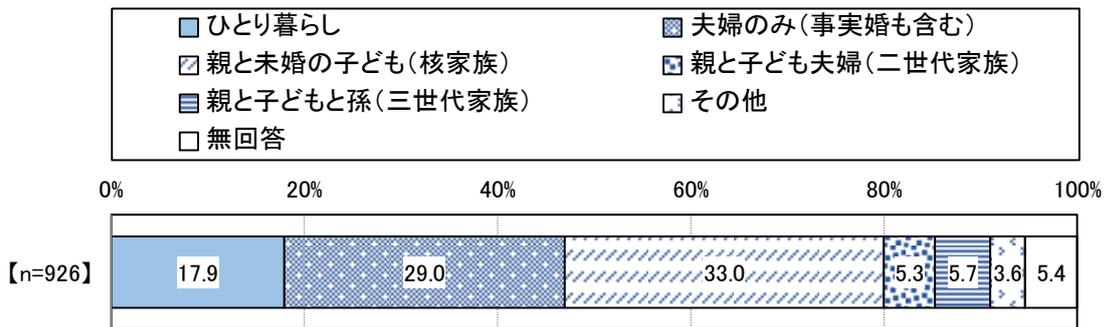
さらに、年齢別でみると30代～50代にかけて「共働き」の回答が7割を超えるなど、高い傾向が見られました。

【年齢別集計】

単位: %	共働き	夫だけ働いている	夫婦とも無職	妻だけ働いている	無回答
全体【n=615】	48.9	22.4	22.4	5.0	1.1
20代【n=9】	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0
30代【n=80】	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
40代【n=114】	71.9	26.3	0.0	1.8	0.0
50代【n=96】	77.1	18.8	2.1	1.0	1.0
60代【n=148】	39.9	26.4	20.9	11.5	1.4
70代以上【n=167】	14.4	14.4	62.3	6.6	2.4

F 4 世帯構成

同居しているご家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。（〇は1つ）

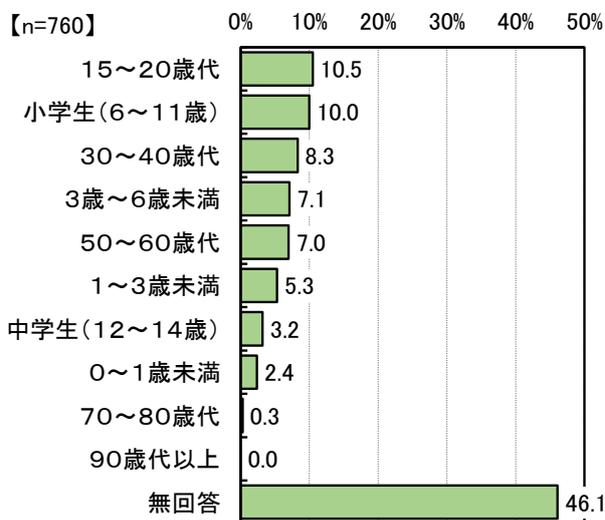


世帯構成について尋ねたところ、「親と未婚の子ども（核家族）」と回答した方が33.0%と最も多く、次いで、「夫婦のみ（事実婚も含む）」の29.0%、「ひとり暮らし」の17.9%、「親と子どもと孫（三世世代家族）」の5.7%、「親と子ども夫婦（二世世代家族）」の5.3%となっています。

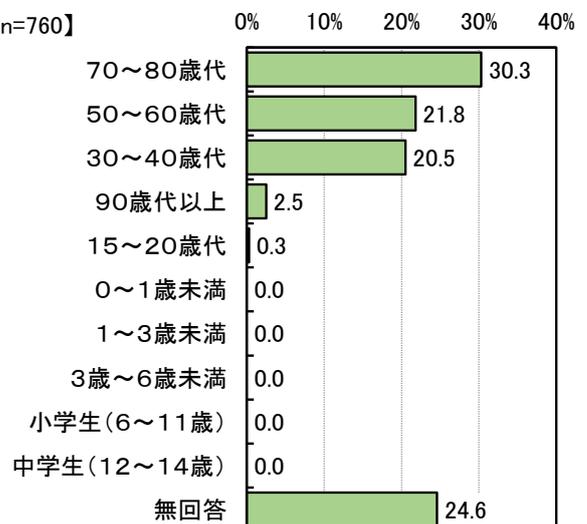
F 5 同居の家族の状況

ひとり暮らし以外の方におうかがいします。世帯のなかで最も年齢が若い方と最も高齢の方は次のどれですか。（〇はそれぞれ1つ、同年代のみの世帯は1つ）

【最も若い年齢の方】



【最も高齢の方】

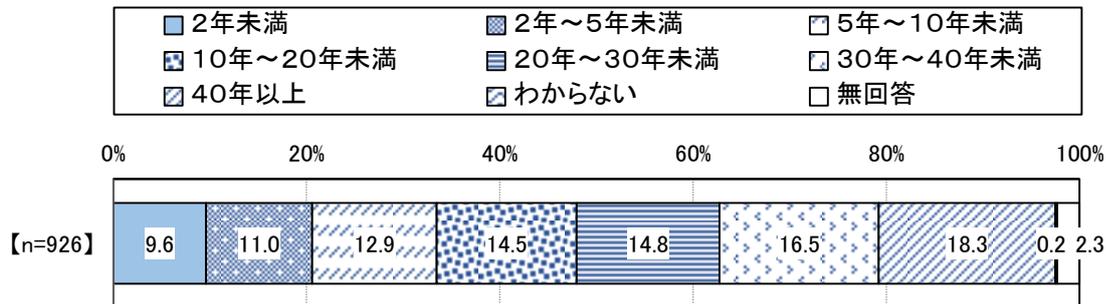


同居している家族の中でもっとも年齢が若い方と最も高齢の方について尋ねたところ、最も若い方は「15~20歳代」が10.5%で最も多く、次いで、「小学生（6~11歳）」の10.0%、「30~40歳代」の8.3%などとなっています。

また、最も高齢な方は「70~80歳代」が30.3%と最も多く、次いで、「50~60歳代」の21.8%、「30~40歳代」の20.5%となっています。

F 6 居住年数

現在の居住地場所に何年お住まいですか。（○は1つ）



居住年数を尋ねたところ、「40年以上」が18.3%で最も多く、次いで、「30年～40年未満」の16.5%、「20年～30年未満」の14.8%、「10年～20年未満」の14.5%となっています。

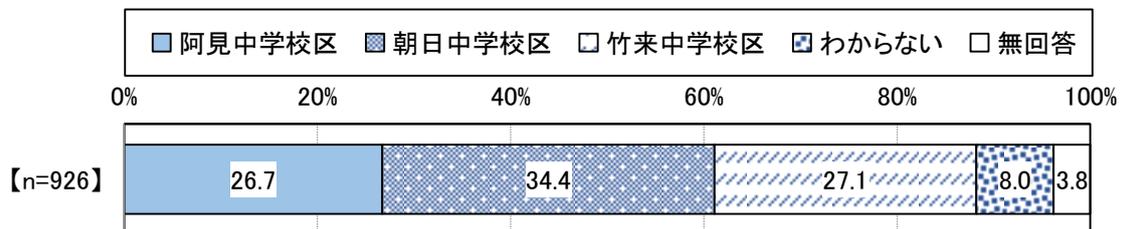
また、年齢別でみると、「20代」、「30代」では2年未満と回答する割合が多く、「40代」を境に、10年以上と回答する割合が多くなっています。

【年齢別集計】

単位: %	2年未満	2年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年～40年未満	40年以上	わからない	無回答
全体【n=926】	9.6	11.0	12.9	14.5	14.8	16.5	18.3	0.2	2.3
20代【n=45】	48.9	26.7	6.7	11.1	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
30代【n=118】	30.5	26.3	28.0	3.4	4.2	6.8	0.0	0.0	0.8
40代【n=168】	7.1	16.7	23.8	35.1	5.4	3.6	7.7	0.0	0.6
50代【n=155】	7.1	11.0	11.0	17.4	26.5	10.3	14.2	1.3	1.3
60代【n=190】	4.2	4.2	7.9	10.5	23.2	27.9	21.6	0.0	0.5
70代以上【n=234】	0.0	2.6	4.7	7.7	15.0	29.5	39.7	0.0	0.9

F 7 中学校区について

お住いはどの中学校区ですか。（○は1つ）



生活している地域の中学校区について尋ねたところ、「阿見中学校区」と回答した方は26.7%、「朝日中学校区」と回答した方は34.4%、「竹来中学校区」と回答した方は27.1%となっています。

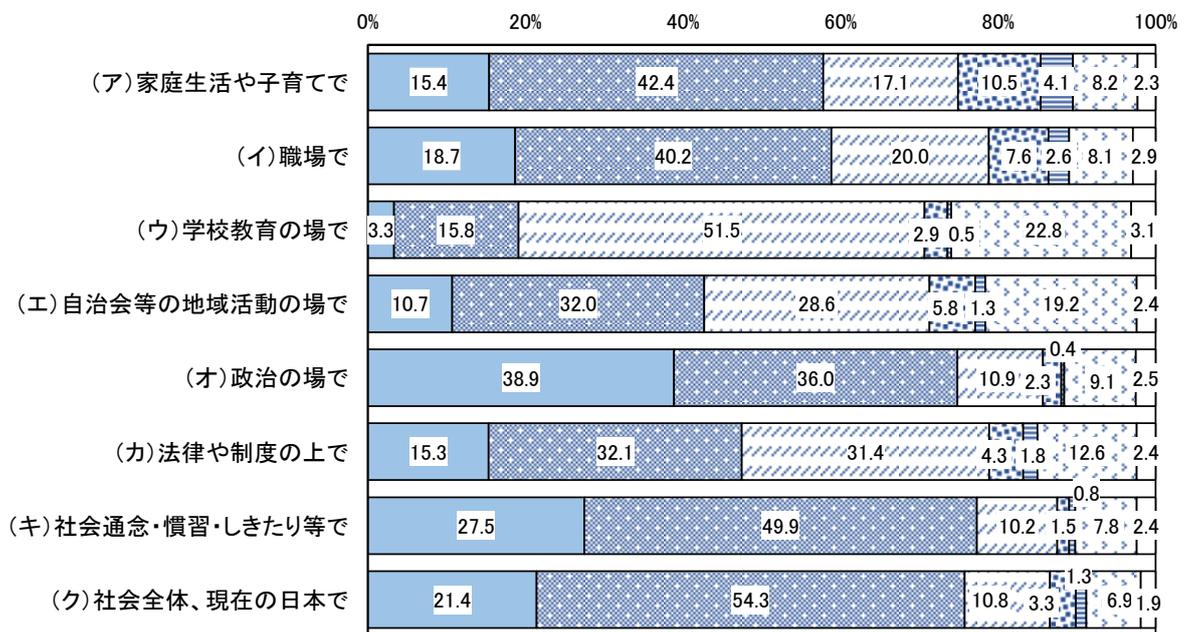
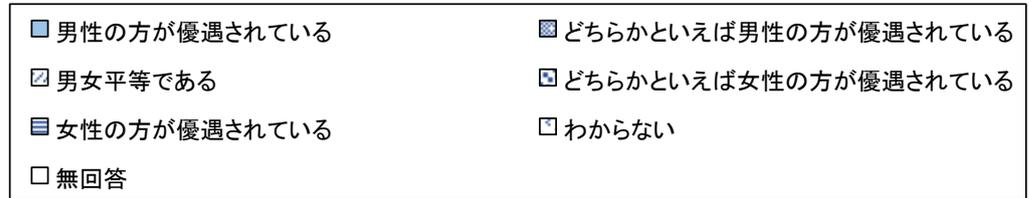
1 男女共同参画社会の形成についておうかがいします

男女の地位に対する意識

問1 あなたは、次のような場で男女がどの程度平等になっていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（それぞれに○は1つ）

【全体】

【n=926】



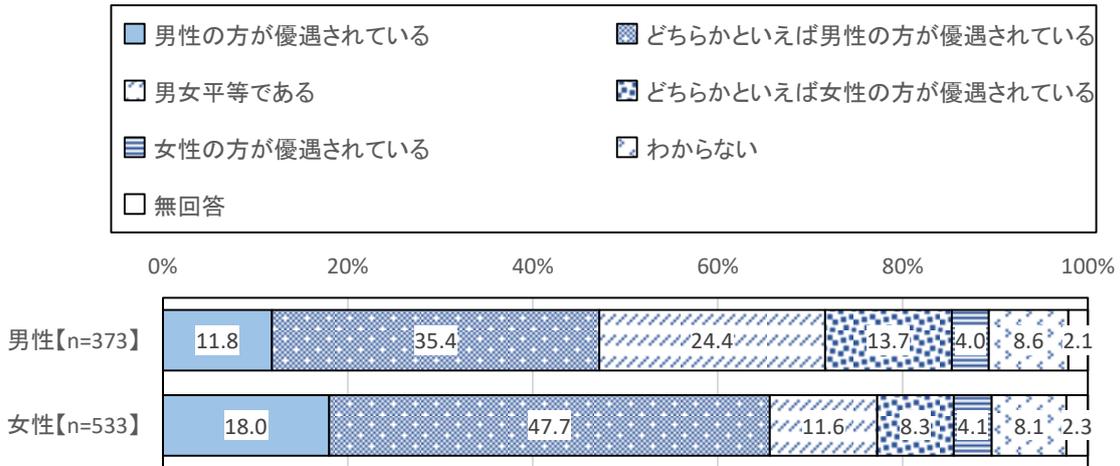
男女の地位に対する意識について、「(ウ) 学校教育の場で」を除くすべての設問において、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた回答が「男女平等である」や「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた回答よりも上回る結果となっています。

そのなかでも、「(オ) 政治の場で」、「(キ) 社会通念・慣習・しきたり等で」、「(ク) 社会全体、現在の日本で」では、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた回答が約8割を占めています。

また、「男女平等である」の回答が半数を占めたのは、「(ウ) 学校教育の場で」のみとなり、「女性の方が優遇されている」、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた回答の占有率が高い設問はみられませんでした。

【男女別集計】

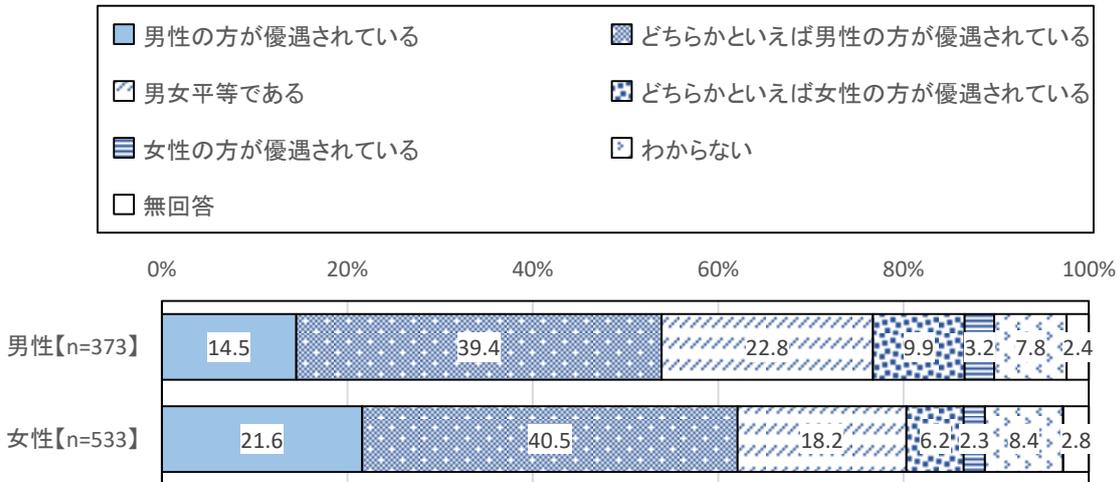
(ア) 家庭生活や子育てで



(ア) 家庭生活や子育てでを男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が11.8%、女性は18.0%と女性が男性を6.2ポイント上回っています。

また、「女性の方が優遇されている」は男性が4.0%、女性は4.1%とその差はほとんどみられませんでした。

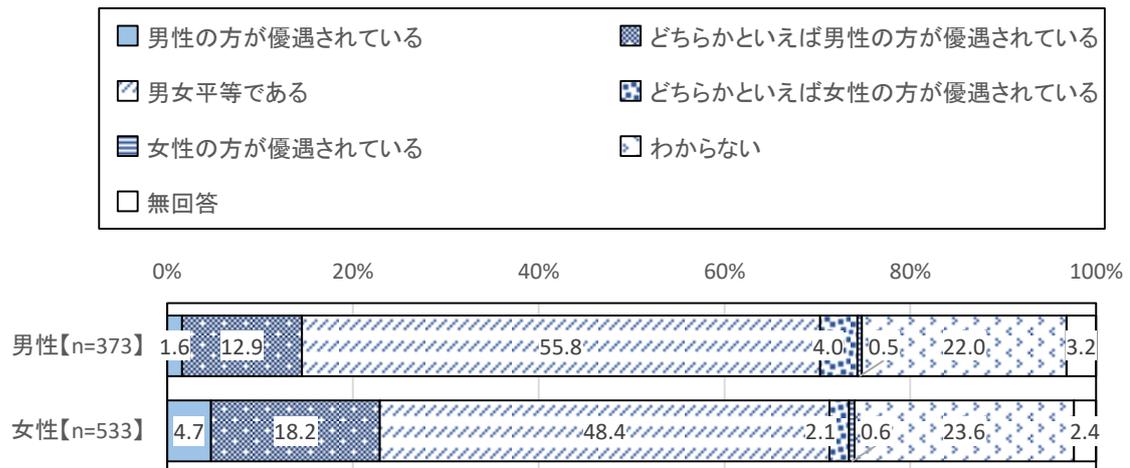
(イ) 職場で



(イ) 職場でを男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が14.5%、女性は21.6%と女性が男性を7.1ポイント上回っています。

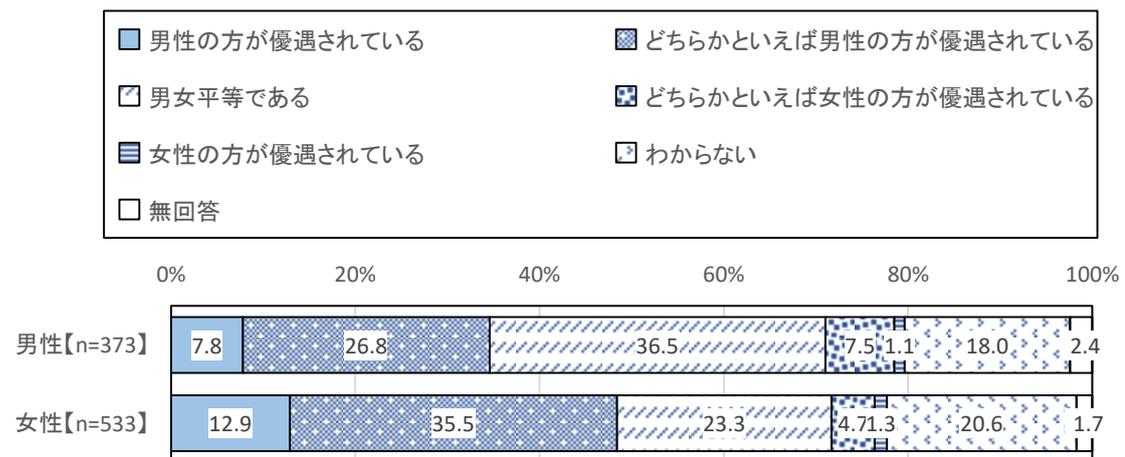
また、「女性の方が優遇されている」は男性が3.2%、女性は2.3%と男性がわずかに上回る結果となりました。

(ウ) 学校教育の場で



(ウ) 学校教育の場を男女別にみると、男女ともに「男女平等である」が半数を占めていますが、「男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた回答割合は、女性の方が高い傾向がみられました。

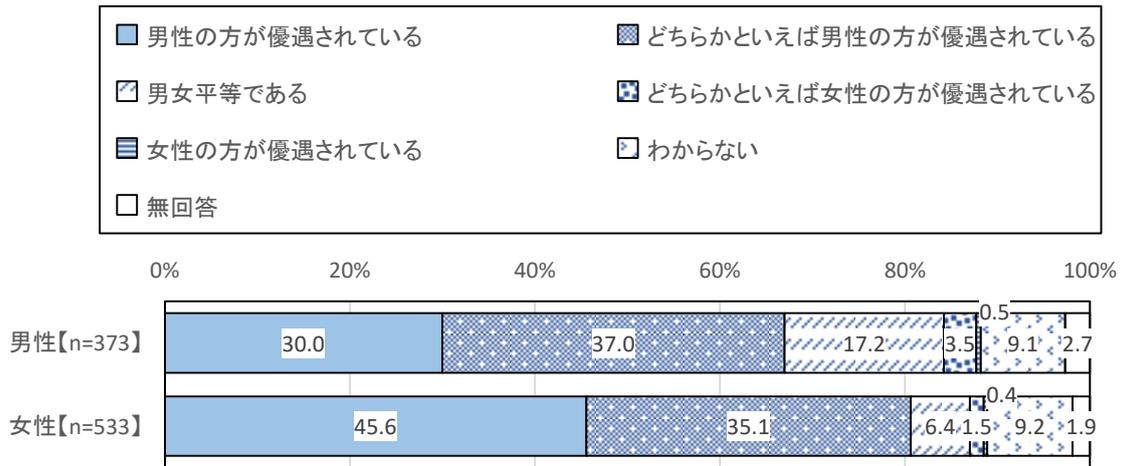
(エ) 自治会等の地域活動の場で



(エ) 自治会等の地域活動の場を男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が7.8%、女性が12.9%と女性が男性を5.1ポイント上回っています。

また、「女性の方が優遇されている」は男性が1.1%、女性は1.3%とその差はほとんどみられませんでした。

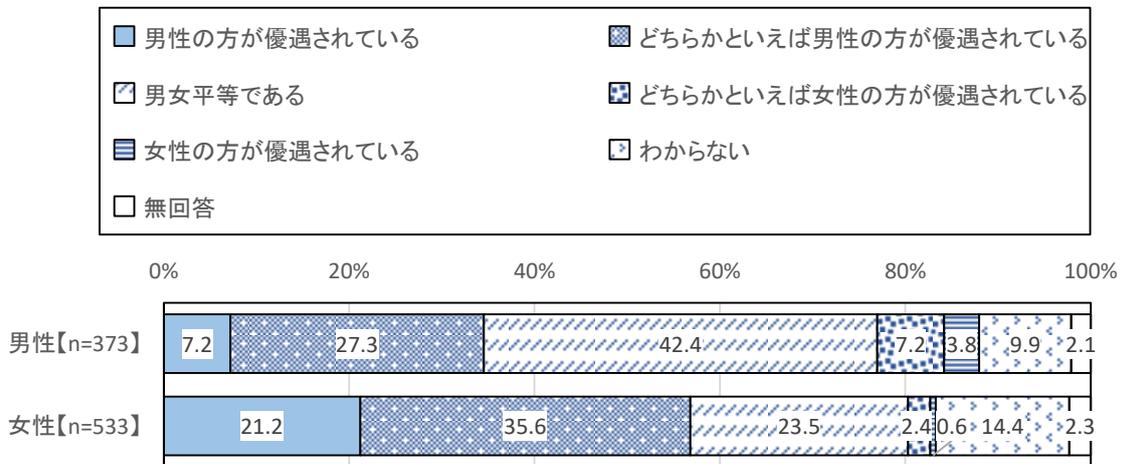
(オ) 政治の場で



(オ) 政治の場を男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が30.0%、女性は45.6%と女性が男性を15.6ポイント上回っています。

また、「女性の方が優遇されている」は、男性が0.5%、女性が0.4%と回答割合は低く、回答の男女差もみられませんでした。

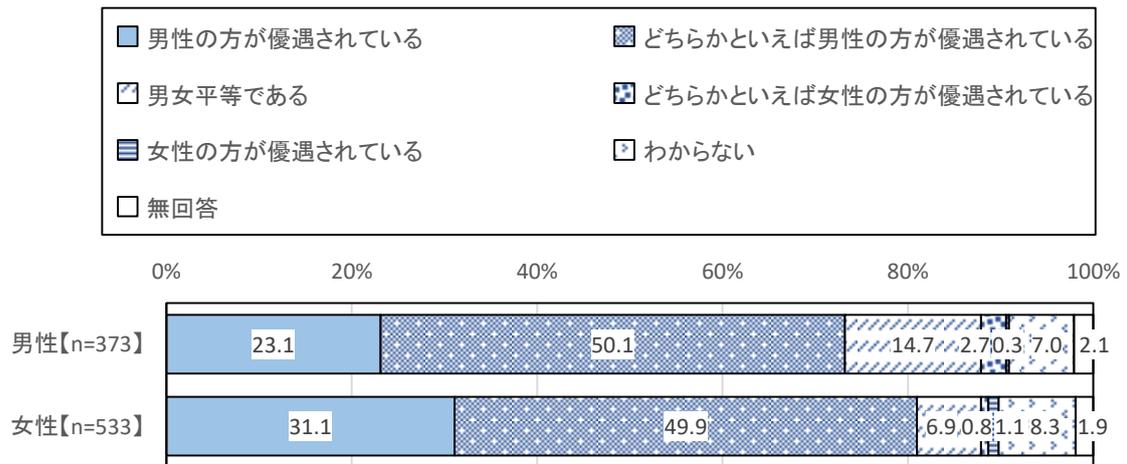
(カ) 法律や制度の上で



(カ) 法律や制度の上を男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が7.2%、女性は21.2%と女性が男性を14.0ポイント上回っています。

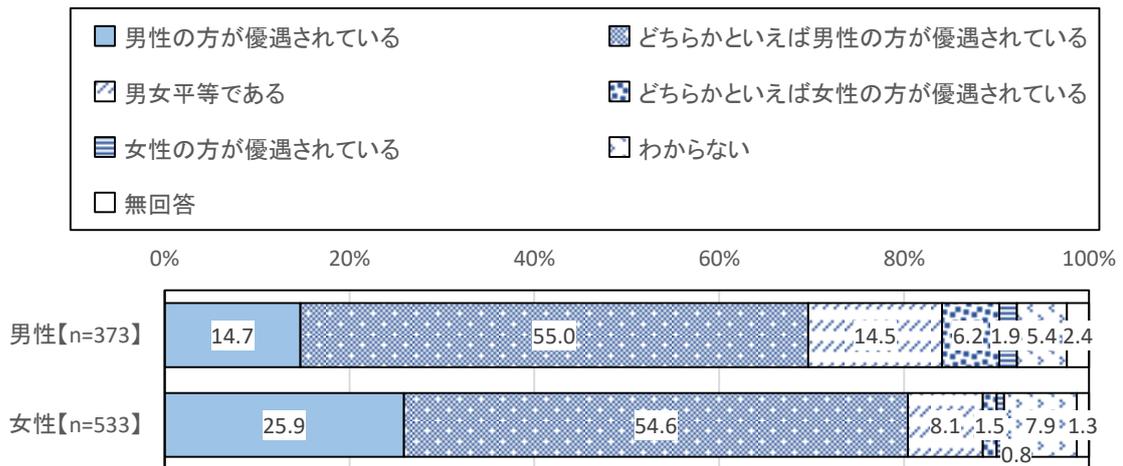
また、「女性の方が優遇されている」は男性が3.8%、女性が0.6%と男性が女性を3.2ポイント上回っています。

(キ) 社会通念・慣習・しきたり等で



(キ) 社会通念・慣習・しきたり等を男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が23.1%、女性は31.1%と女性が男性を8.0ポイント上回っています。また、「女性の方が優遇されている」では、男性が0.3%、女性は1.1%となっています。

(ク) 社会全体、現在の日本で



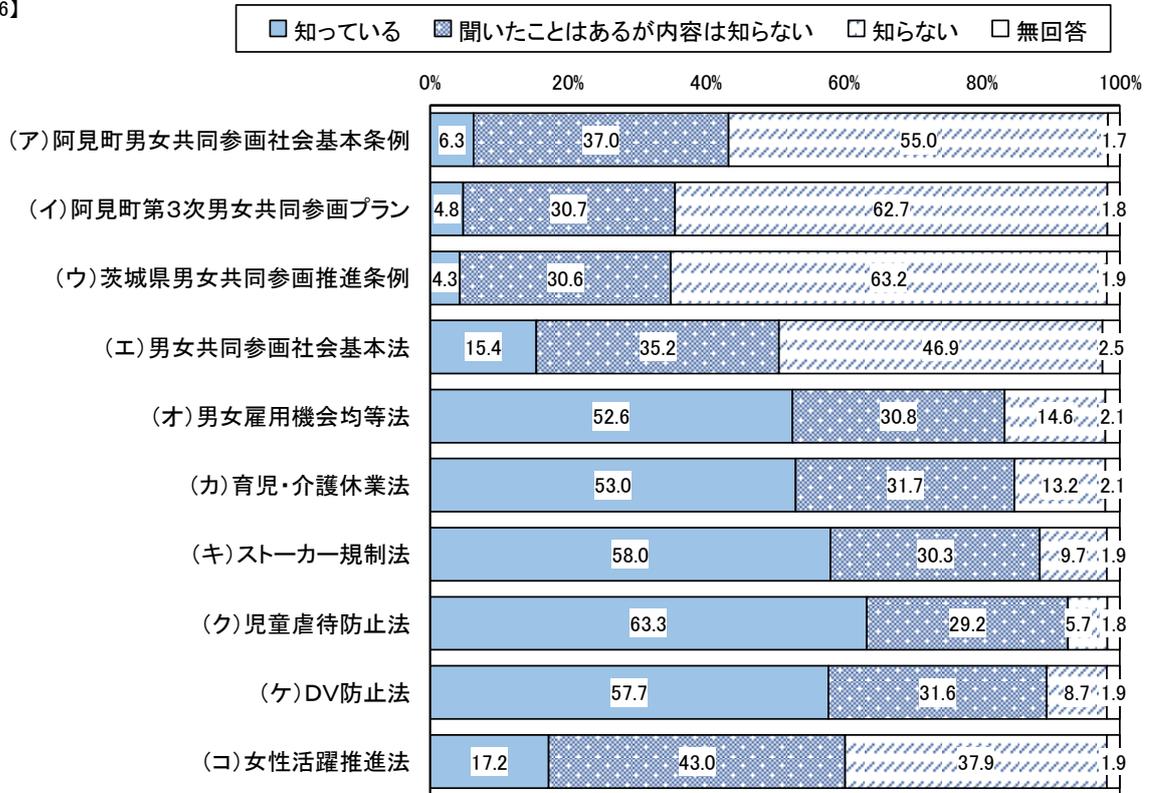
(ク) 社会全体、現在の日本でを男女別にみると、「男性の方が優遇されている」は男性が14.7%、女性は25.9%と女性が男性を11.2ポイント上回っています。また、「女性の方が優遇されている」は男性が1.9%、女性は0.8%となっています。

法令等の認知度

問2 次にあげる、法令等のことを知っていますか。(それぞれに〇は1つ)

【全体】

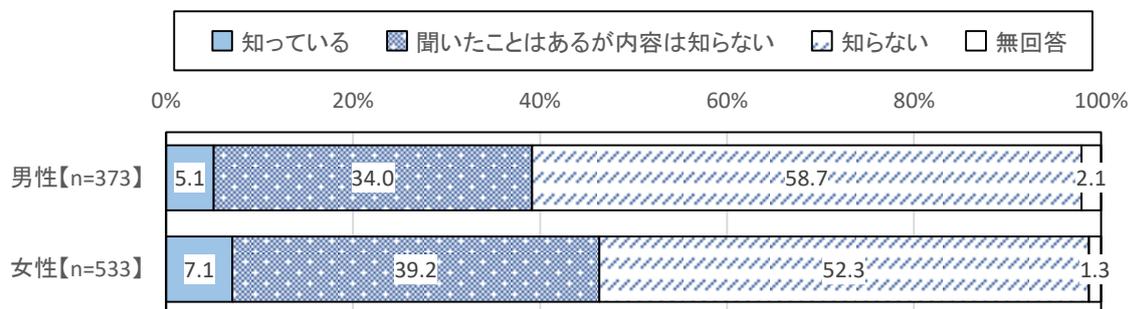
【n=926】



法令等の認知度について、「知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」を合わせた回答が多い設問は、「(ク)児童虐待防止法」が92.5%と最も多く、次いで、「(ケ)DV防止法」が89.3%、「(キ)ストーカー規制法」が88.3%、「(カ)育児・介護休業法」が84.7%、「(オ)男女雇用機会均等法」が83.4%などとなっています。

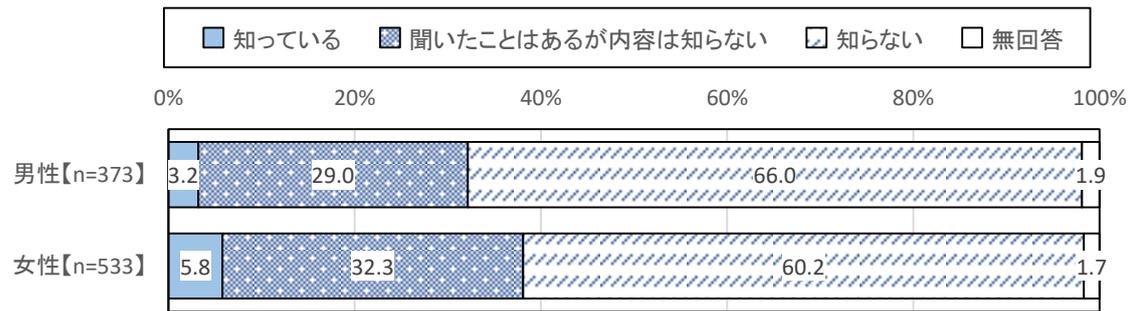
【男女別集計】

(ア) 阿見町男女共同参画社会基本条例



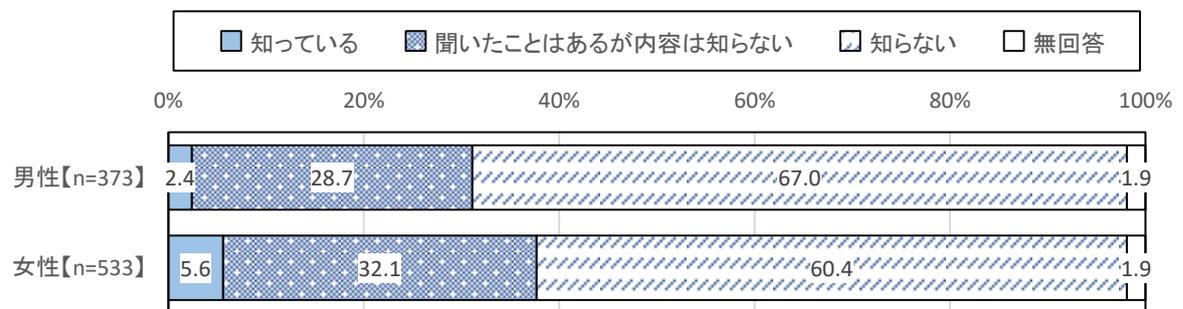
(ア) 阿見町男女共同参画社会基本条例を男女別にみると、「知っている」は男性が5.1%、女性は7.1%と女性が男性を2.0ポイント上回っています。

(イ) 阿見町第3次男女共同参画プラン



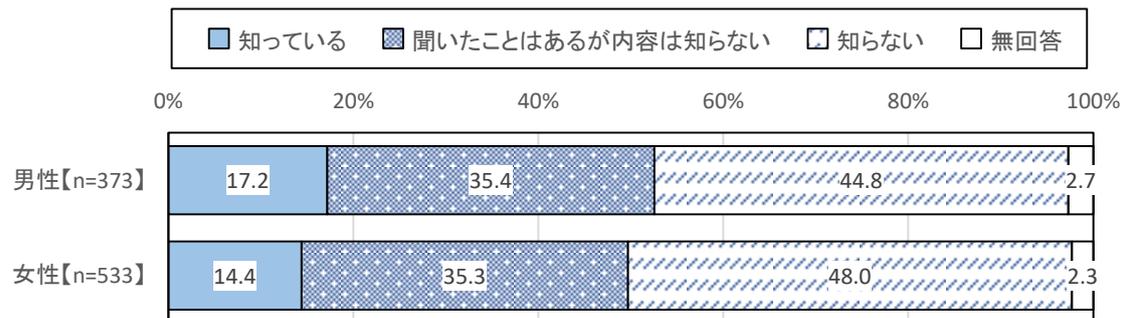
(イ) 阿見町第3次男女共同参画プランを男女別にみると、「知っている」は男性が3.2%、女性は5.8%と女性が男性を2.6ポイント上回っています。

(ウ) 茨城県男女共同参画推進条例



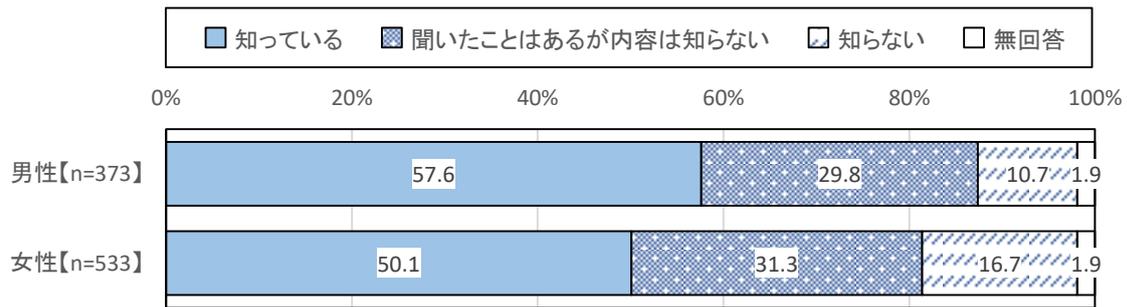
(ウ) 茨城県男女共同参画推進条例を男女別にみると、「知っている」は男性が2.4%、女性は5.6%と女性が男性を3.2ポイント上回っています。

(エ) 男女共同参画社会基本法



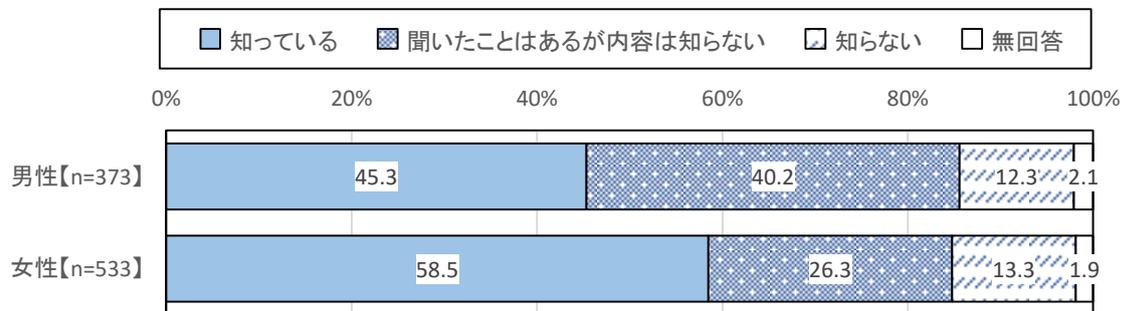
(エ) 男女共同参画社会基本法を男女別にみると、「知っている」は男性が17.2%、女性は14.4%と男性が女性を2.8ポイント上回っています。

(オ) 男女雇用機会均等法



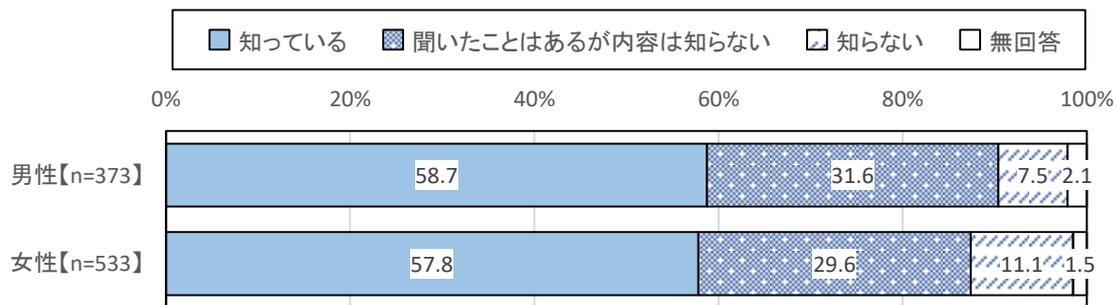
(オ) 男女雇用機会均等法を男女別にみると、「知っている」は男性が57.6%、女性は50.1%と男性が女性を7.5ポイント上回っています。

(カ) 育児・介護休業法



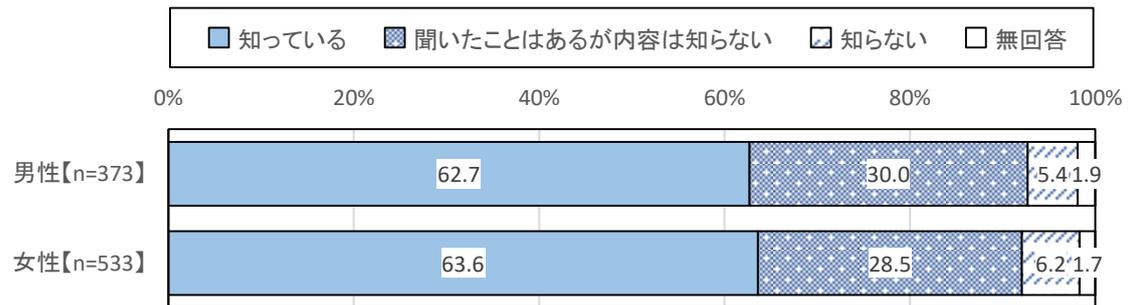
(カ) 育児・介護休業法を男女別にみると、「知っている」は男性が45.3%、女性は58.5%と女性が男性を13.2ポイント上回っています。

(キ) ストーカー規制法



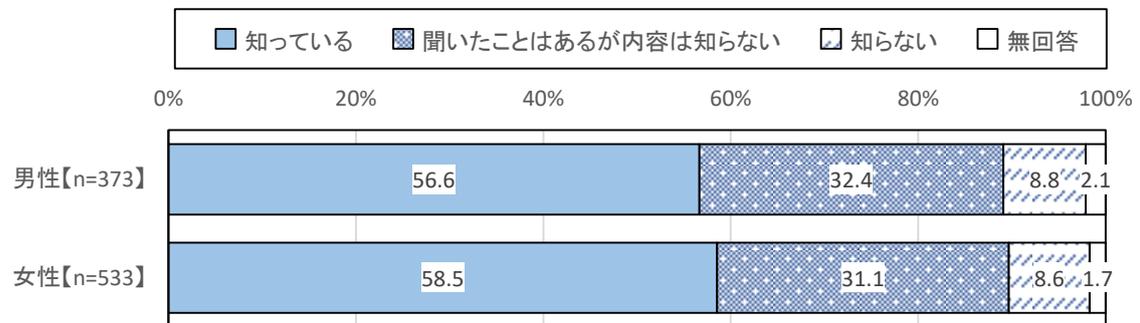
(キ) ストーカー規制法を男女別にみると、「知っている」は男性が58.7%、女性は57.8%と男性が女性を0.9ポイントとわずかながら上回っています。

(ク) 児童虐待防止法



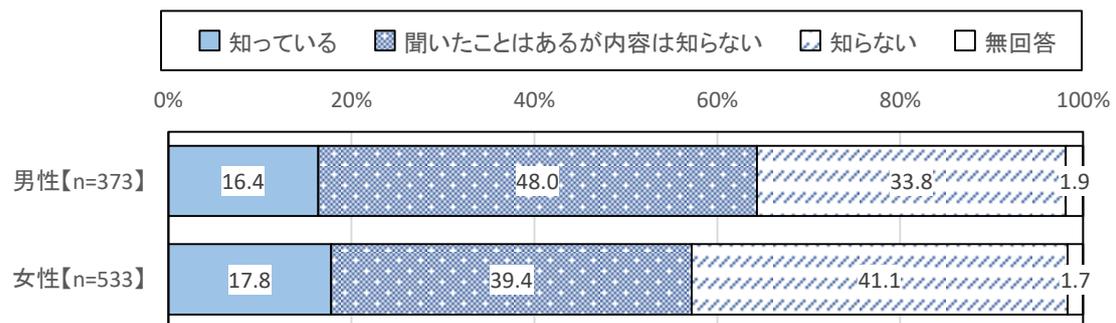
(ク) 児童虐待防止法を男女別にみると、「知っている」は男性が62.7%、女性は63.6%と女性が男性を0.9ポイントとわずかながら上回っています。

(ケ) DV防止法



(ケ) DV防止法を男女別にみると、「知っている」は男性が56.6%、女性は58.5%と女性が男性を1.9ポイント上回っています。

(コ) 女性活躍推進法

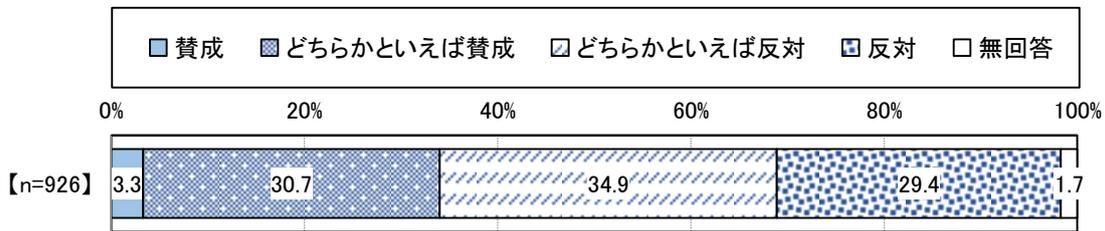


(コ) 女性活躍推進法を男女別にみると、「知っている」は男性が16.4%、女性は17.8%と女性が男性を1.4ポイント上回っています。

「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

【全体】

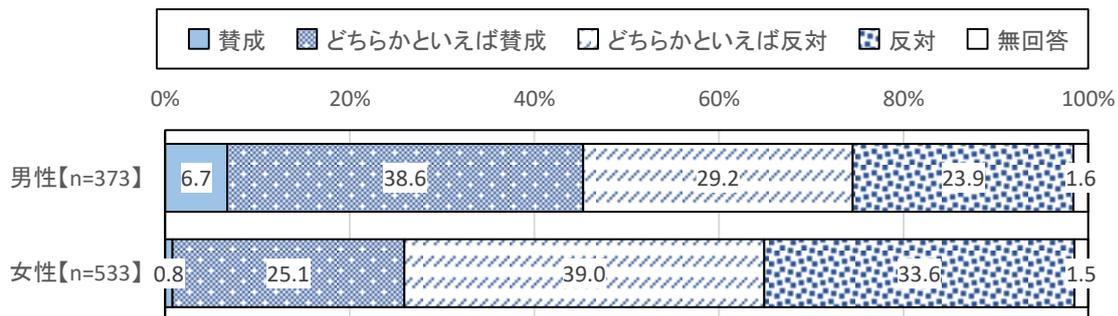


「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うか尋ねたところ、「どちらかといえば反対」が34.9%で最も多く、次いで、「どちらかといえば賛成」が30.7%、「反対」が29.4%、「賛成」が3.3%となっています。

また、男女別にみると、男性は「どちらかといえば賛成」が38.6%で最も多く、次いで、「どちらかといえば反対」が29.2%、「反対」が23.9%の順となっています。

女性は、「どちらかといえば反対」が39.0%で最も多く、次いで、「反対」が33.6%、「どちらかといえば賛成」が25.1%の順となっています。

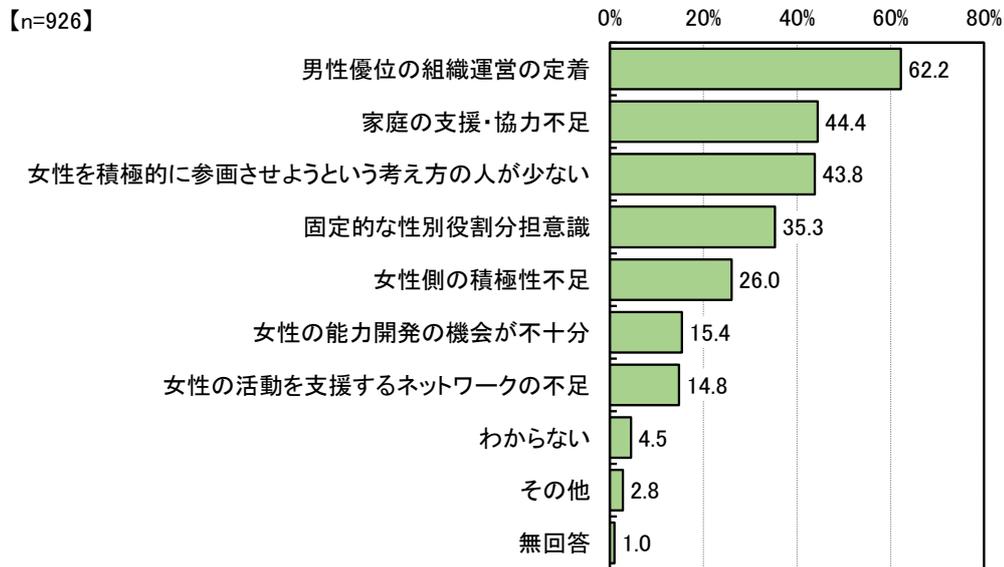
【男女別集計】



女性の社会参画が少ない理由

問4 現在の社会において、行政の政策や会社などの方針を決定する場面に、女性の参画が少ない理由はなんだと思いますか。（〇は3つまで）

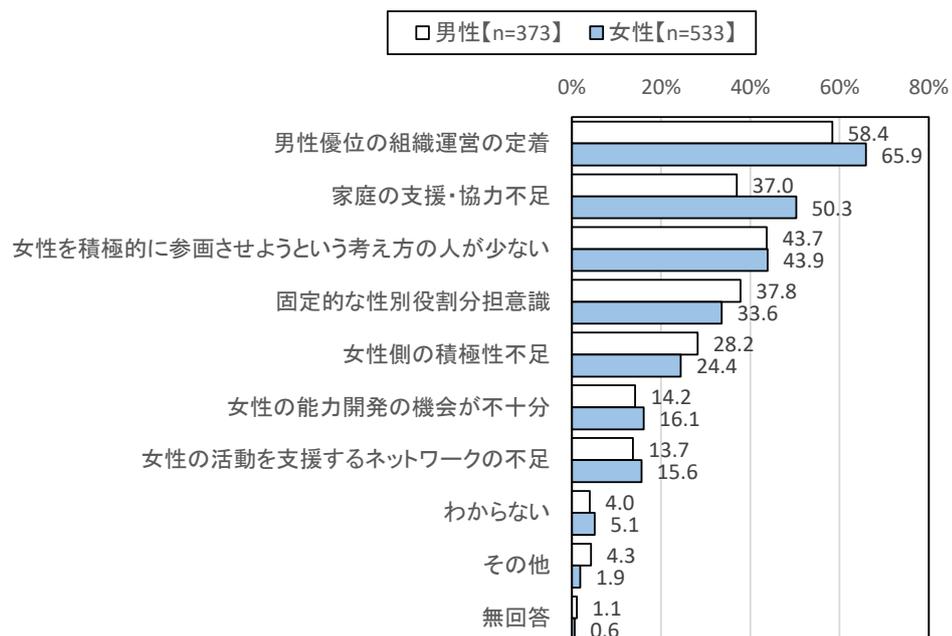
【全体】



現在の社会において、行政の政策や会社などの方針を決定する場面に、女性の参画が少ない理由を尋ねたところ、「男性優位の組織運営の定着」が62.2%で最も多く、次いで、「家庭の支援・協力不足」が44.4%、「女性を積極的に参画させようという考え方の人が少ない」が43.8%、「固定的な性別役割分担意識」が35.3%などとなっています。

また、男女別にみると、男女ともに「男性優位の組織運営の定着」が最も多くなっていますが、男性は58.4%に対して女性は65.9%と7.5ポイントの開きがあります。また、「家庭の支援・協力不足」についても、男性は37.0%に対して女性は50.3%と13.3ポイントの差がみられました。

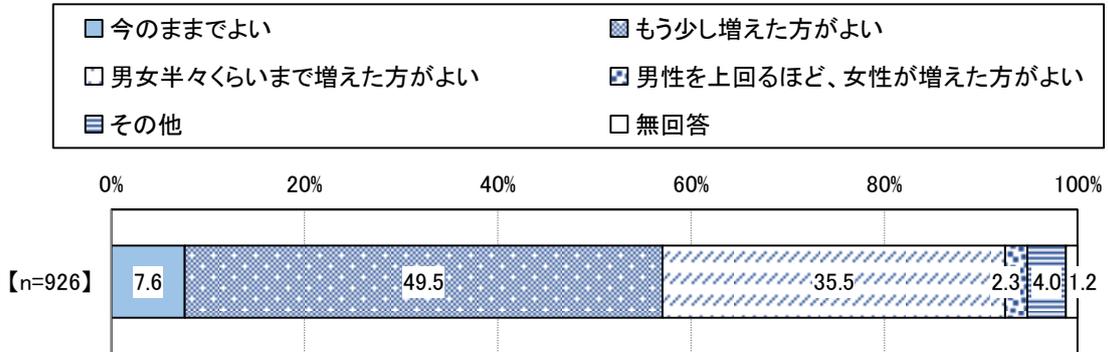
【男女別集計】



議員・審議委員長など女性の登用割合について

問5 最近、議員・審議委員会など政策や方針を決定する過程への女性の参加が、少しずつ進んでいます。この状況をどのように思いますか。(〇は1つ)

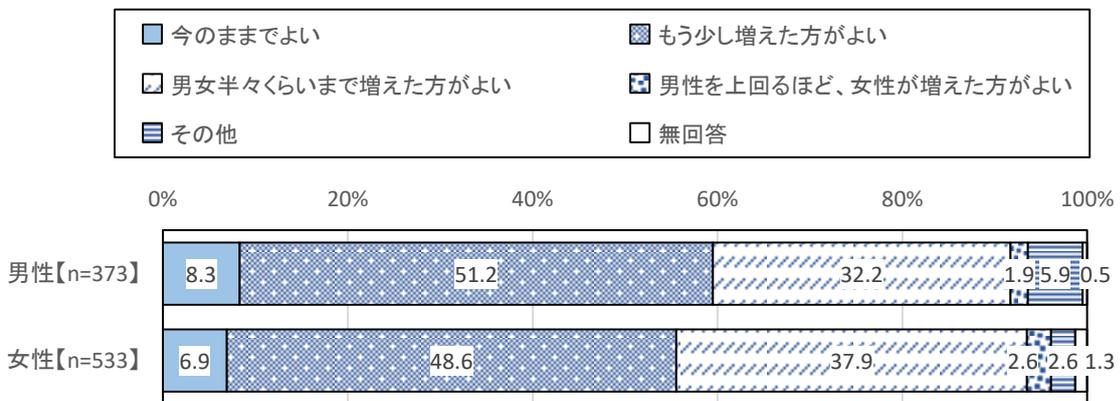
【全体】



議員・審議委員会など政策や方針を決定する過程への女性の参加が、少しずつ進んでいる状況についてどう思うか尋ねたところ、「(女性が)もう少し増えた方がよい」が49.5%と最も多く、次いで、「男女半々くらいまで増えた方がよい」が35.5%、「今のままでよい」が7.6%、「男性を上回るほど、女性が増えた方がよい」が2.3%となっています。

男女別にみると、男女ともに回答割合は全体と同じ傾向を示していますが、男性は女性よりも「(女性が)もう少し増えた方がよい」の回答割合が多く、女性は男性よりも「男女半々くらいまで増えた方がよい」の回答割合が多くなっています。

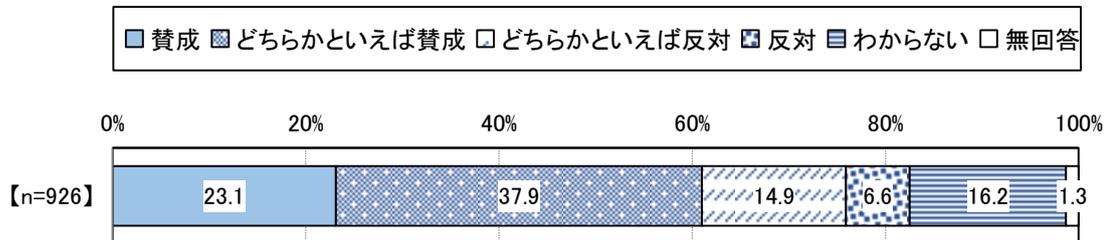
【男女別集計】



女性の進出が少ない分野に対する優先枠の考え方について

問6 「男女の不平等を是正するため、女性があまり進出していない分野で、一時的に、女性の優先枠を設けるなどして男女の実質的な機会の均等を確保すべきである」という考え方についてどう思いますか。（〇は1つ）

【全体】

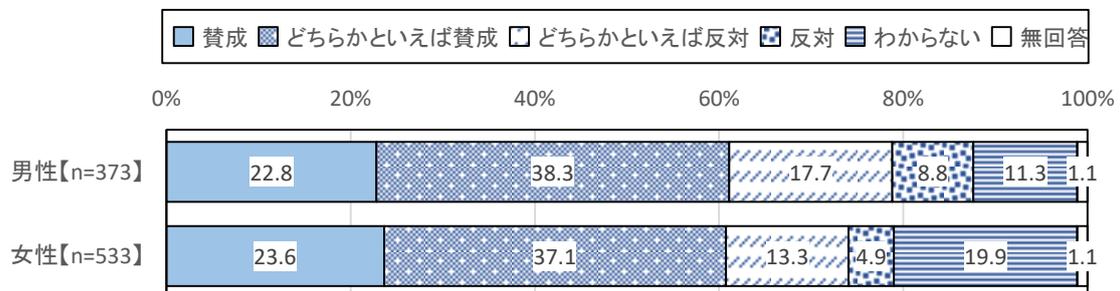


「男女の不平等を是正するため、女性があまり進出していない分野で、一時的に、女性の優先枠を設けるなどして男女の実質的な機会の均等を確保すべきである」という考え方について尋ねたところ、「どちらかといえば賛成」が37.9%と最も多く、次いで、「賛成」が23.1%、「どちらかといえば反対」が14.9%、「反対」が6.6%となっています。

また、16.2%が「わからない」と回答しています。

男女別にみると、男女ともに全体の回答割合と同じ傾向を示していますが、男性は女性よりも「どちらかといえば反対」と「反対」の回答割合が多くなっています。

【男女別集計】



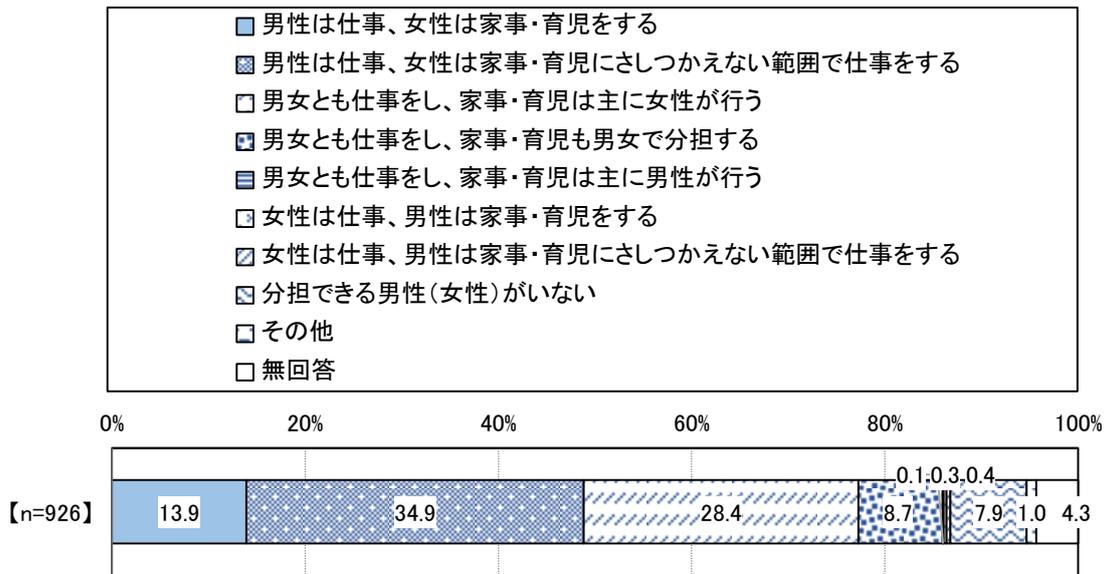
2 家庭生活についておうかがいします

家庭における男女の役割分担

問7 家庭での男女の役割分担について、「① 現状」はどれだと思いますか。また「② 理想」はどうあるべきだと思いますか。（それぞれ1つ選ぶ）

① 現状

【全体】

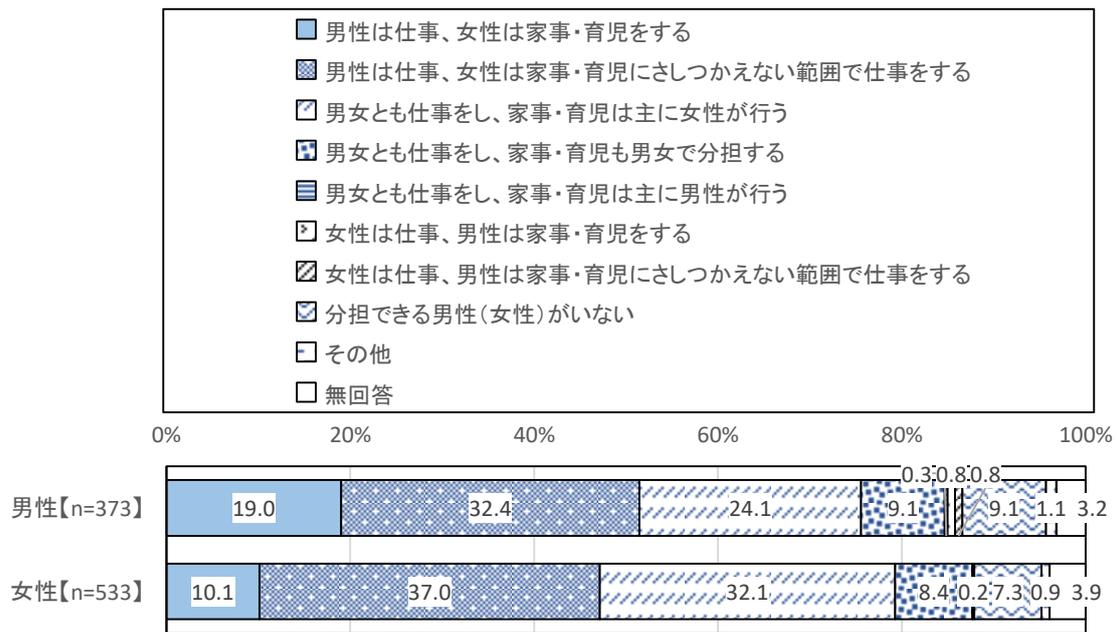


家庭での役割分担における「①現状」について尋ねたところ、「男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする」が34.9%で最も多く、次いで、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が行う」が28.4%、「男性は仕事、女性は家事・育児をする」が13.9%、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する」が8.7%となっています。

男女別でみると、「男性は仕事、女性は家事・育児をする」において、男性が19.0%、女性は10.1%と男性が女性より8.9ポイント高くなっています。また、「男女ともに仕事をし、家事・育児は主に女性が行う」において、男性が24.1%、女性は32.1%と女性が男性よりも8.0ポイント上回っています。

年齢別でみると、「男女ともに仕事をし、家事・育児は主に女性が行う」において、20代が40.0%とほかの世代と比べて高くなっています。

【男女別集計】

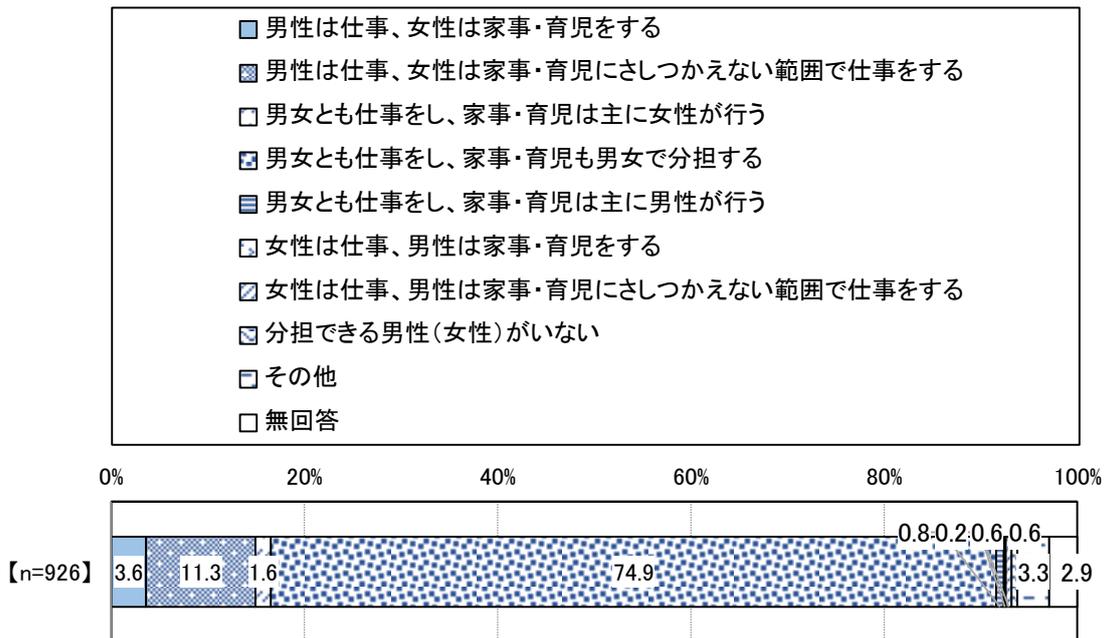


【年齢別集計】

単位：%	男性は仕事、女性は家事・育児をする	男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする	男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が行う	男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する	男女とも仕事をし、家事・育児は主に男性が行う	女性は仕事、男性は家事・育児をする	女性は仕事、男性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする	分担できる男性(女性)がない	その他	無回答
全体【n=926】	13.9	34.9	28.4	8.7	0.1	0.3	0.4	7.9	1.0	4.3
20代【n=45】	11.1	28.9	40.0	6.7	0.0	0.0	2.2	11.1	0.0	0.0
30代【n=118】	16.1	29.7	28.0	13.6	0.0	0.0	0.0	10.2	0.8	1.7
40代【n=168】	16.1	32.1	26.2	10.1	0.0	1.2	0.0	11.3	1.8	1.2
50代【n=155】	11.0	30.3	28.4	12.9	0.6	0.0	0.0	14.2	0.0	2.6
60代【n=190】	12.6	40.5	33.7	7.4	0.0	0.0	0.5	2.1	0.5	2.6
70代以上【n=234】	15.0	38.9	24.8	4.3	0.0	0.4	0.9	4.7	1.7	9.4

② 理想

【全体】

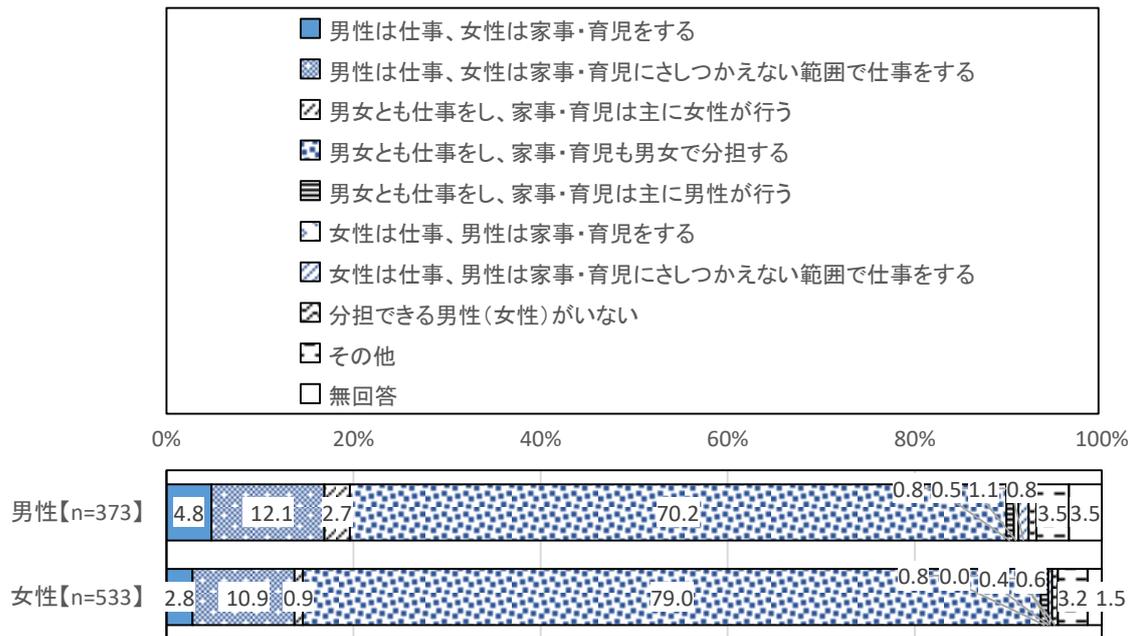


家庭での役割分担における「②理想」について尋ねたところ、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する」が74.9%と約8割を占めています。次いで、「男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする」が11.3%、「男性は仕事、女性は家事・育児をする」が3.6%、「男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が行う」が1.6%となっています。

男女別でみると、全体と同じ傾向を示しています。

年齢別でみると、「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する」において、60代が83.2%とほかの世代と比べて高くなっています。

【男女別集計】



【年齢別集計】

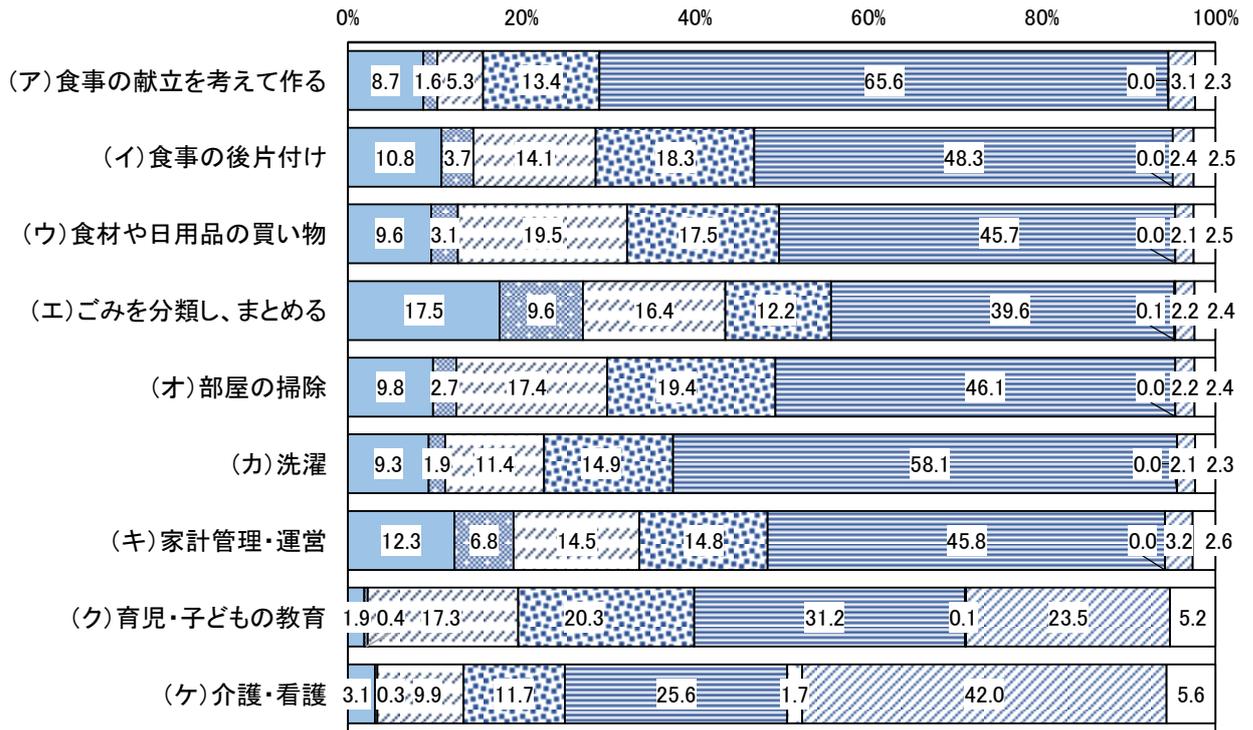
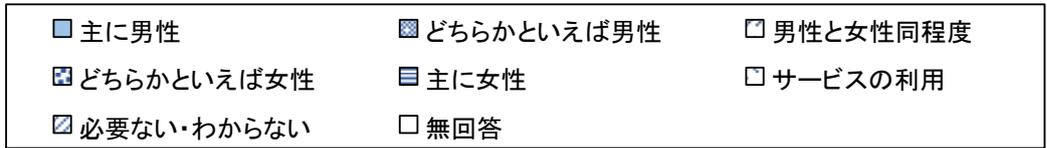
単位: %	男性は仕事、女性は家事・育児をする	男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする	男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が行う	男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する	男女とも仕事をし、家事・育児は主に男性が行う	女性は仕事、男性は家事・育児をする	女性は仕事、男性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする	分担できる男性(女性)がいない	その他	無回答
全体【n=926】	3.6	11.3	1.6	74.9	0.8	0.2	0.6	0.6	3.3	2.9
20代【n=45】	4.4	13.3	0.0	75.6	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	2.2
30代【n=118】	5.1	16.1	0.8	70.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.8
40代【n=168】	5.4	10.1	0.6	78.0	0.6	0.0	1.2	1.2	2.4	0.6
50代【n=155】	1.9	10.3	4.5	72.3	1.9	0.6	0.0	1.3	3.9	3.2
60代【n=190】	2.1	7.9	0.0	83.2	1.1	0.0	0.5	0.5	3.2	1.6
70代以上【n=234】	3.8	13.2	2.6	70.9	0.4	0.4	0.9	0.4	2.1	5.1

家庭における役割分担

問8 あなたの家庭では、次にあげることをごなたが行っていますか。
(それぞれに○は1つ)

【全体】

【n=926】

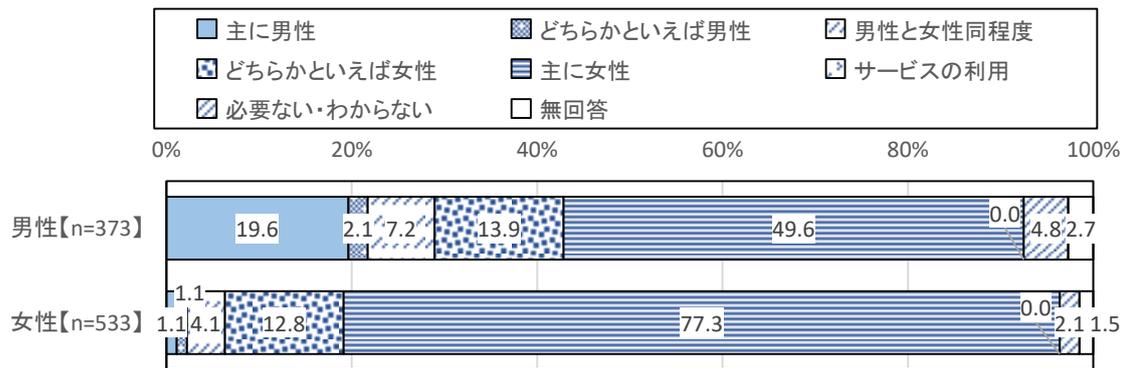


家庭での役割分担については、すべての設問において「どちらかといえば女性」、「主に女性」を合わせた回答が「主に男性」、「どちらかといえば男性」を合わせた回答や「男性と女性同程度」などの回答よりも上回る結果となっています。

そのなかでも、「(ア) 献立作り」、「(カ) 洗濯」、「(キ) 家計管理・運営」では、回答の約7割を「どちらかといえば女性」、「主に女性」が占めています。

【男女別集計】

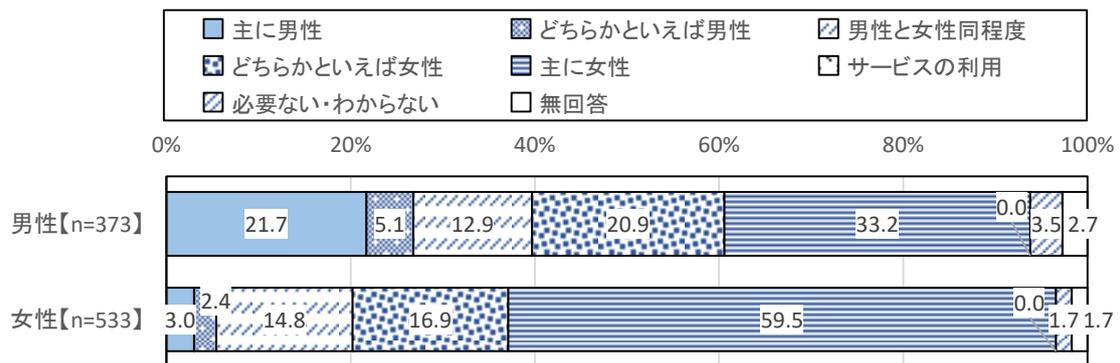
(ア) 食事の献立を考えて作る



(ア) 食事の献立を考えて作るを男女別にみると、「主に男性」は男性が19.6%、女性は1.1%と男性が女性を18.5ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が49.6%、女性は77.3%と女性が男性を27.7ポイント上回っています。

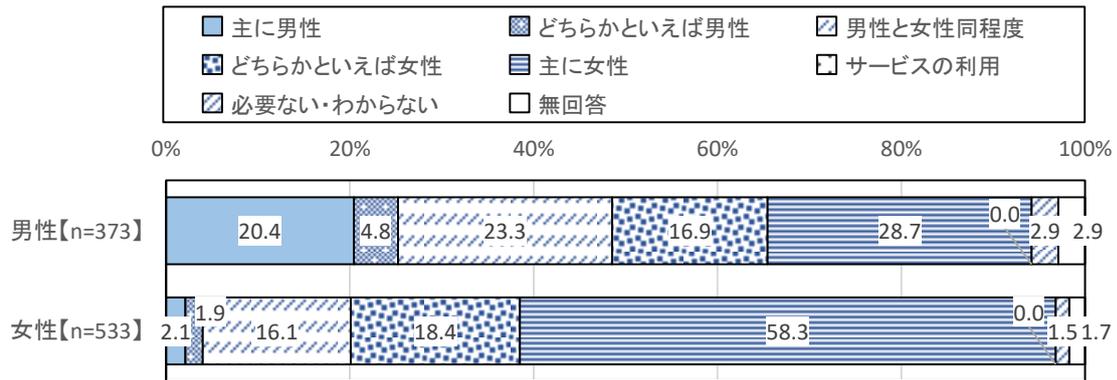
(イ) 食事の後片付け



(イ) 食事の後片付けを男女別にみると、「主に男性」は男性が21.7%、女性は3.0%と男性が女性を18.7ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が33.2%、女性は59.5%と女性が男性を26.3ポイント上回っています。

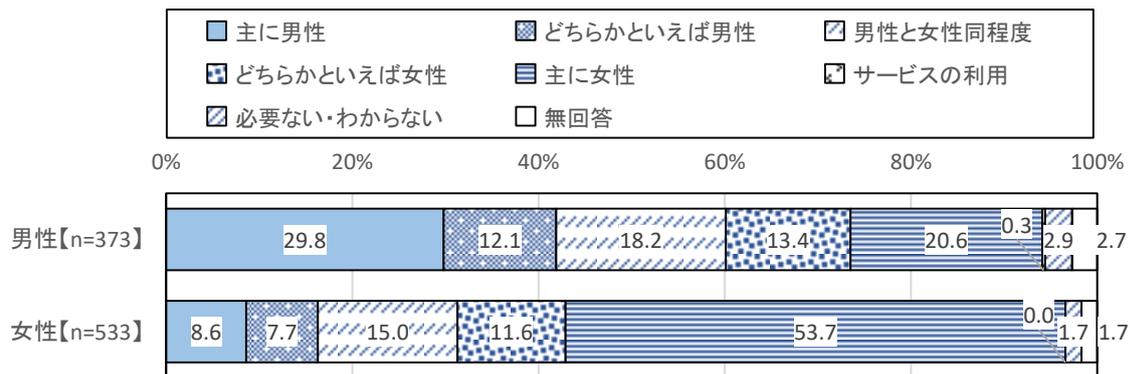
(ウ) 食材や日用品の買い物



(ウ) 食材や日用品の買い物を男女別にみると、「主に男性」は男性が20.4%、女性は2.1%と男性が女性を18.3ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が28.7%、女性は58.3%と女性が男性を29.6ポイント上回っています。

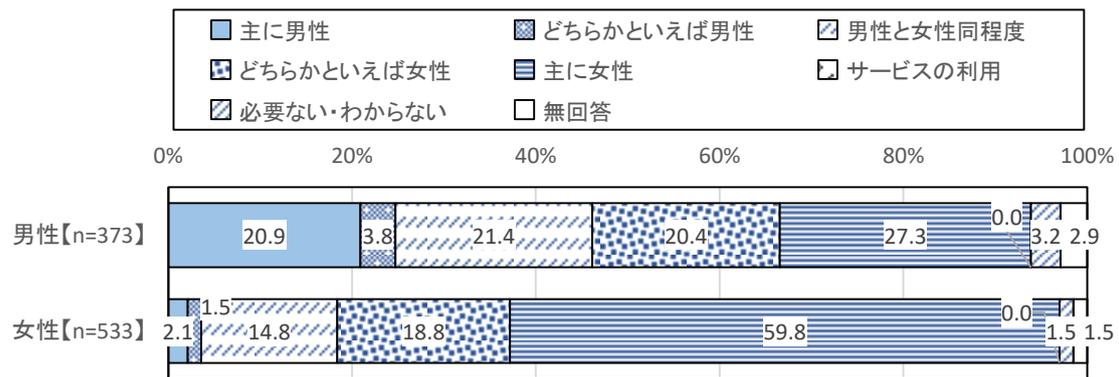
(エ) ごみを分類し、まとめる



(エ) ごみを分類し、まとめるを男女別にみると、「主に男性」は男性が29.8%、女性は8.6%と男性が女性を21.2ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が20.6%、女性は53.7%と女性が男性を33.1ポイント上回っています。

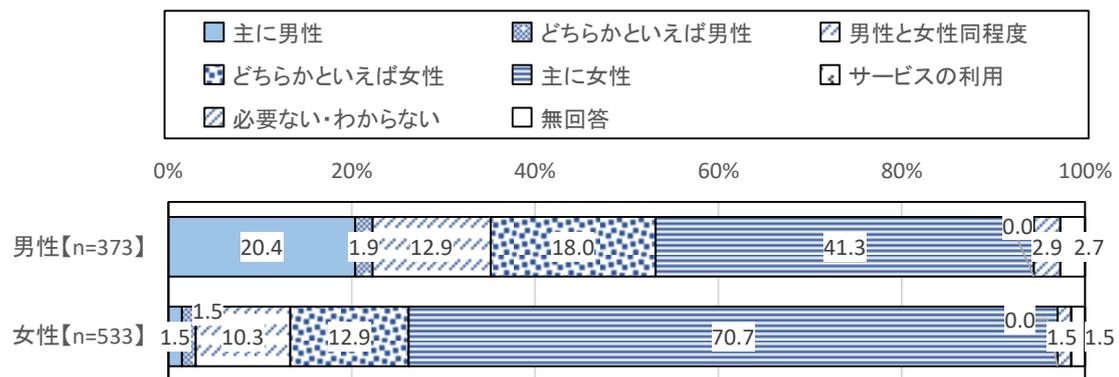
(オ) 部屋の掃除



(オ) 部屋の掃除を男女別にみると、「主に男性」は男性が20.9%、女性は2.1%と男性が女性を18.8ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が27.3%、女性は59.8%と女性が男性を32.5ポイント上回っています。

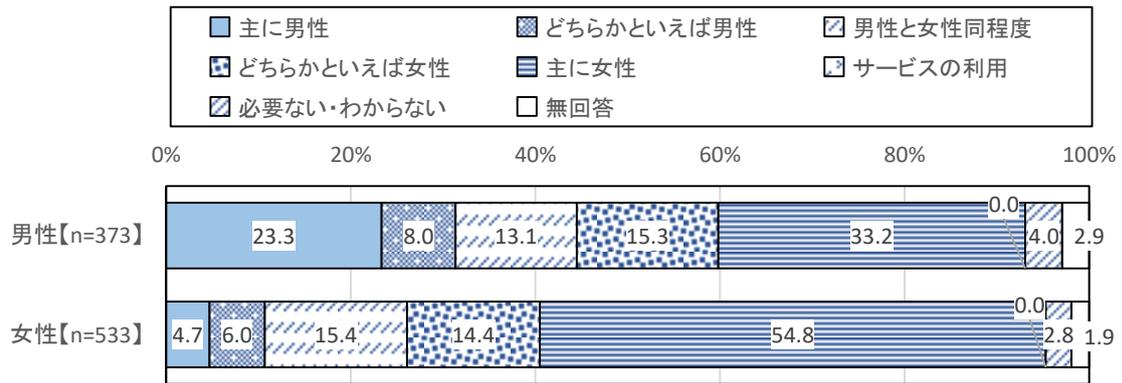
(カ) 洗濯



(カ) 洗濯を男女別にみると、「主に男性」は男性が20.4%、女性は1.5%と男性が女性を18.9ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が41.3%、女性は70.7%と女性が男性を29.4ポイント上回っています。

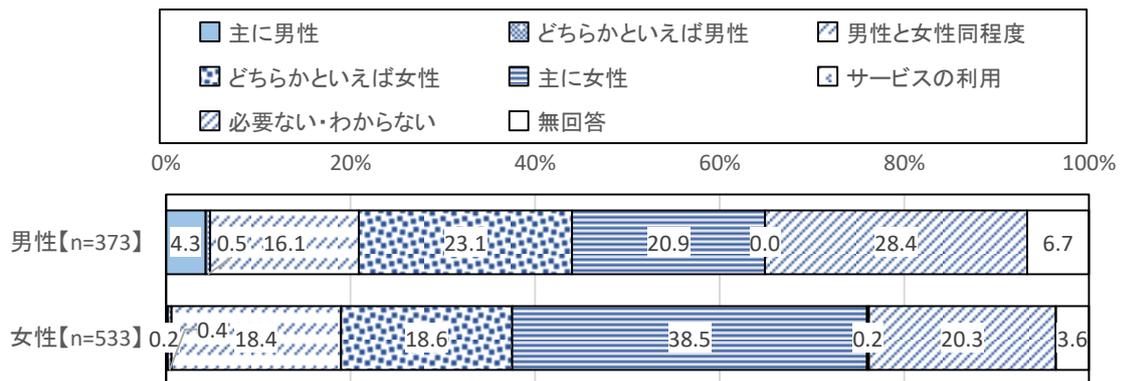
(キ) 家計管理・運営



(キ) 家計管理・運営を男女別にみると、「主に男性」は男性が23.3%、女性は4.7%と男性が女性を18.6ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が33.2%、女性は54.8%と女性が男性を21.6ポイント上回っています。

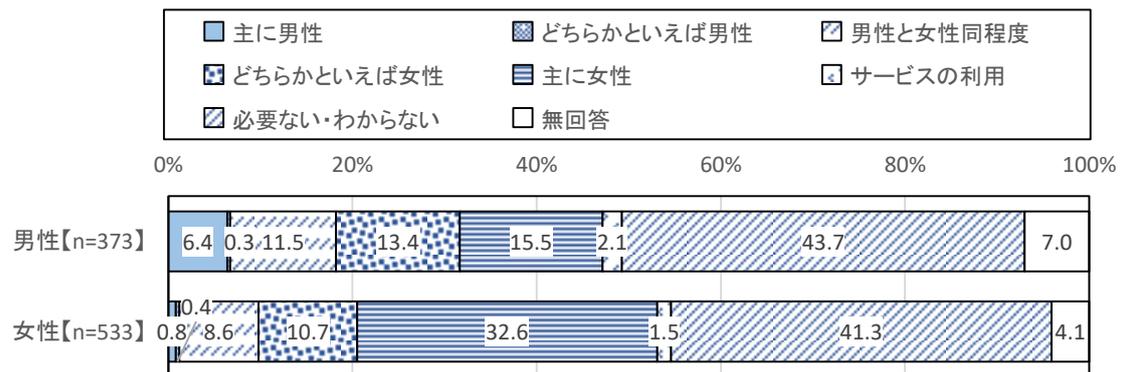
(ク) 育児・子どもの教育



(ク) 育児・子どもの教育を男女別にみると、「主に男性」は男性が4.3%、女性は0.2%と男性が女性を4.1ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が20.9%、女性は38.5%と女性が男性を17.6ポイント上回っています。

(ケ) 介護・看護



(ケ) 介護・看護を男女別にみると、「主に男性」は男性が6.4%、女性は0.8%と男性が女性を5.6ポイント上回っています。

また、「主に女性」は男性が15.5%、女性は32.6%と女性が男性を17.1ポイント上回っています。

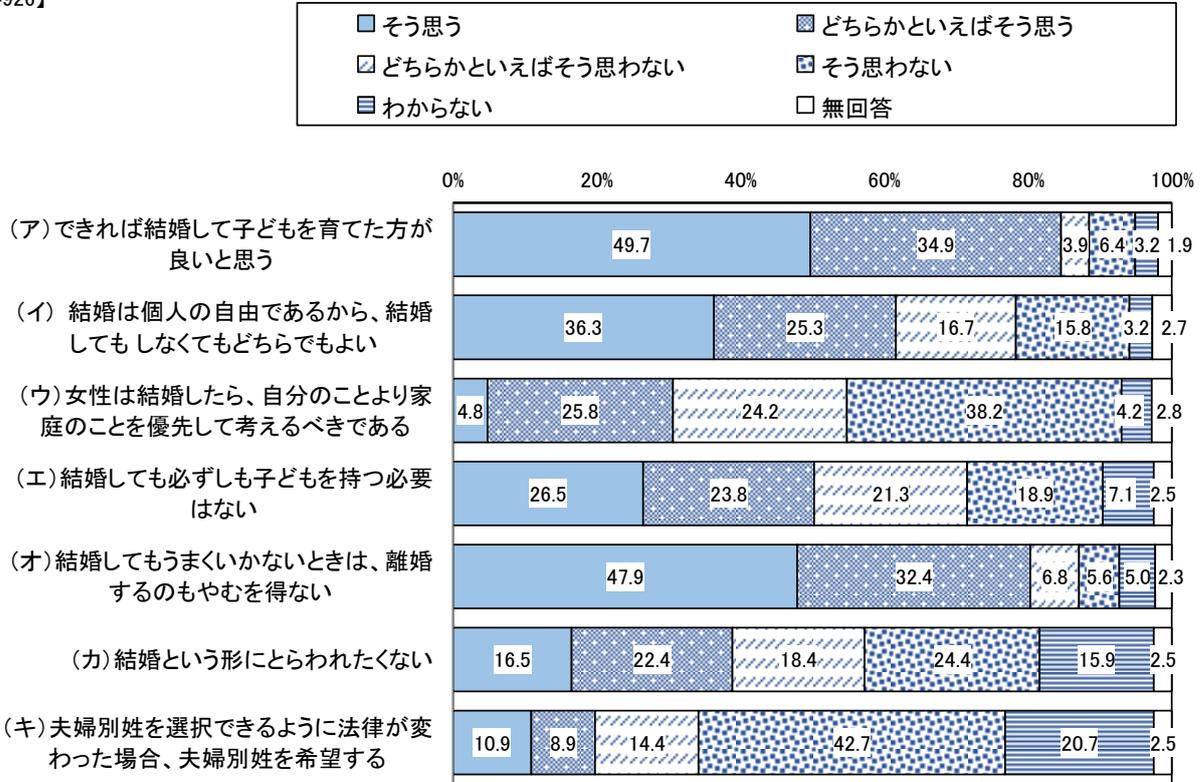
「必要ない・わからない」と回答した方は、男性が43.7%、女性は41.3%となっています。

男女の生き方や家庭生活に関する意識について

問9 最近では、家族のあり方が大きく変化しており、結婚に対する考え方も多様化してきています。次にあげる、考えについてどう思いますか。（それぞれに○は1つ）

【全体】

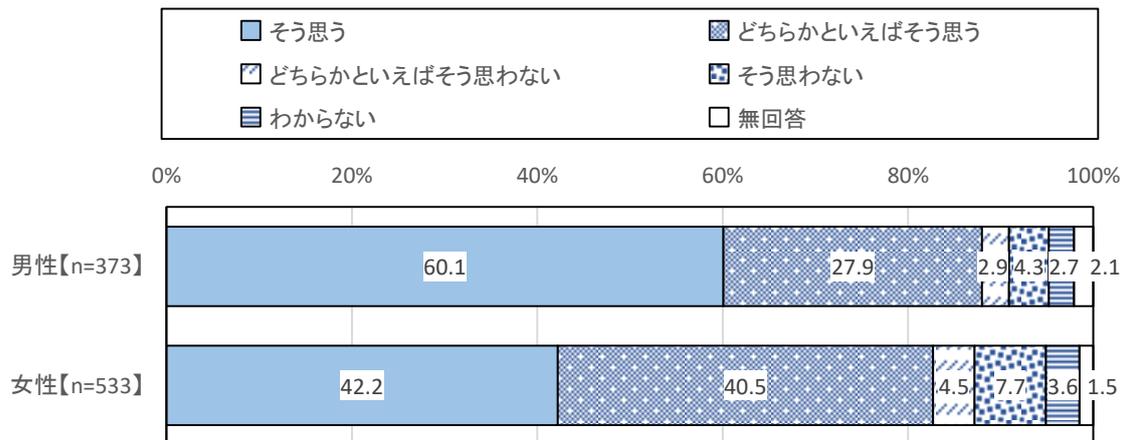
【n=926】



男女の生き方や家庭生活に関する意識について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答が多い設問は、「(ア) できれば結婚して子どもを育てた方が良いと思う」が84.6%と最も多く、次いで、「(オ) 結婚してもうまくいかないときは、離婚するのもやむを得ない」が80.3%、「(イ) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」が61.6%、「(エ) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」が50.3%となっています。

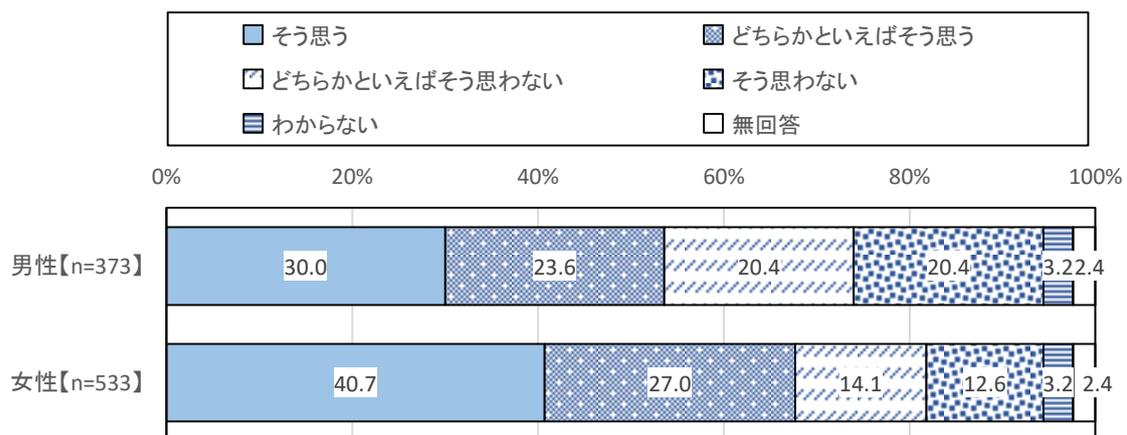
【男女別集計】

(ア) できれば結婚して子どもを育てた方が良いと思う



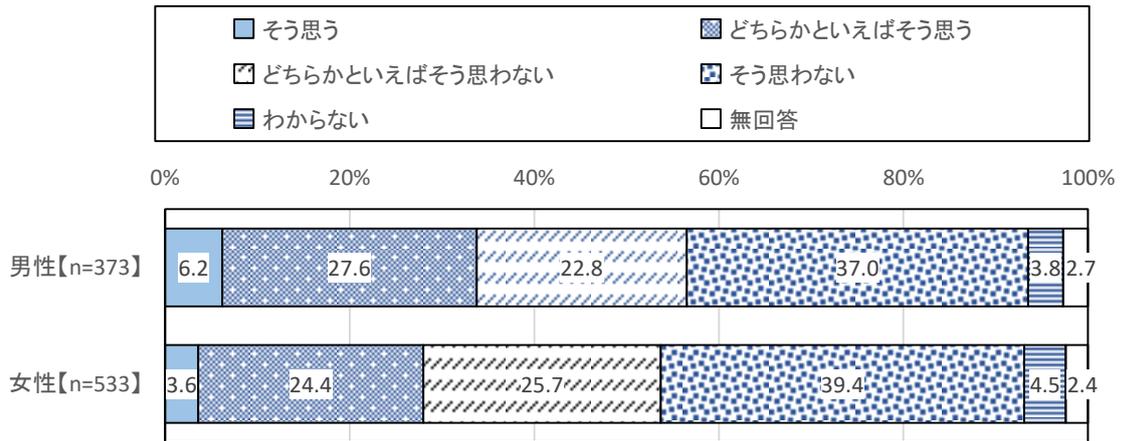
(ア) できれば結婚して子どもを育てた方が良いと思うを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が88.0%、女性は82.7%と男性が女性よりも5.3ポイント高くなっています。

(イ) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい



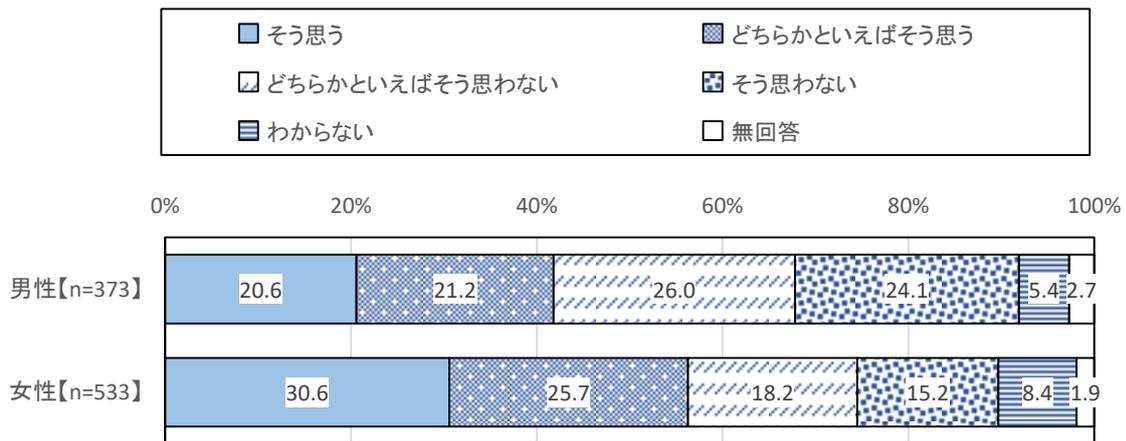
(イ) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよいを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が53.6%、女性は67.7%と女性が男性よりも14.1ポイント高くなっています。

(ウ) 女性は結婚したら、自分のことより家庭のことを優先して考えるべきである



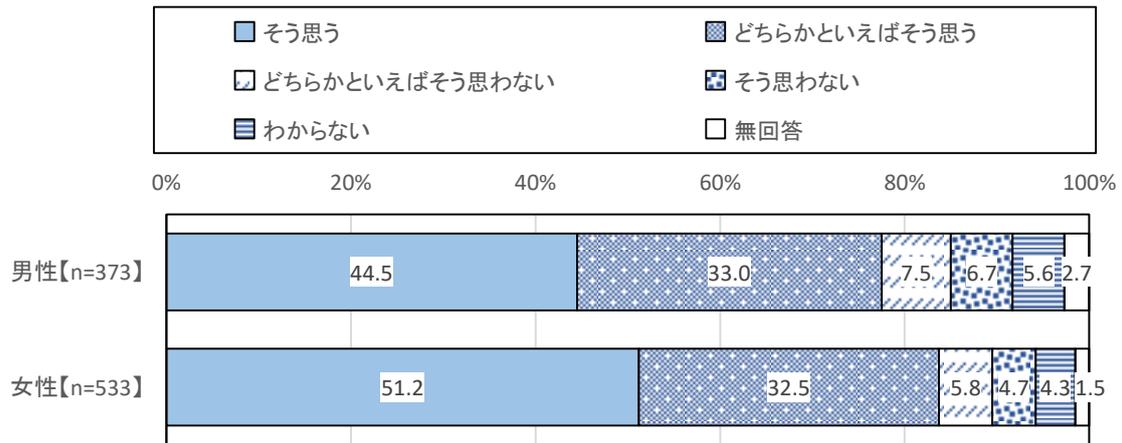
(ウ) 女性は結婚したら、自分のことより家庭のことを優先して考えるべきであるを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が33.8%、女性は28.0%と男性が女性よりも5.8ポイント高くなっています。

(エ) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



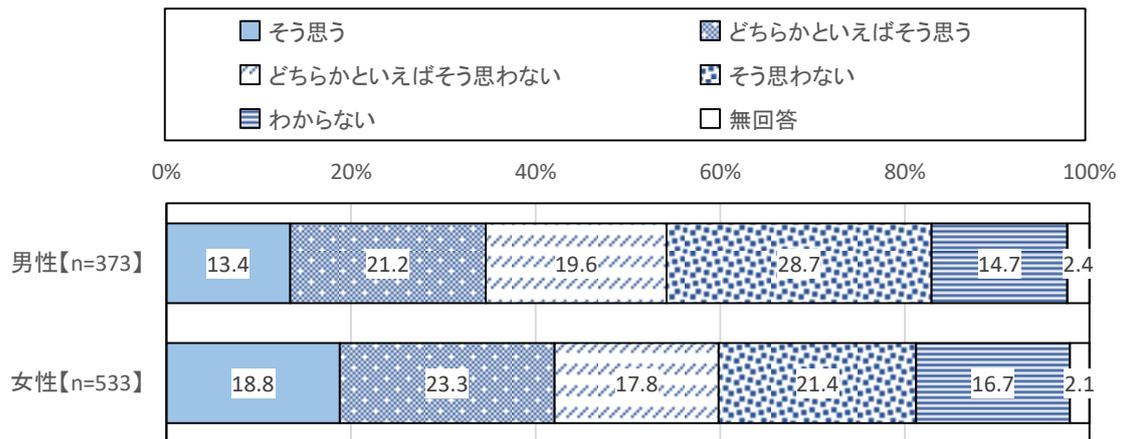
(エ) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が41.8%、女性は56.3%と女性が男性よりも14.5ポイント高くなっています。

(オ) 結婚してもうまくいかないときは、離婚するのもやむを得ない



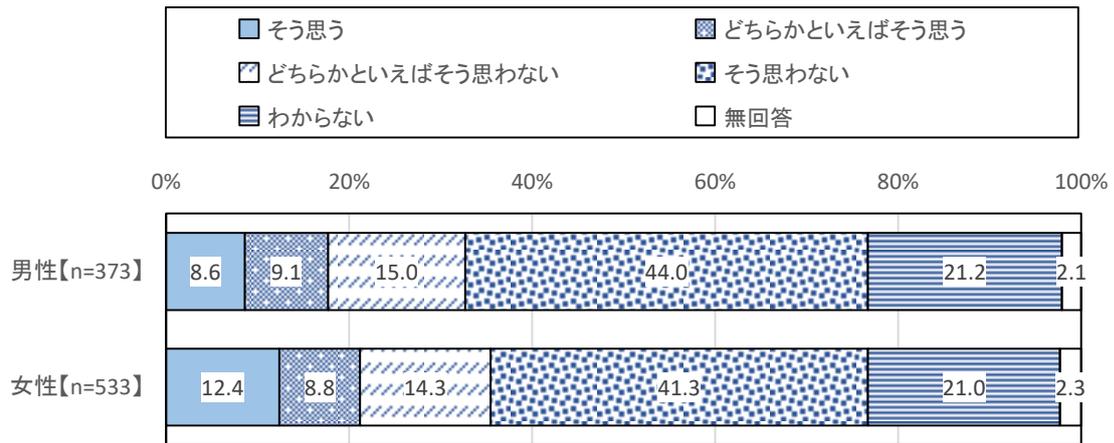
(オ) 結婚してもうまくいかないときは、離婚するのもやむを得ないを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が77.5%、女性は83.7%と女性が男性よりも6.2ポイント高くなっています。

(カ) 結婚という形にとらわれたくない



(カ) 結婚という形にとらわれたくないを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が34.6%、女性は42.1%と女性が男性よりも7.5ポイント高くなっています。

(キ) 夫婦別姓を選択できるように法律が変わった場合、夫婦別姓を希望する



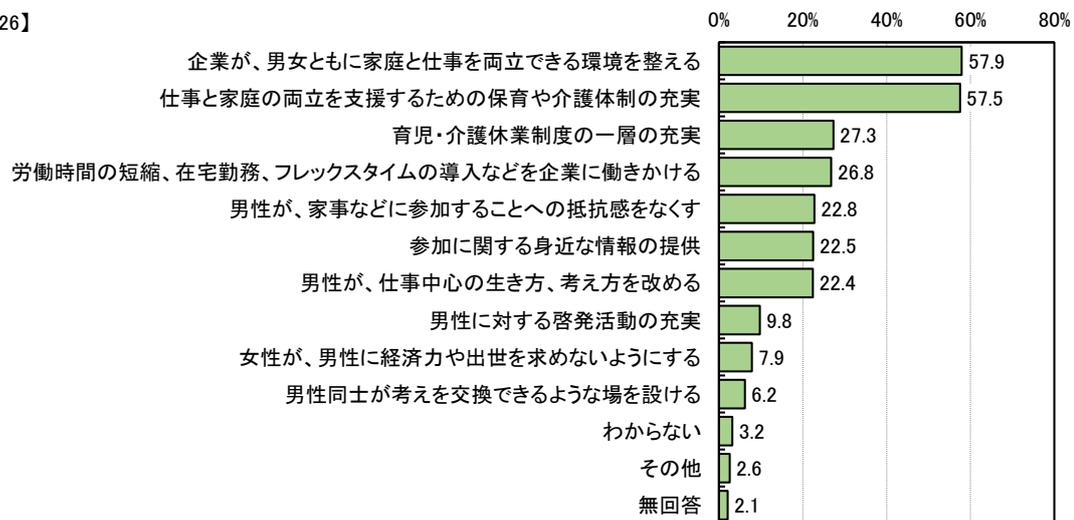
(キ) 夫婦別姓を選択できるように法律が変わった場合、夫婦別姓を希望するを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が17.7%、女性は21.2%と女性が男性よりも3.5ポイント高くなっています。

男女が共に家事、子育てや教育、介護、地域活動に参加していくために必要なこと

問10 今後、男女がともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

【n=926】

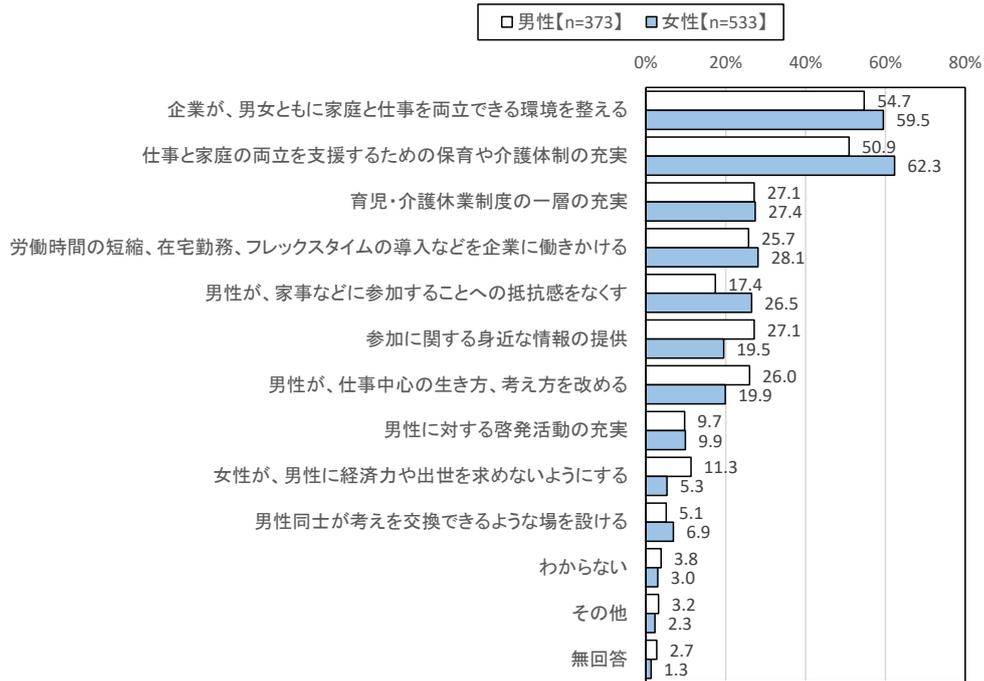


男女がともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことを尋ねたところ、「企業が、男女ともに家庭と仕事を両立できる環境を整える」が57.9%と最も多く、次いで、「仕事と家庭の両立を支援するための保育や介護体制の充実」が57.5%、「育児・介護休業制度の一層の充実」が27.3%、「労働時間の短縮、在宅勤務、フレックスタイムの導入などを企業に働きかける」が26.8%などとなっています。

また、男女別集計でも同様の傾向がみられました。

さらに年齢別でみると、20代と70代以上は「仕事と家庭の両立を支援するための保育や介護体制の充実」、30代～50代は「企業が、男女ともに家庭と仕事を両立できる環境を整える」が最も多くなっています。60代は両方同率の64.7%でした。

【男女別集計】



【年齢別集計】

単位: %	を と 企 業 が 、 男 女 と も に 家 庭 環 境 を 整 え る	制 す る た め の 充 実	仕 事 と 家 庭 の 両 立 を 支 援 す る た め の 充 実	育 児 ・ 介 護 休 業 制 度 の 一 層 の 充 実	け る 導 入 な ど を 企 業 に 働 き か け る	労 働 時 間 の 短 縮 、 在 宅 勤 務 の 導 入 な ど を 企 業 に 働 き か け る	く す 男 性 が 、 家 事 な ど に 参 加 す る こ と へ の 抵 抗 感 を な く す	の 参 加 に 関 する 身 近 な 情 報 の 提 供	方 男 性 が 、 仕 事 中 心 の 生 き 方 を 改 め る	充 実 男 性 に 対 する の 啓 発 活 動 の 充 実	る 出 世 を 求 め な い よ う に す る	き 男 性 同 士 が 考 え を 交 換 で き る よ う な 場 を 設 け る	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体【n=926】	57.9	57.5	27.3	26.8	22.8	22.5	22.4	9.8	7.9	6.2	3.2	2.6	2.1		
20代【n=45】	51.1	60.0	33.3	46.7	24.4	4.4	20.0	6.7	2.2	4.4	6.7	0.0	0.0		
30代【n=118】	59.3	45.8	31.4	39.8	23.7	10.2	28.0	6.8	11.0	7.6	3.4	5.1	0.0		
40代【n=168】	50.0	48.8	26.2	29.2	25.0	18.5	26.2	10.1	13.7	5.4	3.6	5.4	0.6		
50代【n=155】	61.3	58.7	23.9	26.5	18.7	25.2	20.0	11.6	7.1	7.7	2.6	0.6	1.3		
60代【n=190】	64.7	64.7	28.9	22.1	21.1	26.3	21.6	9.5	4.7	3.7	1.6	2.6	2.6		
70代以上【n=234】	55.6	62.8	26.5	20.1	23.9	30.3	19.7	10.7	5.6	7.7	4.3	1.3	3.8		

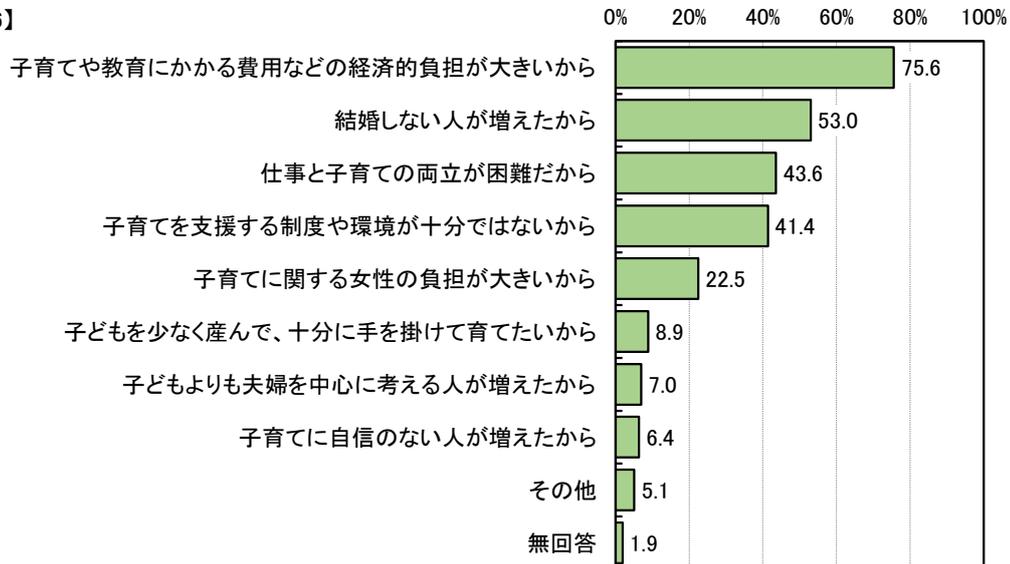
3 子育てについておうかがいします

出生数が減少する理由について

問11 毎年、出生数が減少していますが、その理由は何だと思えますか。(〇は3つまで)

【全体】

【n=926】

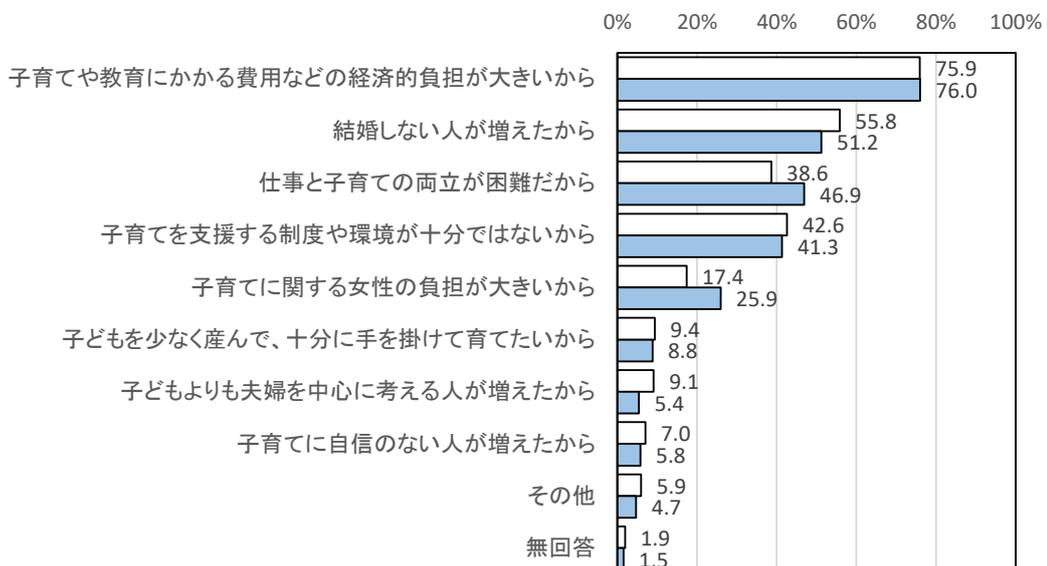


子どもの出生数が毎年減少していることから、その理由について尋ねたところ、「子育てや教育にかかる費用などの経済的負担が大きいから」が75.6%と最も多く、次いで、「結婚しない人が増えたから」が53.0%、「仕事と子育ての両立が困難だから」が43.6%、「子育てを支援する制度や環境が十分ではないから」が41.4%などとなっています。

男女別にみると、1位、2位は全体と同じ傾向がみられましたが、3位は男性が「子育てを支援する制度や環境が十分ではないから」の42.6%であるのに対して、女性は「仕事と子育ての両立が困難だから」の46.9%となっています。

【男女別集計】

□ 男性【n=373】 ■ 女性【n=533】

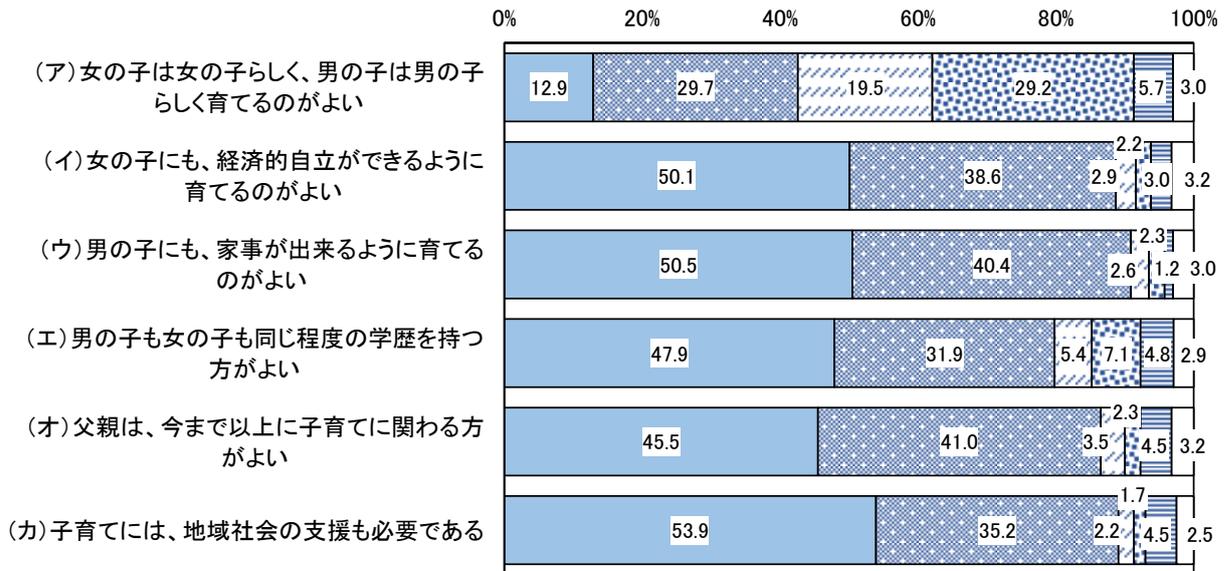
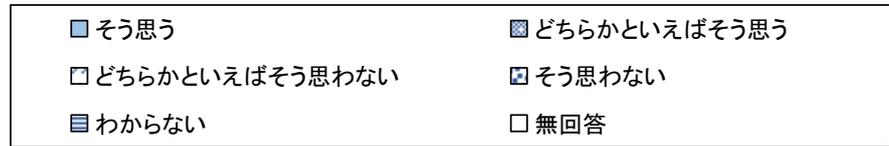


子育てに関する考え方

問12 子育てに関する、以下の考え方についてどう思いますか。（それぞれに〇は1つ）

【全体】

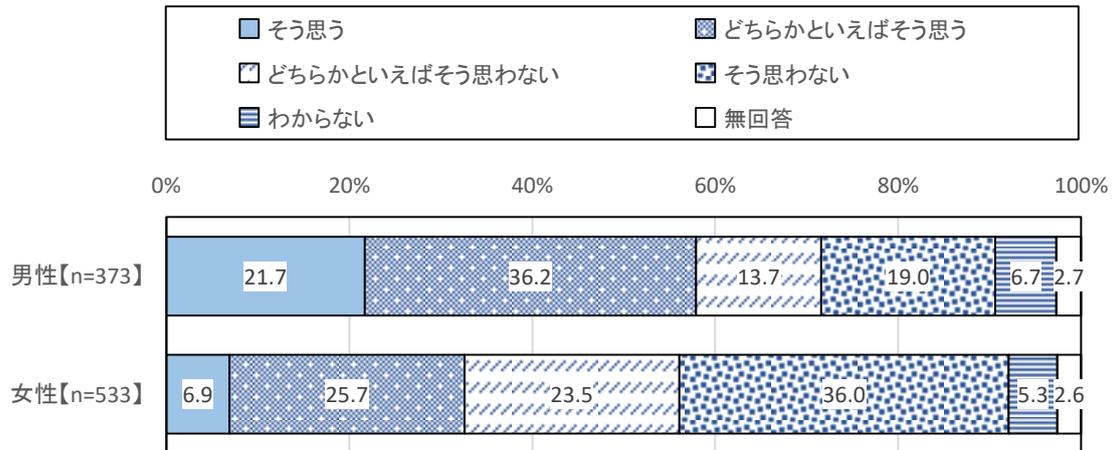
【n=926】



子育てに関する考え方について、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答が多い設問は、「(ウ)男の子にも、家事が出来るように育てるのがよい」が90.9%と最も多く、次いで、「(カ)子育てには、地域社会の支援も必要である」が89.1%、「(イ)女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい」が88.7%、「(オ)父親は、今まで以上に子育てに関わる方がよい」が86.5%となっています。

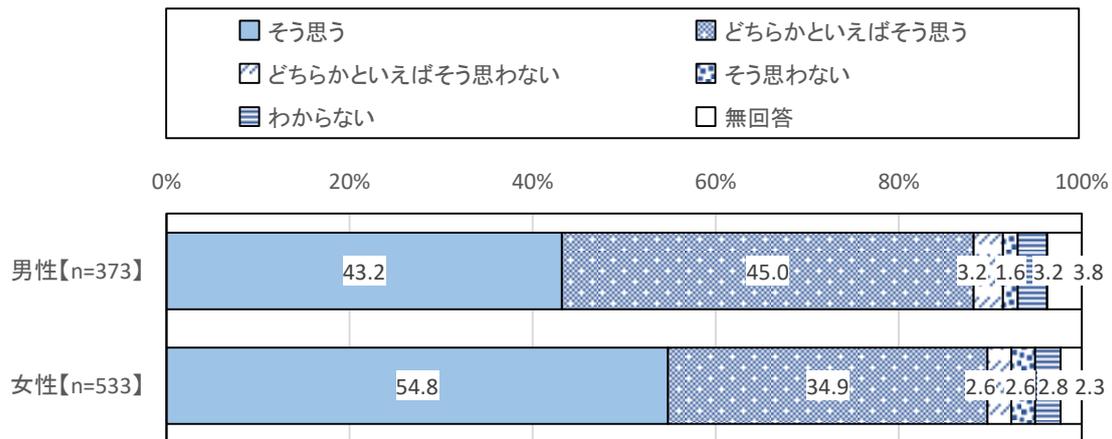
【男女別集計】

(ア) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい



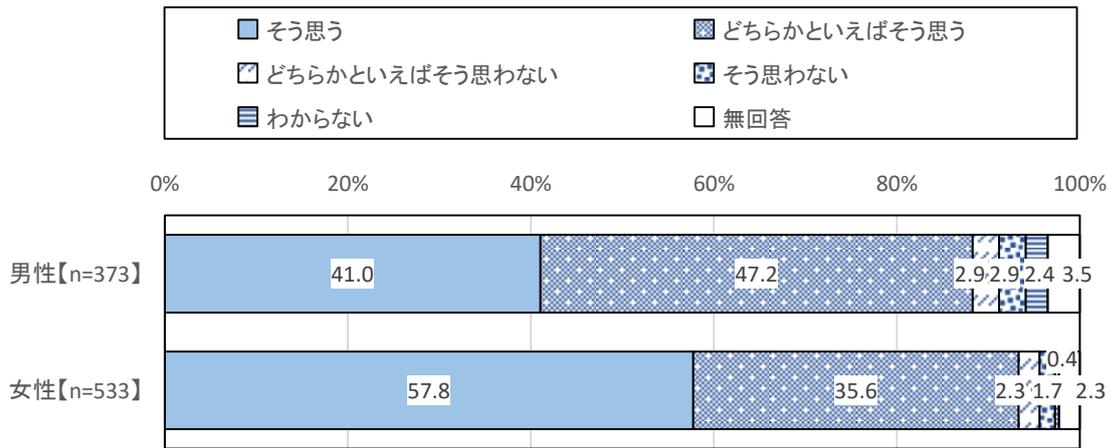
(ア) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよいを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が57.9%、女性は32.6%と男性が女性よりも25.3ポイント高くなっています。

(イ) 女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい



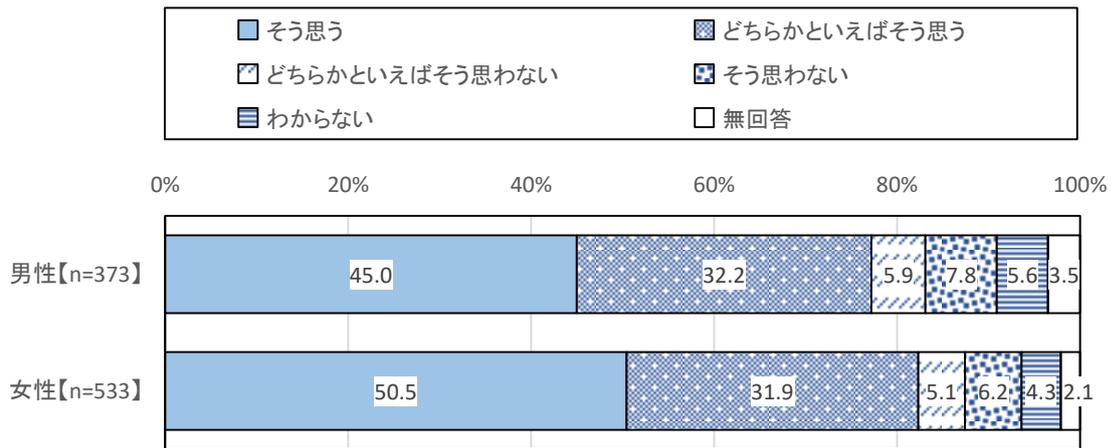
(イ) 女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよいを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が88.2%、女性は89.7%と女性が男性よりも1.5ポイント高くなっています。

(ウ) 男の子にも、家事が出来るように育てるのがよい



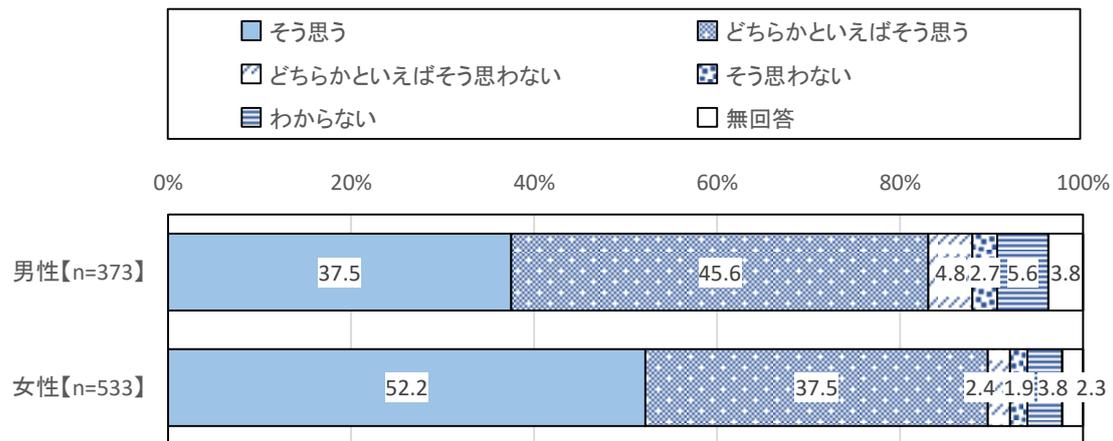
(ウ) 男の子にも、家事が出来るように育てるのがよいを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が88.2%、女性は93.4%と女性が男性よりも5.2ポイント高くなっています。

(エ) 男の子も女の子も同じ程度の学歴を持つ方がよい



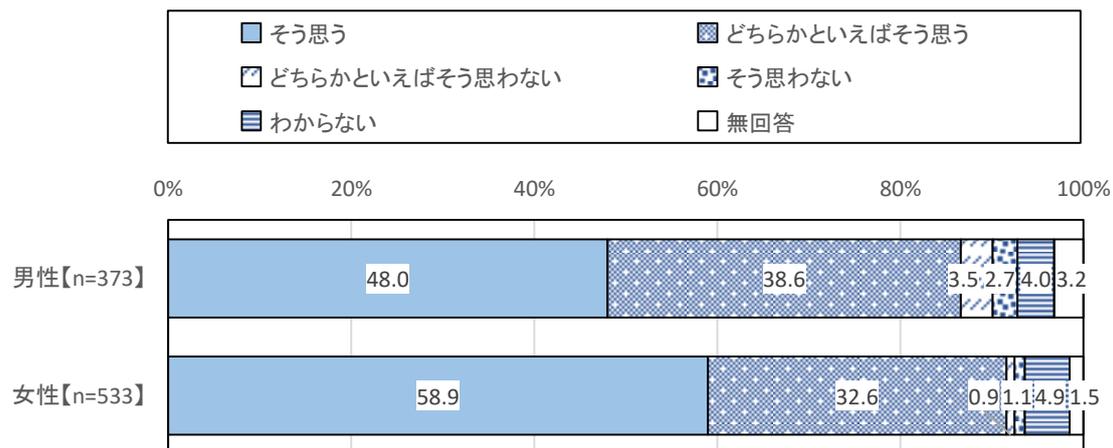
(エ) 男の子も女の子も同じ程度の学歴を持つ方がよいを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が77.2%、女性は82.4%と女性が男性よりも5.2ポイント高くなっています。

(オ) 父親は、今まで以上に子育てに関わる方がよい



(オ) 父親は、今まで以上に子育てに関わる方がよいを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が83.1%、女性は89.7%と女性が男性よりも6.6ポイント高くなっています。

(カ) 子育てには、地域社会の支援も必要である



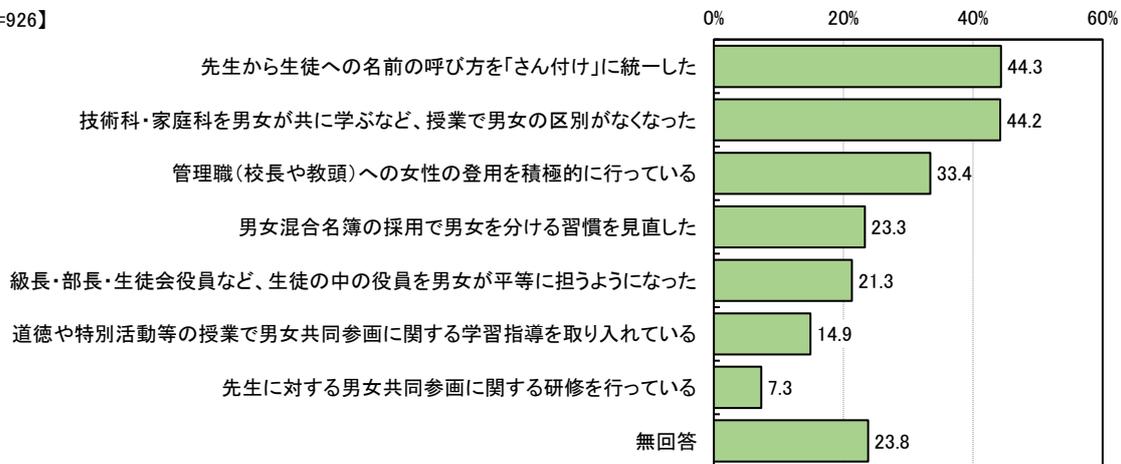
(カ) 子育てには、地域社会の支援も必要であるを男女別にみると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答は、男性が86.6%、女性は91.5%と女性が男性よりも4.9ポイント高くなっています。

教育の場での男女共同

問13 現在、小・中学校では、以下のような取り組みを行っていることを知っていますか。（該当するものに○）

【全体】

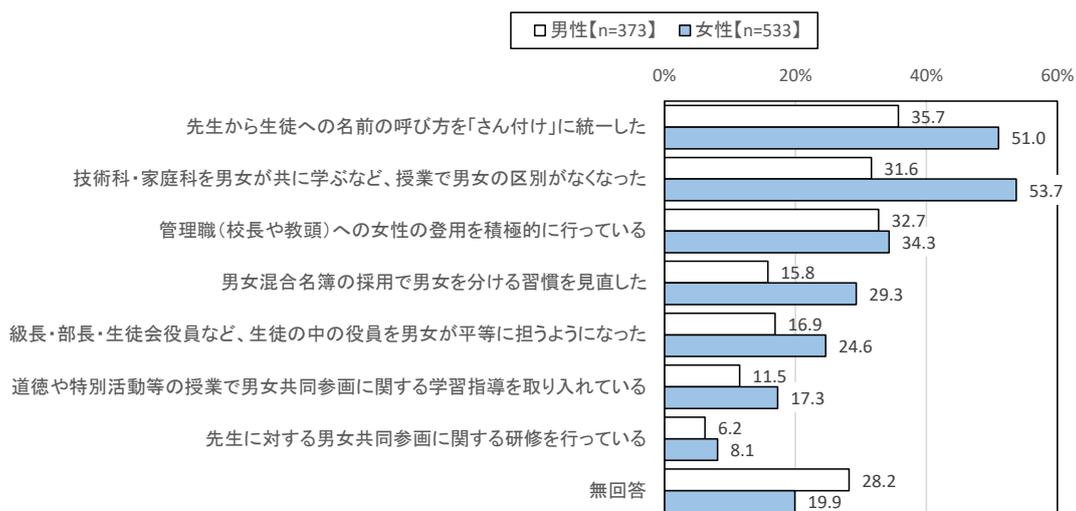
【n=926】



小・中学校で行われている取り組みの中で、知っていることについて尋ねたところ、「先生から生徒への名前の呼び方を『さん付け』に統一した」が44.3%、「技術科・家庭科を男女が共に学ぶなど、授業で男女の区別がなくなった」が44.2%と多くなっています。次いで、「管理職（校長や教頭）への女性の登用を積極的に行っている」が33.4%、「男女混合名簿の採用で、男女を分ける習慣を見直した」が23.3%などとなっています。

男女別にみると、男性よりも女性の回答割合が高い傾向がみられます。また、男性は「先生から生徒への名前の呼び方を『さん付け』に統一した」が35.7%で最も多くなっていますが、女性は53.7%の「技術科・家庭科を男女がともに学ぶなど、授業で男女の区別がなくなった」となりました。

【男女別集計】



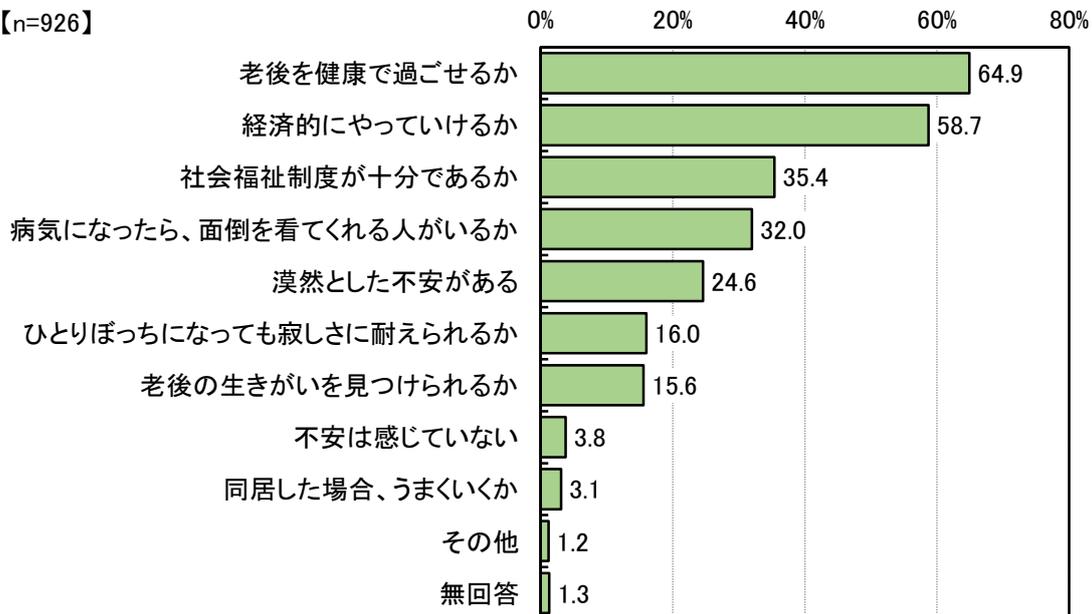
4 高齢化についておうかがいします

老後の不安

問14 老後について、どのようなことに不安を感じていますか。（〇は3つまで）

【全体】

【n=926】

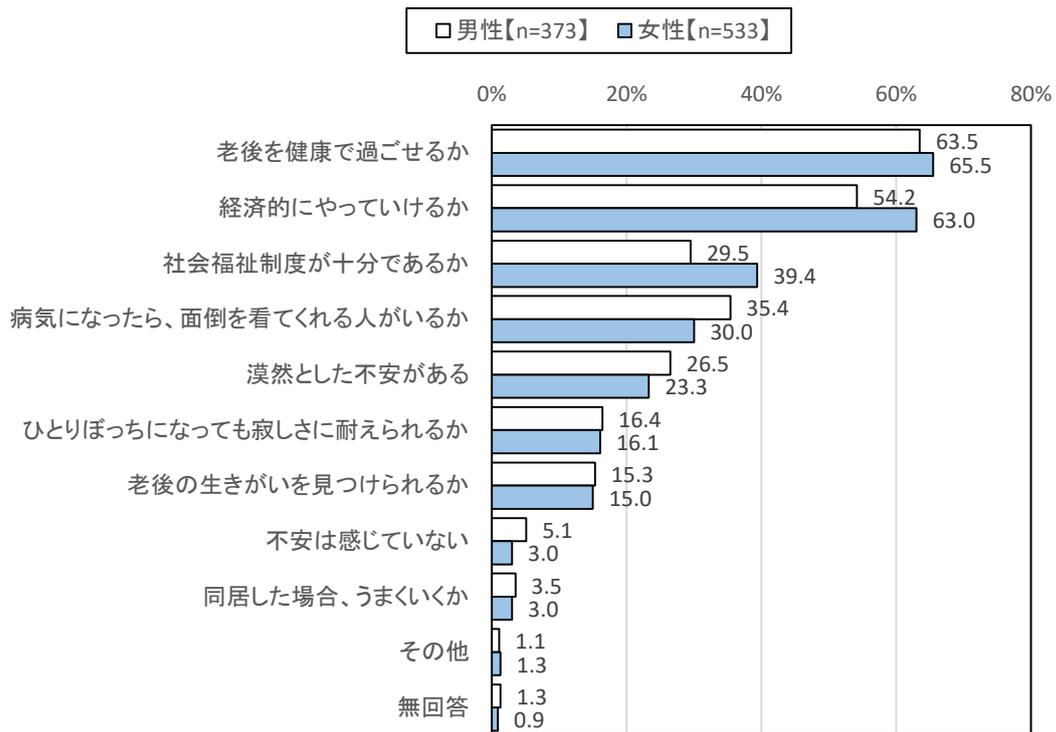


老後について、どのようなことに不安を感じているか尋ねたところ、「老後を健康で過ごせるか」が64.9%で最も多く、次いで、「経済的にやっつけられるか」が58.7%、「社会福祉制度が十分であるか」が35.4%、「病気になったら、面倒を看ってくれる人がいるか」が32.0%などとなっています。

男女別にみると、上位3位までの項目については、男性よりも女性の回答割合が多くなっていますが、4位以降では、男性の回答割合が多くなっています。

さらに年齢別でみると、20代～50代は「経済的にやっつけられるか」の回答割合が多くなっていますが、60代、70代以上では「老後を健康で過ごせるか」の回答割合が多くなっています。

【男女別集計】



【年齢別集計】

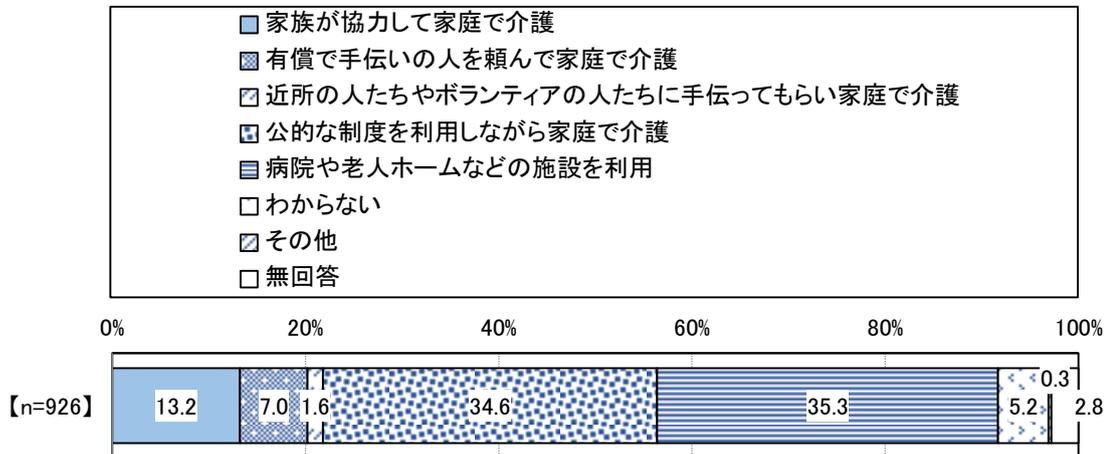
単位: %	老後を健康で過ごせるか	経済的にやっていけるか	社会福祉制度が十分であるか	病気になったら、面倒をくれる人がいるか	漠然とした不安がある	ひとりぼっちになっても寂しさに耐えられるか	老後の生きがいを見つけられるか	不安は感じていない	同居した場合、うまくいくか	その他	無回答
全体【n=926】	64.9	58.7	35.4	32.0	24.6	16.0	15.6	3.8	3.1	1.2	1.3
20代【n=45】	26.7	62.2	40.0	28.9	24.4	17.8	31.1	0.0	6.7	0.0	2.2
30代【n=118】	54.2	79.7	36.4	30.5	24.6	15.3	16.1	0.8	1.7	0.8	0.0
40代【n=168】	51.8	78.6	33.9	28.6	22.0	14.9	16.7	2.4	2.4	2.4	0.0
50代【n=155】	65.8	67.7	32.3	40.6	19.4	13.5	14.2	4.5	0.6	0.6	0.6
60代【n=190】	78.9	51.6	36.3	34.7	19.5	16.8	14.7	4.2	3.7	1.1	1.1
70代以上【n=234】	74.8	34.6	36.8	27.8	33.8	18.8	12.4	6.4	5.1	1.3	2.6

介護について

問15 あなたが、寝たきりの高齢者やからだの不自由な人を「①介護する場合」どうしますか。また、自分が「②介護される場合」の希望もお答え願います。
(それぞれ1つ選ぶ)

①介護する場合

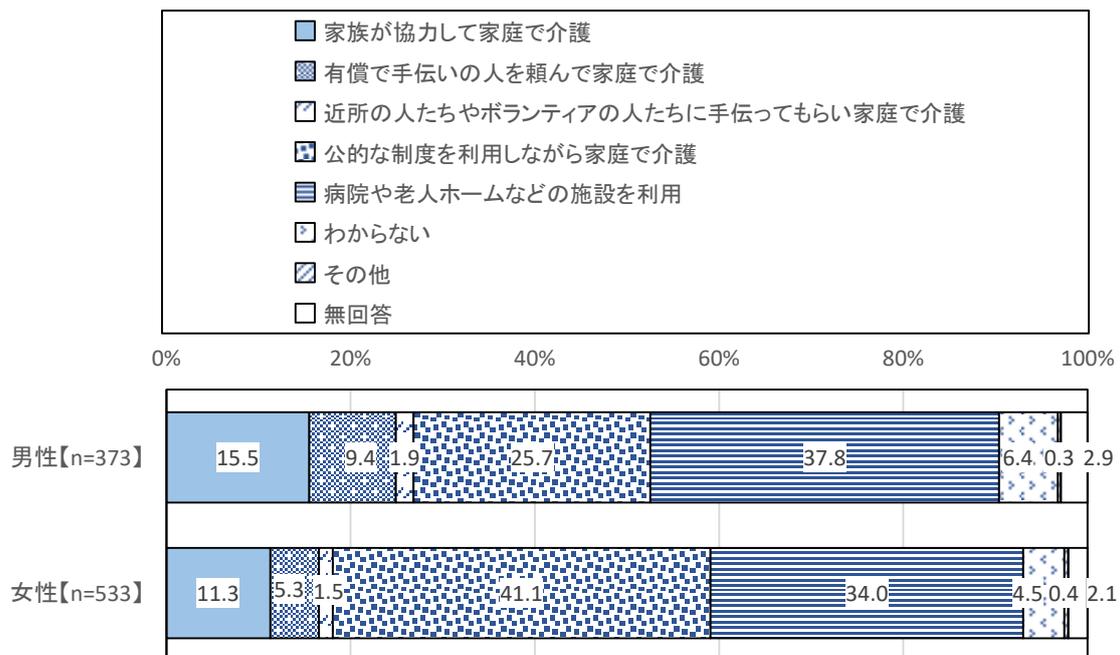
【全体】



①介護する場合は、「病院や老人ホームなどの施設を利用」が35.3%で最も多く、次いで、「公的な制度を利用しながら家庭で介護」が34.6%、「家族が協力して家庭で介護」が13.2%となっています。

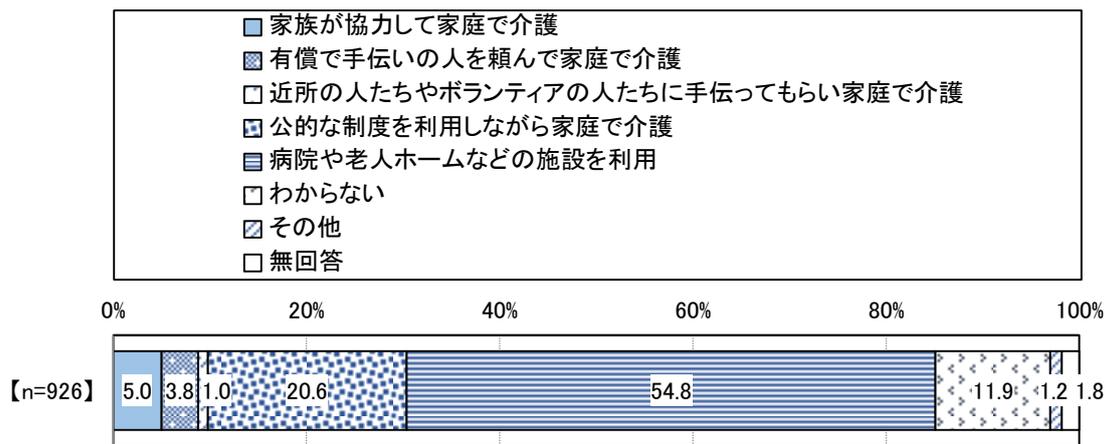
男女別にみると、「公的な制度を利用しながら家庭で介護」において、男性は25.7%、女性は41.1%と女性が男性より15.4ポイント高くなっています。

【男女別集計】



②介護される場合

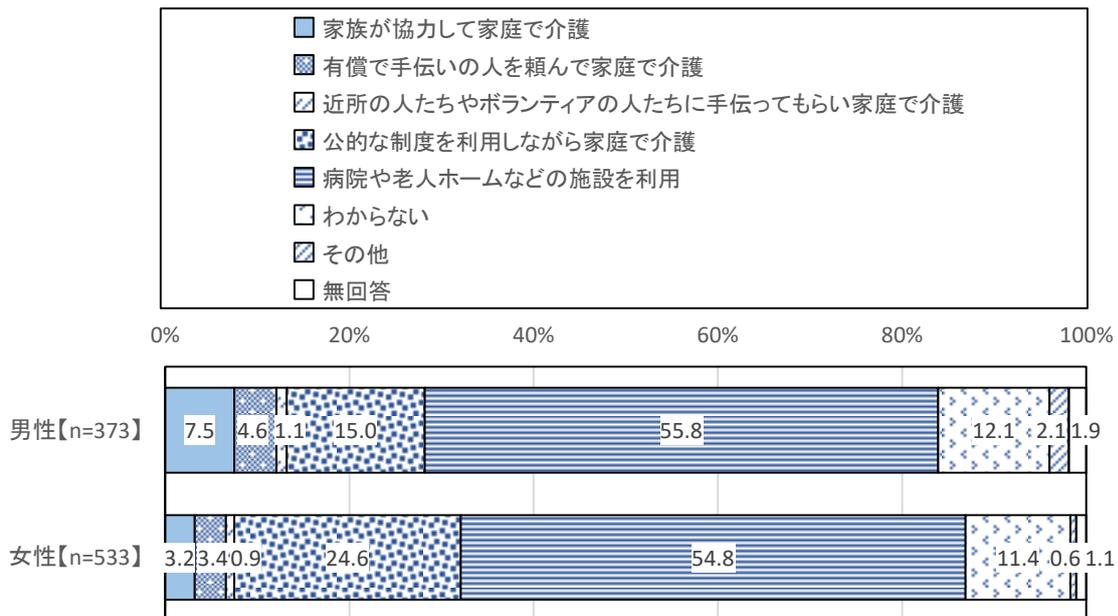
【全体】



②介護される場合では、「病院や老人ホームなどの施設を利用」が54.8%で最も多く、次いで、「公的な制度を利用しながら家庭で介護」が20.6%、「家族が協力して家庭で介護」が5.0%となっています。

男女別にみると、「公的な制度を利用しながら家庭で介護」において、男性が15.0%、女性は24.6%と女性が男性よりも9.6ポイント高くなっています。

【男女別集計】



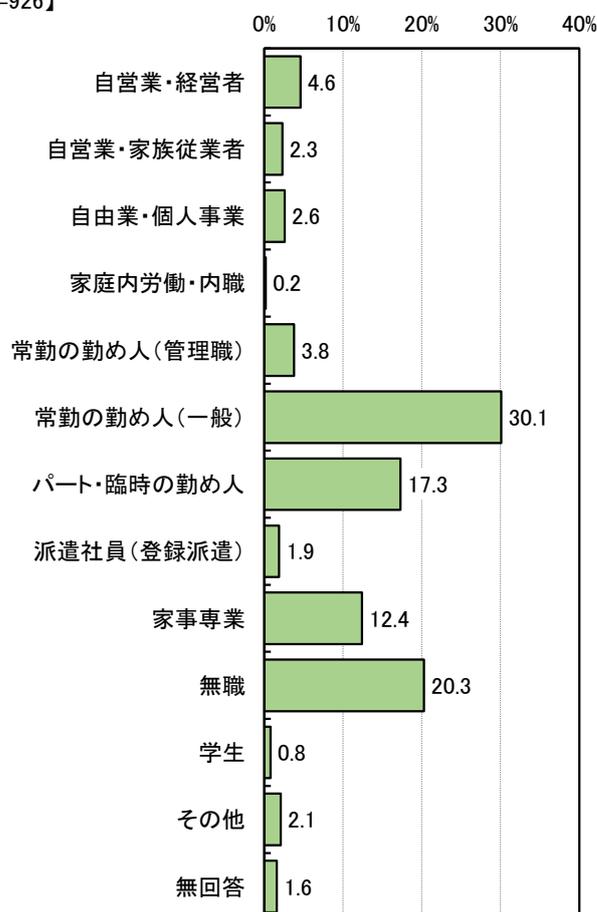
5 労働・職場についておうかがいします

職業

問16 あなたの職業は次のどれですか。(〇は1つ)

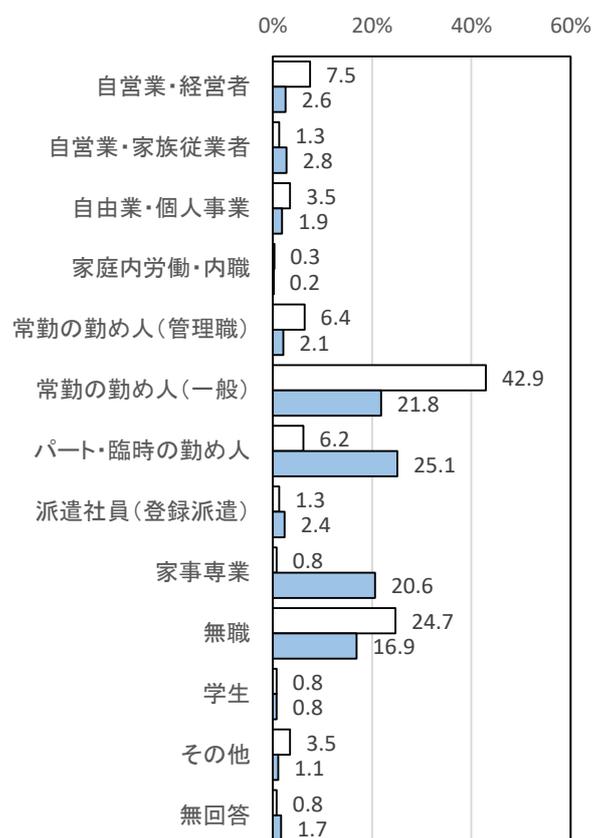
【全体】

【n=926】



【男女別集計】

□男性【n=373】 ■女性【n=533】



回答者の職業は、「常勤の勤め人（一般）」が30.1%と最も多く、次いで、「パート・臨時の勤め人」が17.3%、「家事専業」が12.4%、「自営業・経営者」が4.6%などとなっています。

また、「無職」は20.3%となっています。

男女別にみると、男性は「常勤の勤め人（一般）」が最も多く、女性の約2倍となっています。女性では「パート・臨時の勤め人」が最も多くなっています。

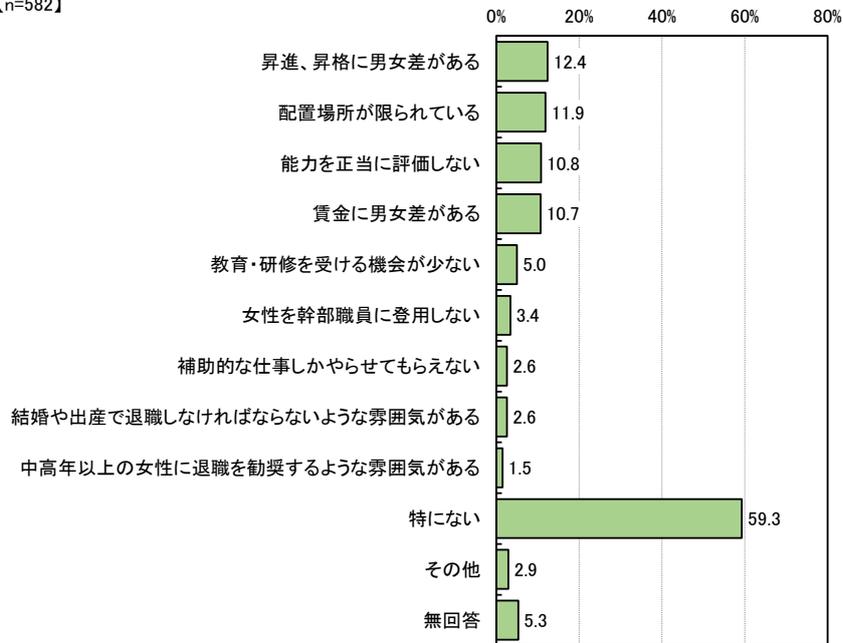
男女における仕事の内容や待遇面の差

【問16で1～8のいずれかをお答えの方におうかがいします】

問16-1 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で女性に対して次のようなことがありますか。（該当するものに○）

【全体】

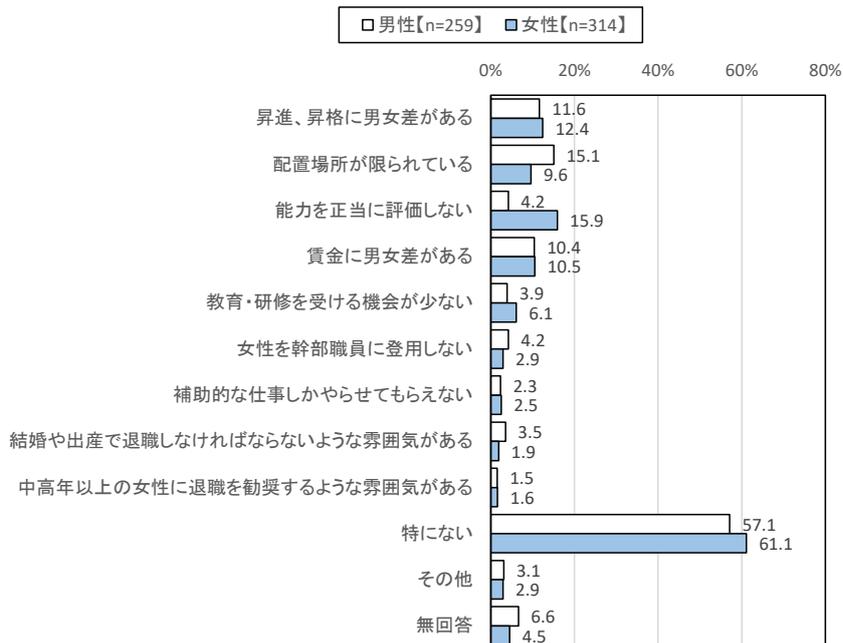
【n=582】



女性の仕事の内容や待遇について尋ねたところ、「昇進、昇格に男女差がある」が12.4%で最も多く、次いで、「配置場所が限られている」が11.9%、「能力を正當に評価しない」が10.8%、「賃金に男女差がある」が10.7%などとなっています。

男女別にみると、「能力を正當に評価しない」において、男性は4.2%なのに対し、女性は15.9%と4倍近い差がみられました。

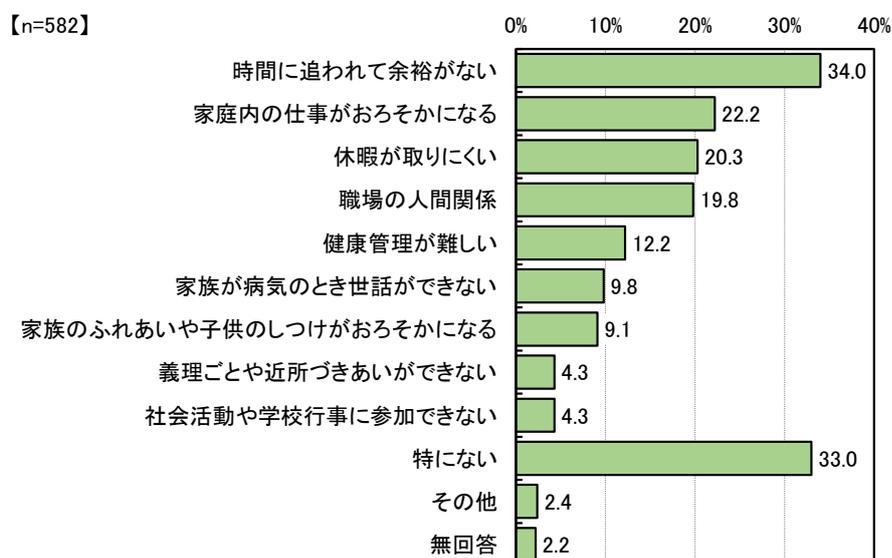
【男女別集計】



仕事をしていて困ること

問16-2 仕事をしていて困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

【全体】

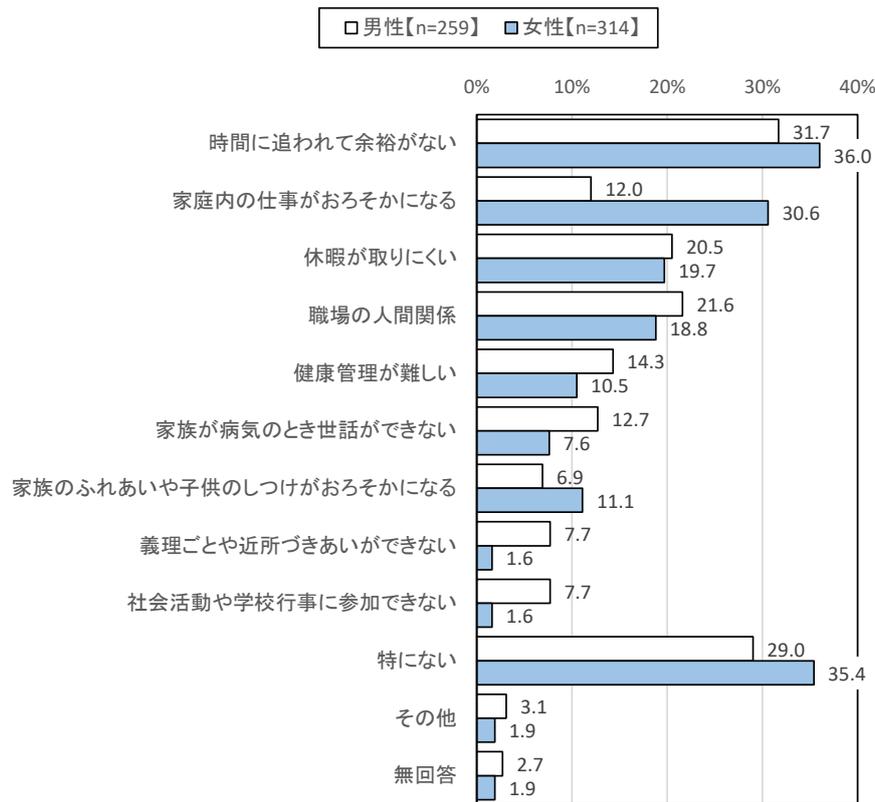


仕事をしていて困っていることについて尋ねたところ、「時間に追われて余裕がない」が34.0%で最も多く、次いで、「家庭内の仕事がおろそかになる」が22.2%、「休暇が取りにくい」が20.3%、「職場の人間関係」が19.8%などとなっています。

男女別にみると、「家庭内の仕事がおろそかになる」について男性は12.0%となっていますが、女性は30.6%と2.5倍もの差がみられました。

さらに年齢別でみると、30代～50代では「時間に追われて余裕がない」が他の年代より多くなっています。

【男女別集計】



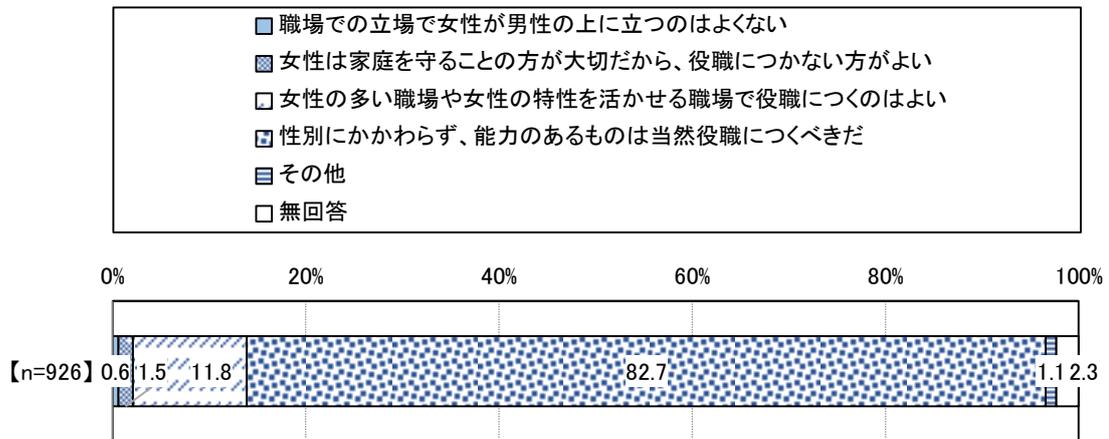
【男女別集計】

単位:%	が時間に追われて余裕がない	家庭内の仕事がおろそかになる	休暇が取りにくい	職場の人間関係	健康管理が難しい	家族が病気のとき世話ができない	家族のふれあいや子供のしつけがおろそかになる	義理ごとや近所づきあいができない	社会活動や学校行事に参加できない	特にない	その他	無回答
全体【n=582】	34.0	22.2	20.3	19.8	12.2	9.8	9.1	4.3	4.3	33.0	2.4	2.2
20代【n=31】	29.0	12.9	29.0	16.1	12.9	6.5	9.7	6.5	0.0	25.8	0.0	3.2
30代【n=102】	48.0	29.4	21.6	18.6	10.8	11.8	20.6	3.9	2.9	22.5	3.9	1.0
40代【n=150】	41.3	28.0	21.3	18.0	10.7	9.3	13.3	4.0	6.7	28.7	4.0	0.7
50代【n=132】	39.4	19.7	24.2	25.8	15.9	9.8	3.8	5.3	5.3	28.0	0.8	0.8
60代【n=105】	18.1	15.2	13.3	19.0	12.4	12.4	1.0	5.7	3.8	48.6	1.0	1.9
70代以上【n=56】	7.1	16.1	10.7	17.9	8.9	5.4	5.4	0.0	1.8	48.2	3.6	12.5

女性が役職につくこと

問17 女性が、職場で役職につくことをどう思いますか。(〇は1つ)

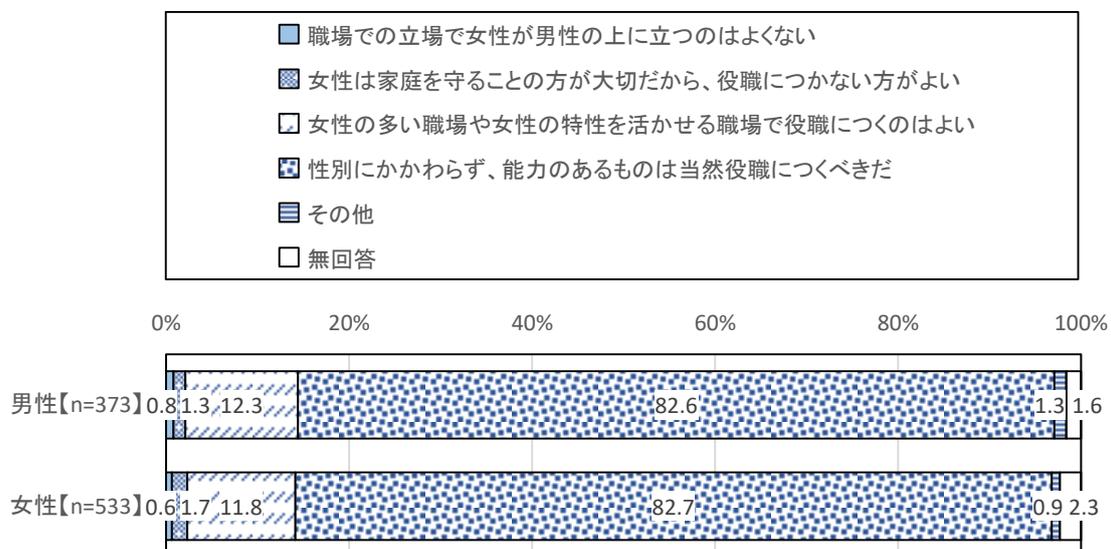
【全体】



女性が、職場で役職に就くことについて尋ねたところ、「性別にかかわらず、能力のあるものは当然役職につくべきだ」が82.7%で最も多く、次いで、「女性の多い職場や女性の特性を活かせる職場で役職につくのはよい」が11.8%となっています。

また、男女別にみても、全体と同じ傾向がみられました。

【男女別集計】

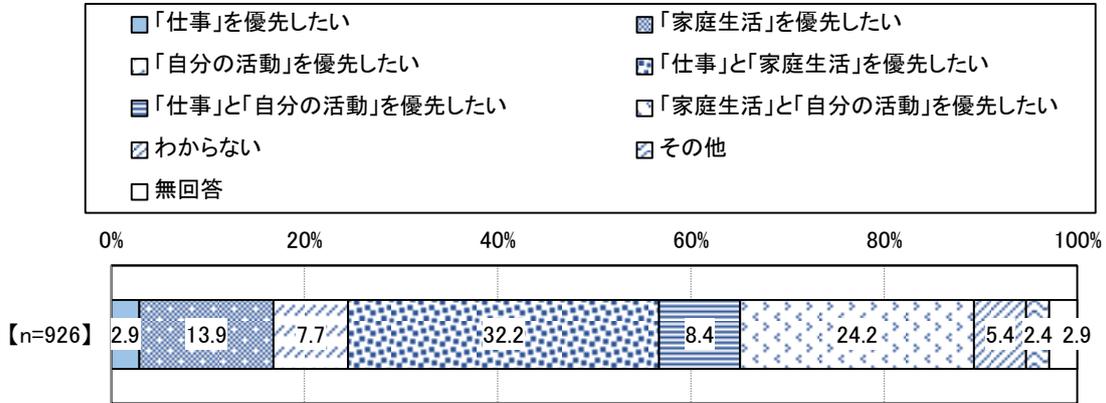


6 ワーク・ライフ・バランスについておうかがいします

生活の中での優先度（希望）

問18 生活の中で、何を優先したいと思いますか。（○は1つ）

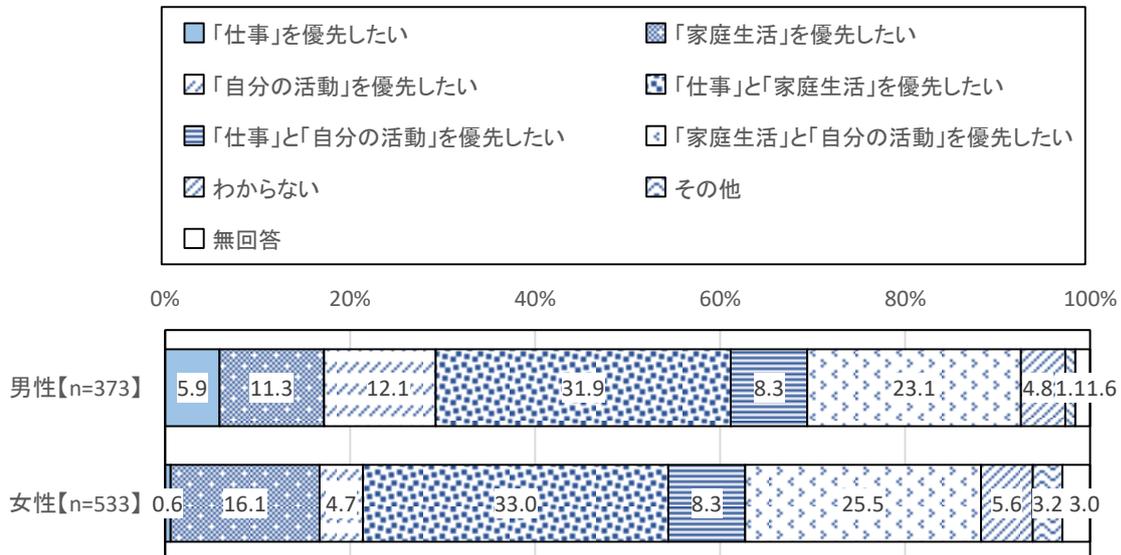
【全体】



生活の中での優先度（希望）について尋ねたところ、「『仕事』と『家庭生活』を優先したい」が32.2%で最も多く、次いで、「『家庭生活』と『自分の活動』を優先したい」が24.2%、「『家庭生活』を優先したい」が13.9%となっています。

男女別にみると、「『自分の活動』を優先したい」では、男性が12.1%、女性は4.7%と男性が女性よりも7.4ポイント上回っています。

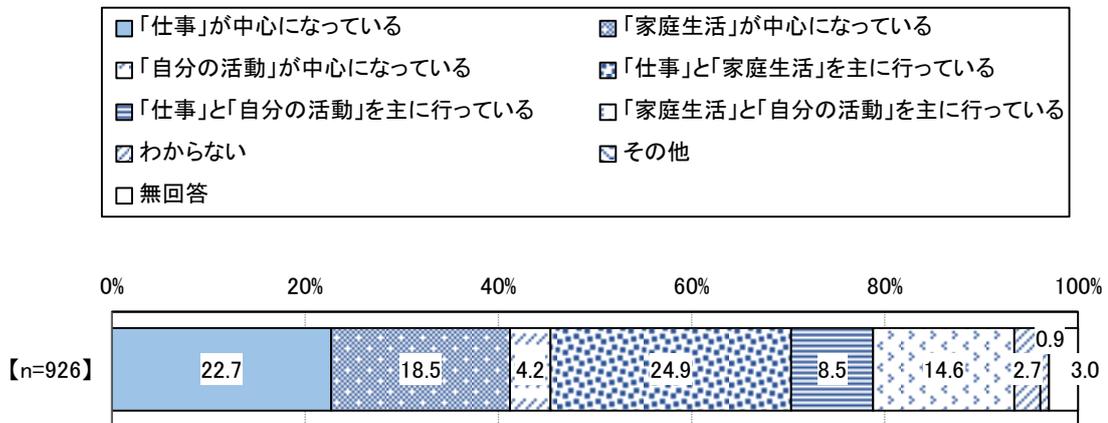
【男女別集計】



生活の中での優先度（現状）

問19 あなたの生活の中で、現状に最も近いものはどれですか。（○は1つ）

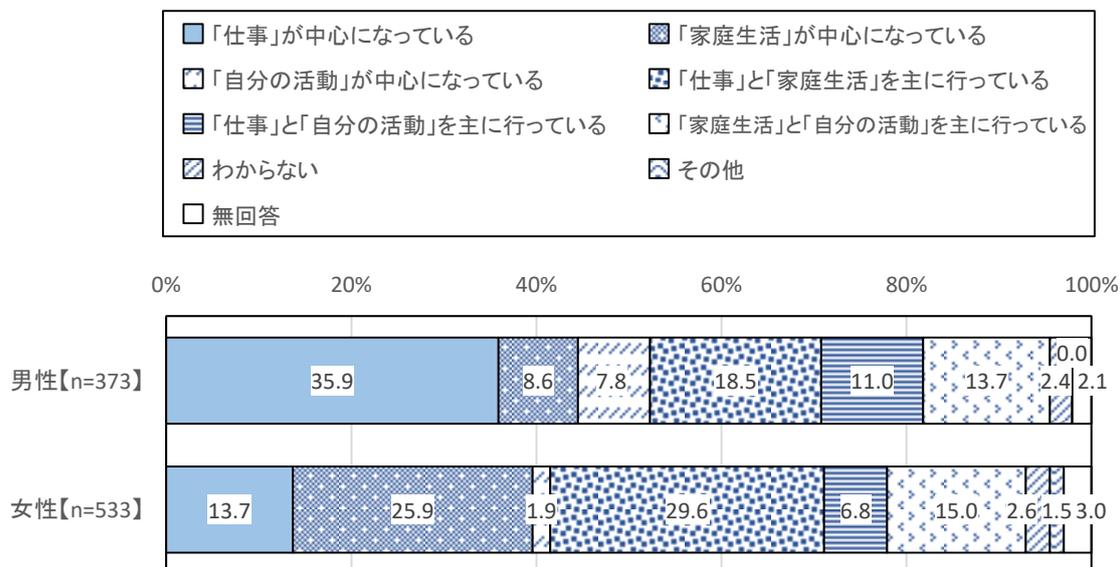
【全体】



生活の中での優先度（現状）について尋ねたところ、「『仕事』と『家庭生活』を主にやっている」が24.9%で最も多く、次いで、「『仕事』が中心になっている」が22.7%、「『家庭生活』が中心になっている」が18.5%、「『家庭生活』と『自分の活動』を主にやっている」が14.6%となっています。

男女別にみると、「『仕事』が中心になっている」では、男性が35.9%、女性は13.7%と男性が女性よりも22.2ポイント上回っています。また、「『家庭生活』が中心になっている」は、男性が8.6%、女性が25.9%と女性が男性を17.3ポイント上回っています。

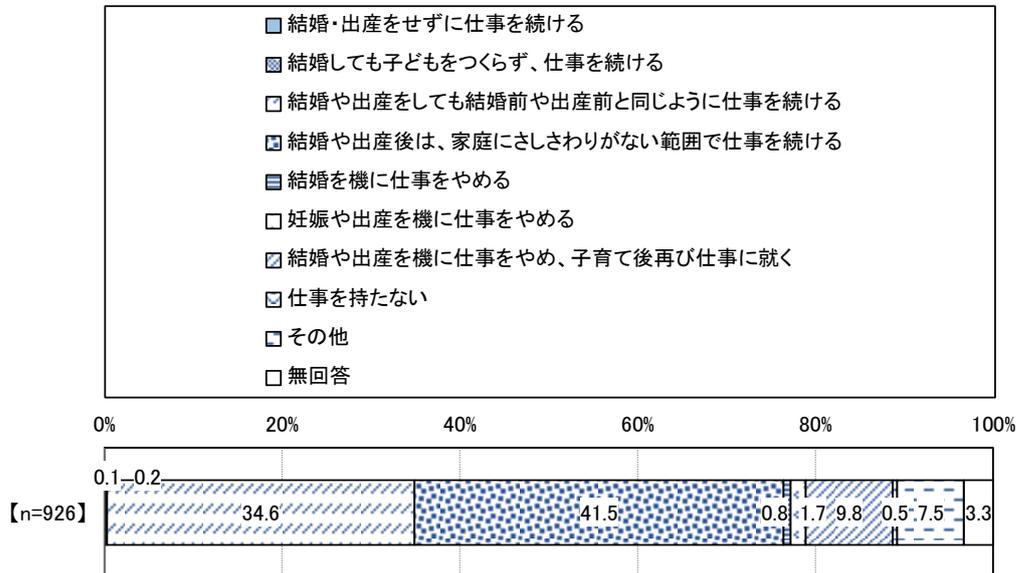
【男女別集計】



女性にとって望ましい生き方

問20 女性の生き方は多様化していますが、女性にとって望ましい生き方は次のうちどれだと思いますか。（〇は1つ）

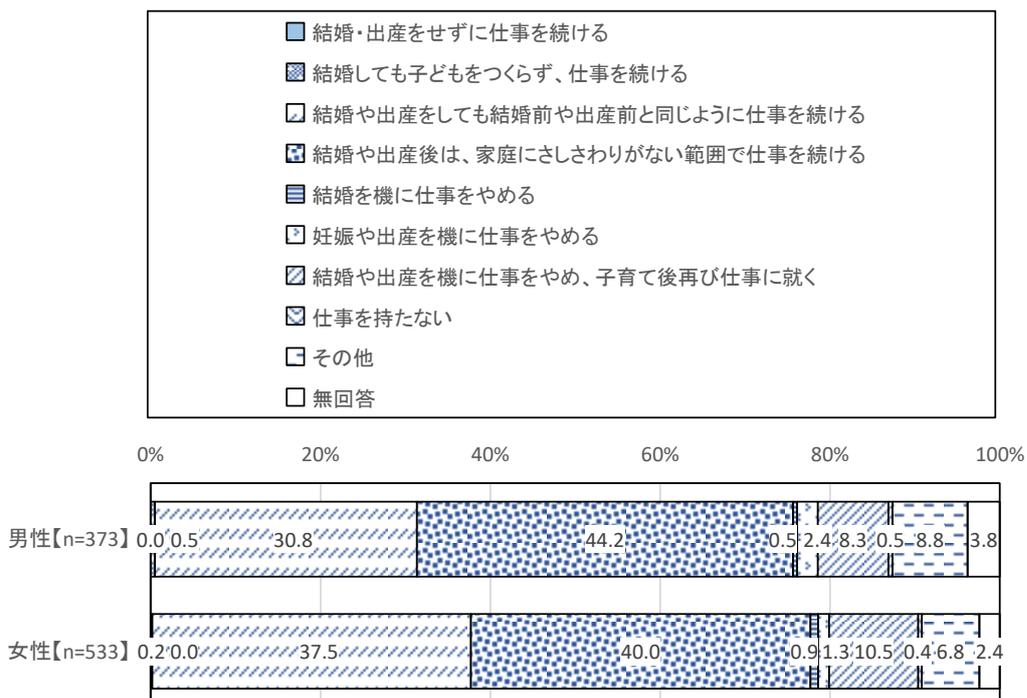
【全体】



女性にとって望ましい生き方を尋ねたところ、「結婚や出産後は、家庭にさしさわりのない範囲で仕事を続ける」が41.5%で最も多く、次いで、「結婚や出産をしても結婚前や出産前と同じように仕事を続ける」が34.6%、「結婚や出産を機に仕事をやめ、子育て後再び仕事に就く」が9.8%となっています。

男女別にみると、「結婚や出産をしても結婚前や出産前と同じように仕事を続ける」において、男性は30.8%、女性は37.5%と女性が男性よりも6.7ポイント上回っています。

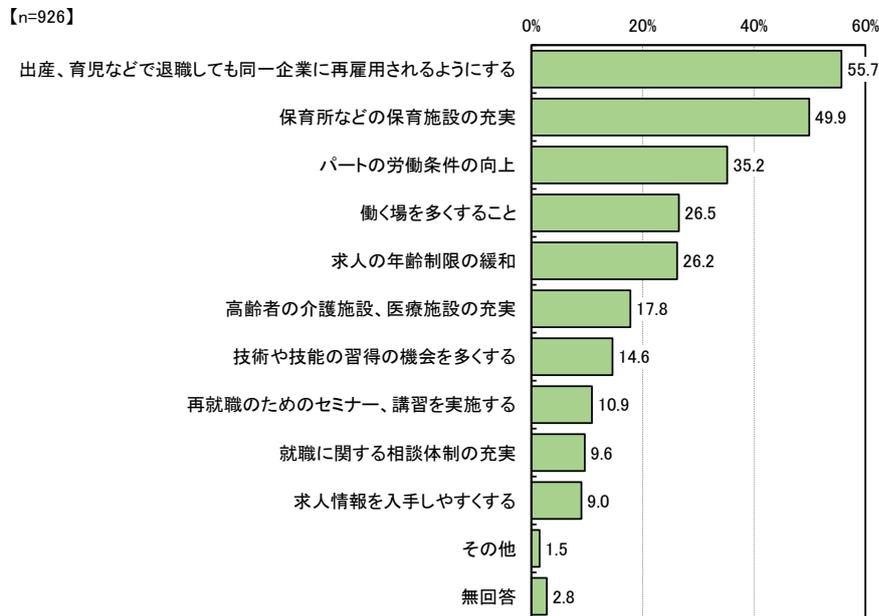
【男女別集計】



女性の再就職と家庭等の両立支援や対策で望まれること

問21 一時期家庭に入った女性が、再就職を希望する場合どのような両立支援や対策が望まれますか。（〇は3つまで）

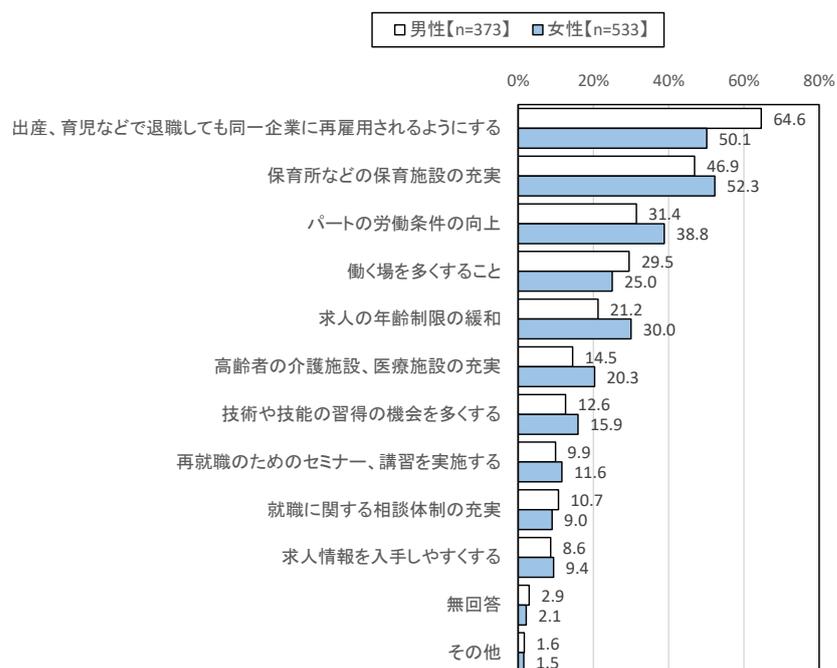
【全体】



女性の再就職と家庭等の両立支援や対策で望まれていることについて尋ねたところ、「出産、育児などで退職しても同一企業に再雇用されるようにする」が55.7%で最も多く、次いで、「保育所などの保育施設の充実」が49.9%、「パートの労働条件の向上」が35.2%などとなっています。

男女別にみると、「出産、育児などで退職しても同一企業に再雇用されるようにする」において、男性が64.6%、女性は50.1%と男性が女性よりも14.5ポイント上回っています。

【男女別集計】



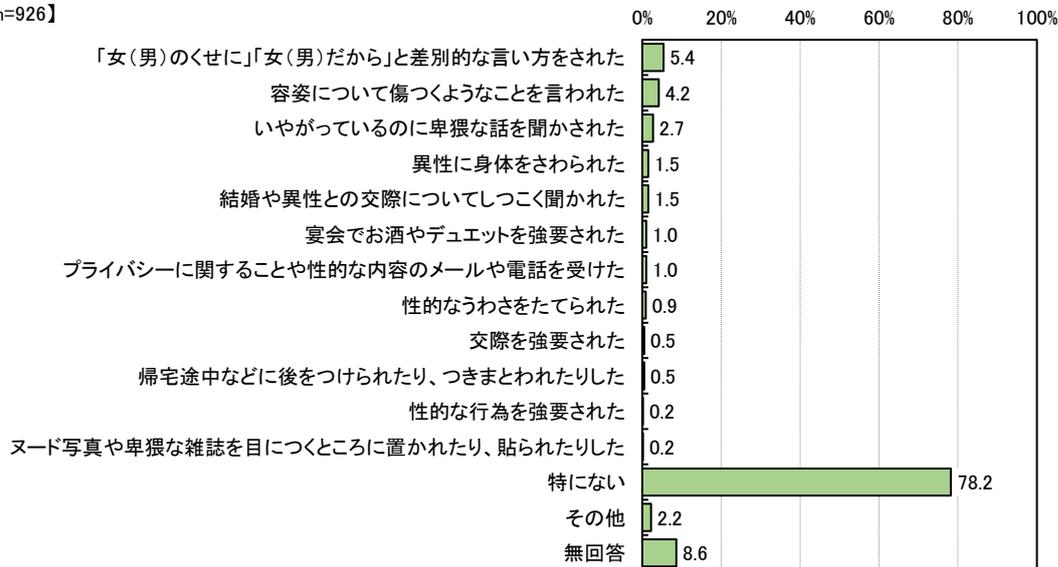
7 男女の人権についておうかがいします

職場・学校・地域における不愉快な経験

問22 あなたは、ここ1～2年の間に、職場・学校・地域で次のような不愉快な経験をしたことがありますか。（該当するものに○）

【全体】

【n=926】

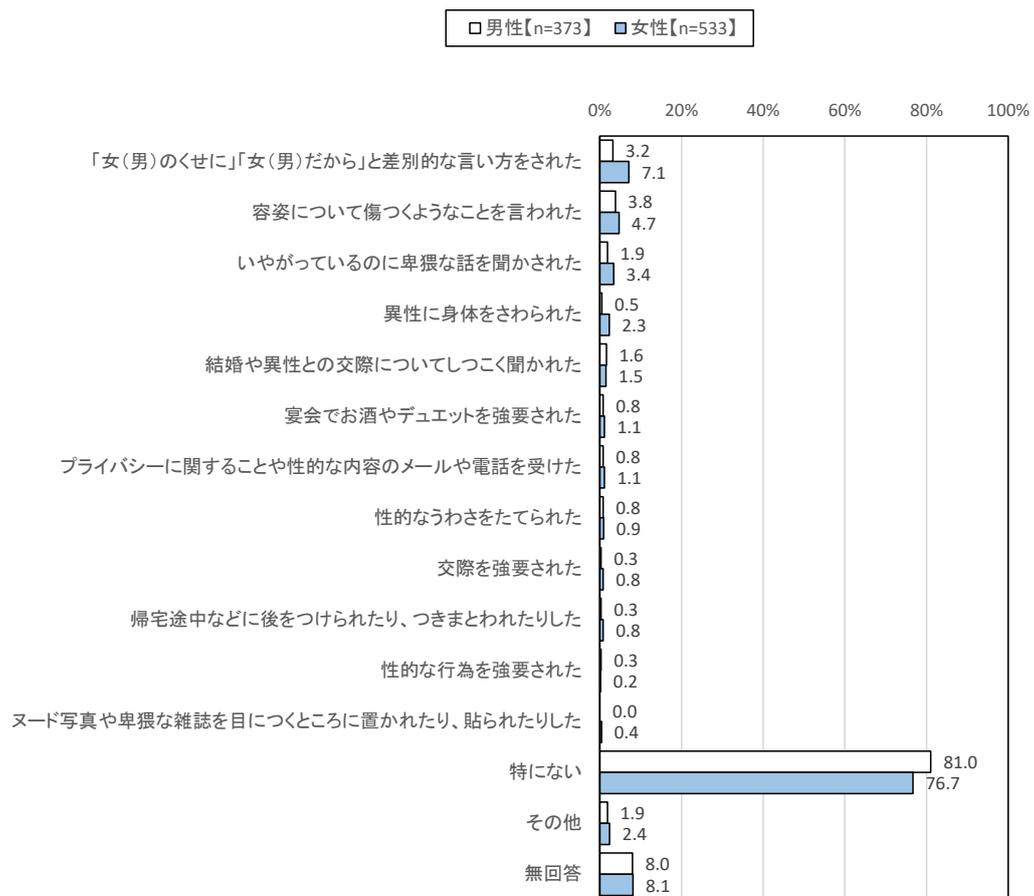


職場などでの不愉快な経験について尋ねたところ、「『女(男)のくせに』『女(男)だから』と差別的な言い方をされた」が5.4%と最も多く、次いで、「容姿について傷つくようなことを言われた」が4.2%、「いやがっているのに卑猥な話を聞かされた」が2.7%などとなっています。

また、78.2%が「特にない」と回答しています。

男女別にみると、「『女(男)のくせに』『女(男)だから』と差別的な言い方をされた」では、男性が3.2%、女性は7.1%と女性が男性よりも3.9ポイント上回っています。

【男女別集計】

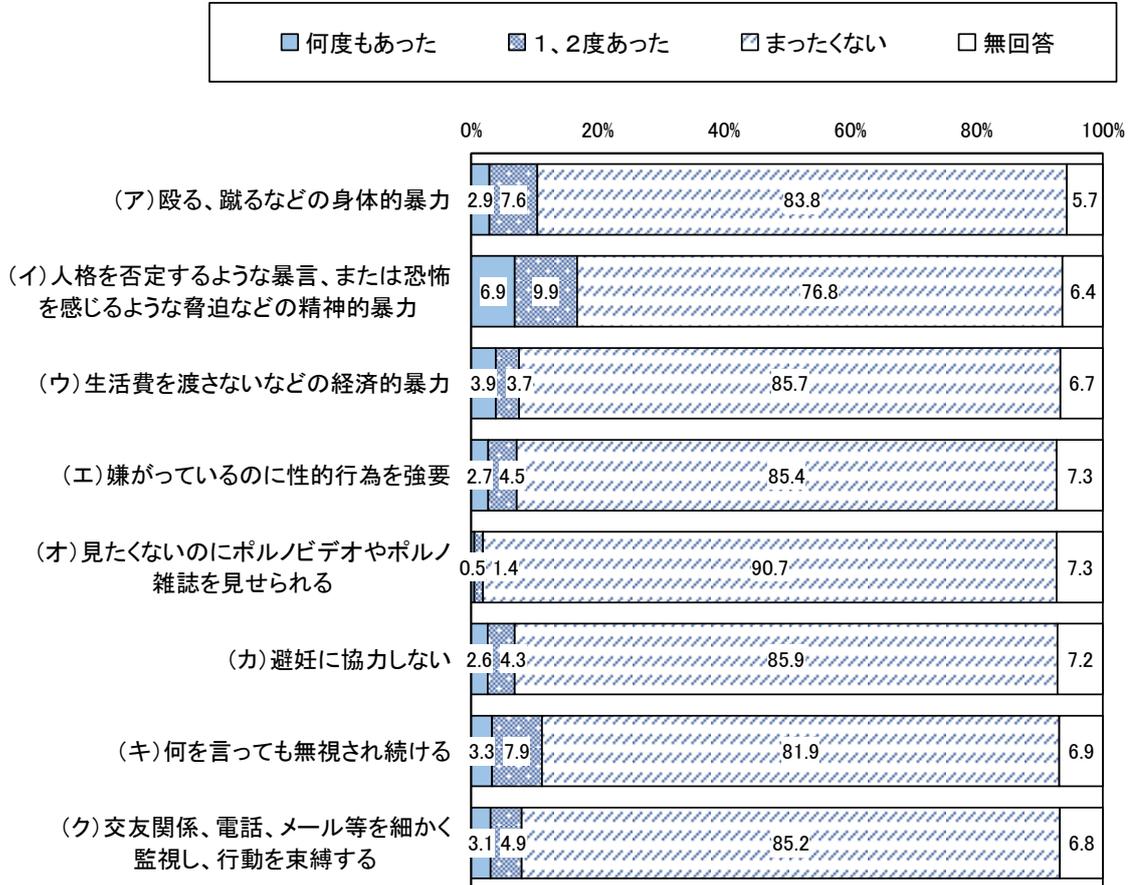


配偶者やパートナーからDVを受けた経験

問23 これまでに、配偶者（事実婚や別居、離別を含む）や恋人などのパートナーから次にあげるようなことをされたことがありますか。（それぞれに〇は1つ）

【全体】

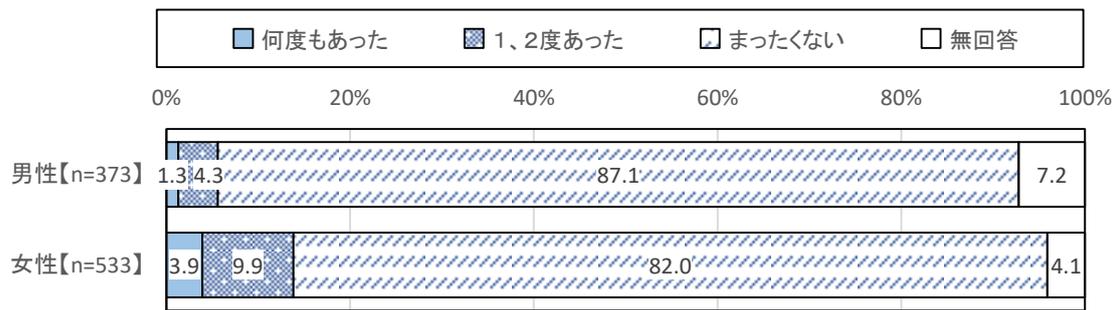
【n=926】



配偶者やパートナーからDVを受けた経験について、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答が多い設問は、「(イ) 人格を否定するような暴言、または恐怖を感じるような脅迫などの精神的暴力」が16.8%で最も多く、次いで、「(キ) 何を言っても無視され続ける」が11.2%、「(ア) 殴る、蹴るなどの身体的暴力」が10.5%、「(ク) 交友関係、電話、メール等を細かく監視し、行動を束縛する」が8.0%となっています。

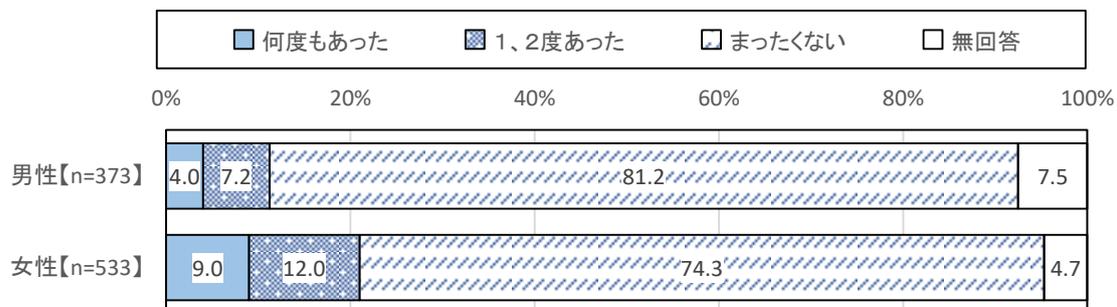
【男女別集計】

(ア) 殴る、蹴るなどの身体的暴力



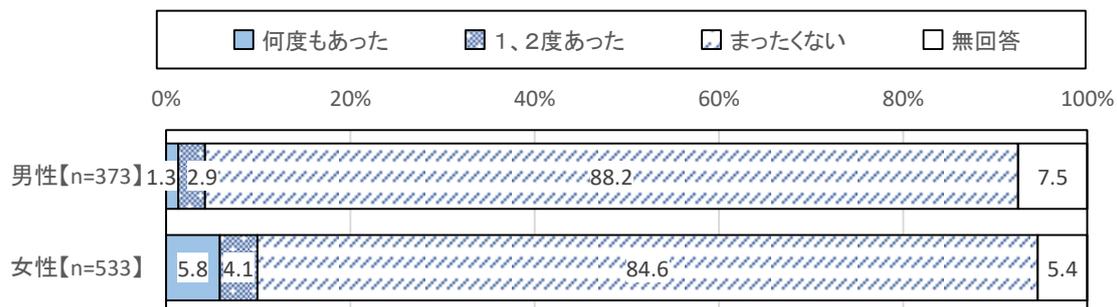
(ア) 殴る、蹴るなどの身体的暴力を受けた経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が5.6%、女性は13.8%と女性が男性を8.2ポイント上回っています。

(イ) 人格を否定するような暴言、または恐怖を感じるような脅迫などの精神的暴力



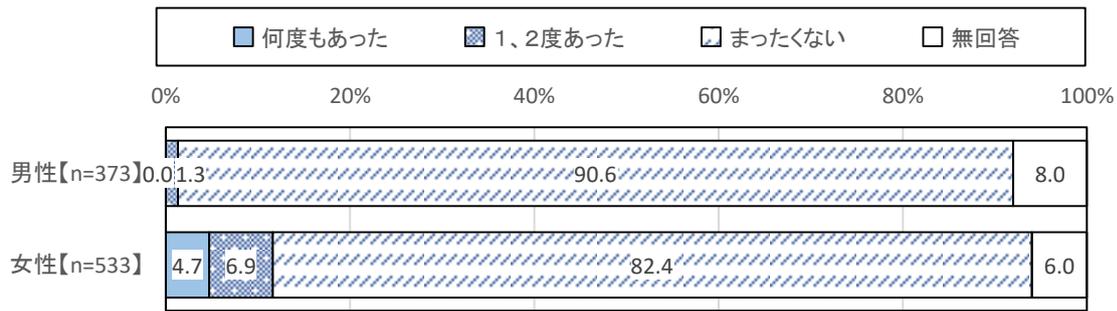
(イ) 人格を否定するような暴言、または恐怖を感じるような脅迫などの精神的暴力を受けた経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が11.2%、女性は21.0%と女性が男性を9.8ポイント上回っています。

(ウ) 生活費を渡さないなどの経済的暴力



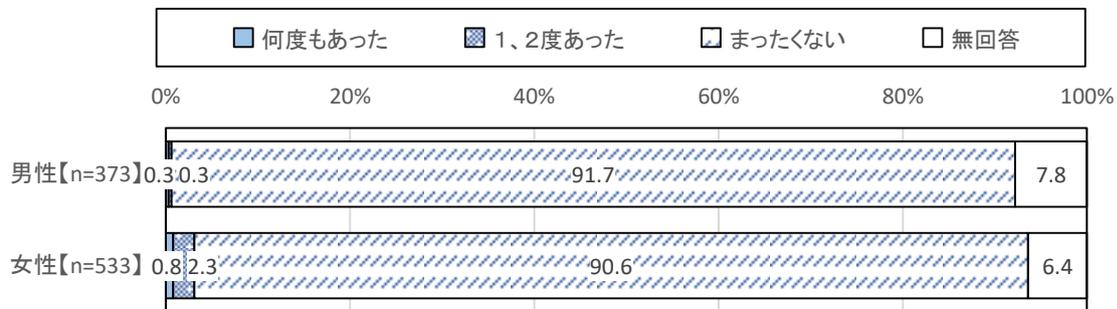
(ウ) 生活費を渡さないなどの経済的暴力を受けた経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が4.2%、女性は9.9%と女性が男性を5.7ポイント上回っています。

(工) 嫌がっているのに性的行為を強要



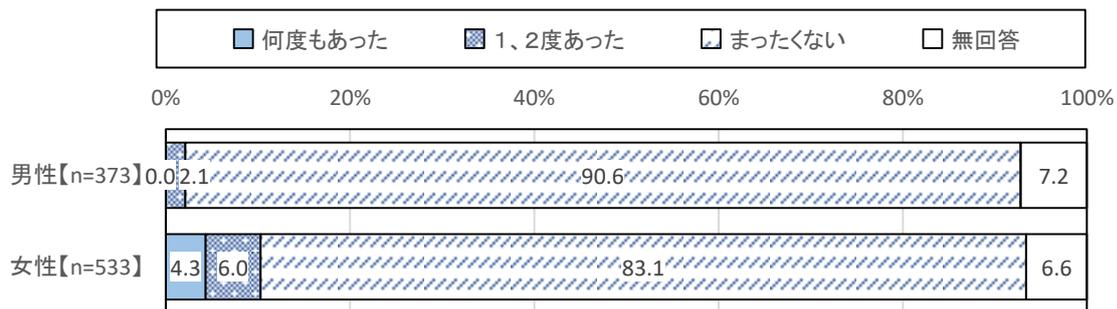
(工) 嫌がっているのに性的行為を強要された経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が1.3%、女性は11.6%と女性が男性を10.3ポイント上回っています。

(オ) 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる



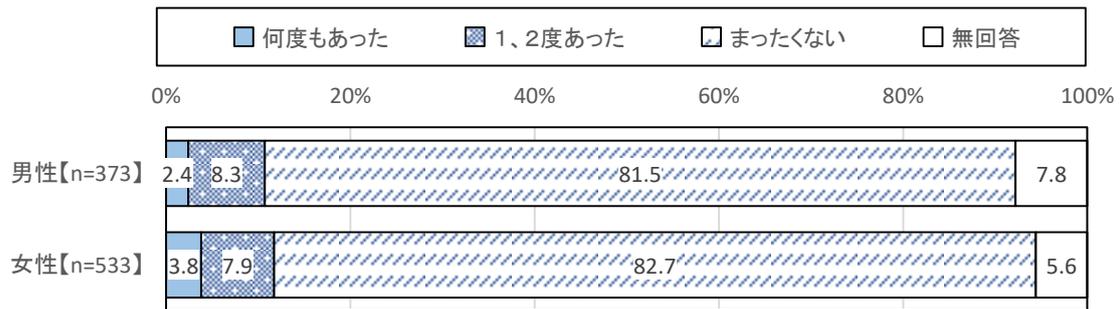
(オ) 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が0.6%、女性は3.1%と女性が男性を2.5ポイント上回っています。

(カ) 避妊に協力しない



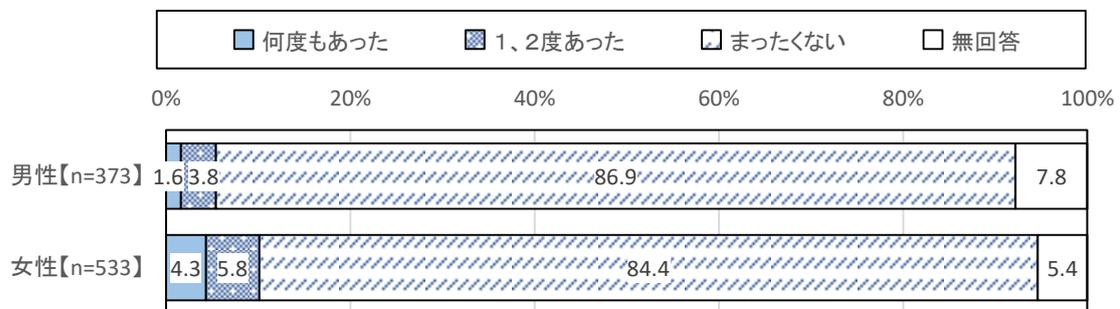
(カ) 避妊に協力してもらえない経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が2.1%、女性は10.3%と女性が男性を8.2ポイント上回っています。

(キ) 何を言っても無視され続ける



(キ) 何を言っても無視され続けた経験について男女別にみると、「何度もあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が10.7%、女性は11.7%と女性が男性を1.0ポイント上回っています。

(ク) 交友関係、電話、メール等を細かく監視し、行動を束縛する



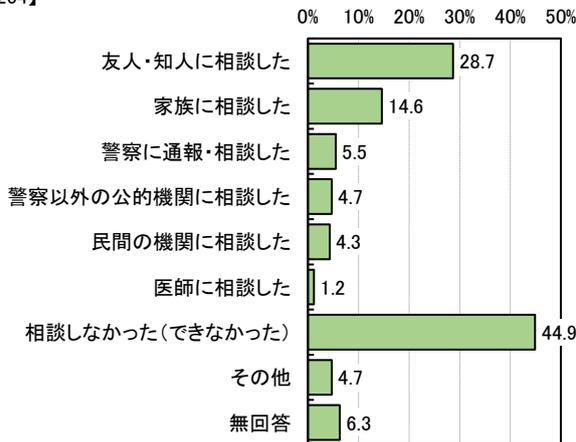
(ク) 交友関係、電話、メール等を細かく監視し、行動を束縛された経験について男女別にみると、「何どもあった」、「1、2度あった」を合わせた回答は、男性が5.4%、女性は10.1%と女性が男性を4.7ポイント上回っています。

だれかに打ち明けたり、相談したか

【問23で1か2に1つでも○があった方におうかがいします】
 問23-1 これまでに、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。
 (該当するものに○)

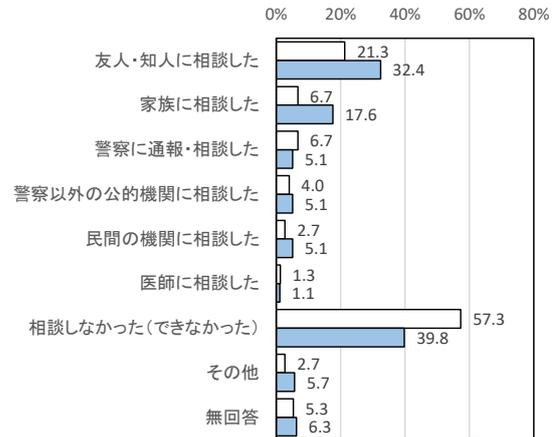
【全体】

【n=254】



【男女別集計】

□ 男性【n=75】 ■ 女性【n=176】



配偶者やパートナーからのDVを、だれかに打ち明けたり相談したりしたか尋ねたところ、「友人・知人に相談した」が28.7%で最も多くなっており、次いで、「家族に相談した」が14.6%、「警察に通報・相談した」が5.5%、「警察以外の公的機関に相談した」が4.7%、「民間の機関に相談した」が4.3%、「医師に相談した」が1.2%となっています。

また、44.9%が「相談しなかった(できなかった)」と回答しています。

男女別にみると、「友人・知人に相談した」では、男性が21.3%、女性は32.4%と女性が男性よりも11.1ポイント上回っています。

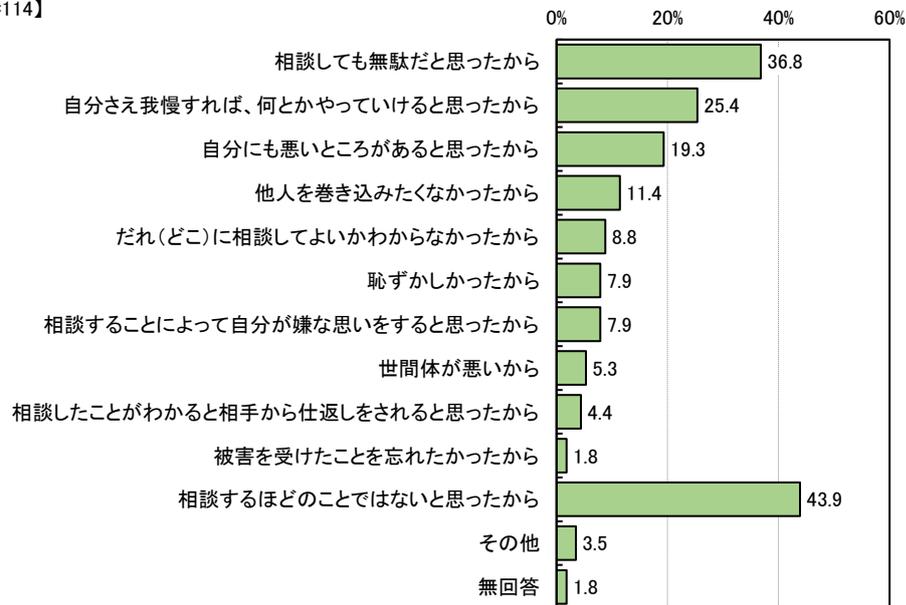
また、「相談しなかった(できなかった)」では、男性が57.3%、女性は39.8%と男性が女性よりも17.5ポイント上回る結果となっています。

だれか（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由

【問23-1で「7 相談しなかった（できなかった）」とお答えの方におうかがいします】
 問23-1-1 だれ（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。
 （〇はいくつでも）

【全体】

【n=114】



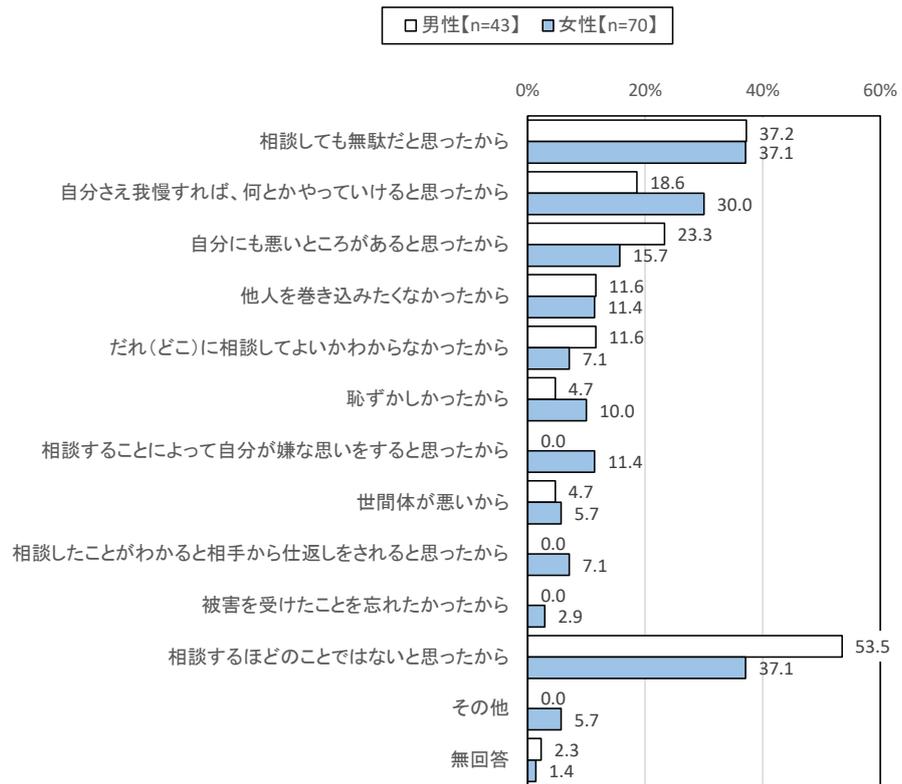
配偶者やパートナーからのDVをだれ（どこ）にも相談しなかった理由について、「相談しても無駄だと思ったから」が36.8%で最も多く、次いで、「自分さえ我慢すれば、何とかやっていたらと思ったから」が25.4%、「自分にも悪いところがあると思ったから」が19.3%、「他人を巻き込みたくなかったから」が11.4%などとなっています。

また、43.9%が「相談するほどのことではないと思ったから」と回答しています。

男女別にみると、「自分さえ我慢すれば、なんとかやっていたらと思ったから」では、男性が18.6%、女性は30.0%と女性が男性を11.4ポイント上回っています。同様に、「相談することによって自分が嫌な思いをすと思ったから」でも、男性が0.0%に対して女性は11.4%と差がみられました。

「相談するほどのことではないと思ったから」では、男性が53.5%と5割を占めたのに対し、女性は37.1%となっています。

【男女別集計】

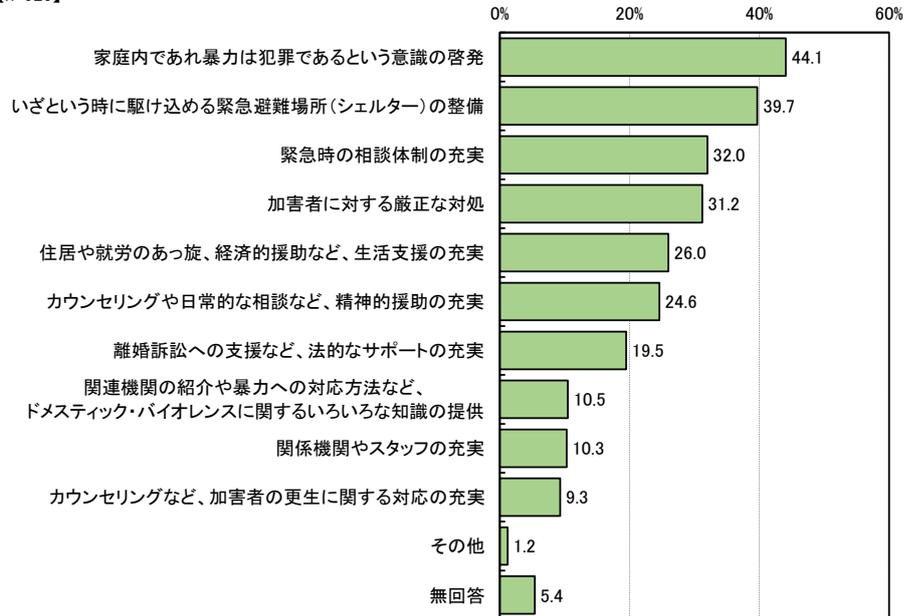


DV対策や援助の充実

問24 配偶者やパートナーからの暴力に対する対策や援助として、特に、どのようなものを充実するべきだと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

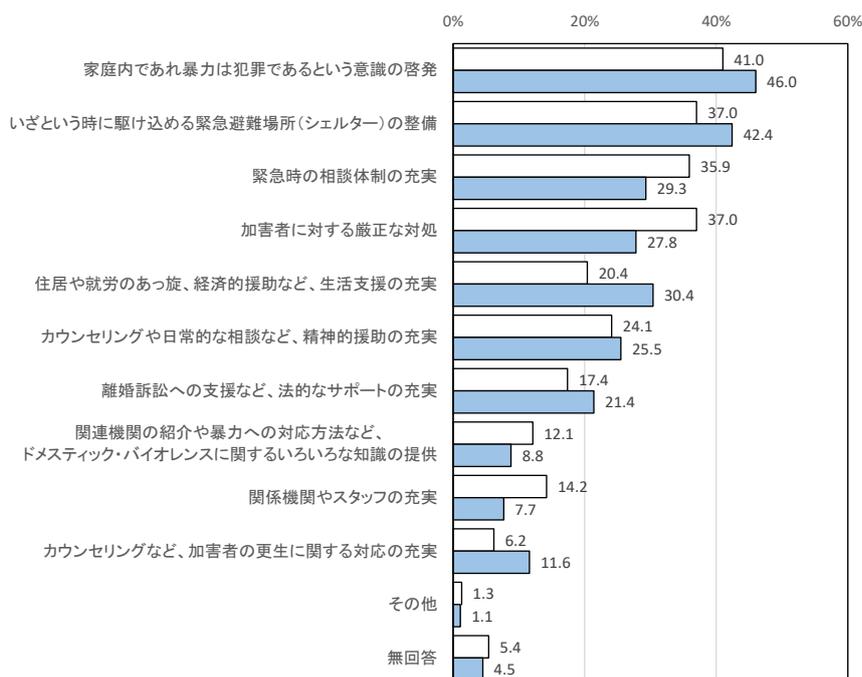
【n=926】



配偶者やパートナーからのDVに対する対策や援助の充実については、「家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発」が44.1%で最も多く、次いで、「いざという時に駆け込める緊急避難場所（シェルター）の整備」が39.7%、「緊急時の相談体制の充実」が32.0%、「加害者に対する厳正な対処」が31.2%などとなっています。

【男女別集計】

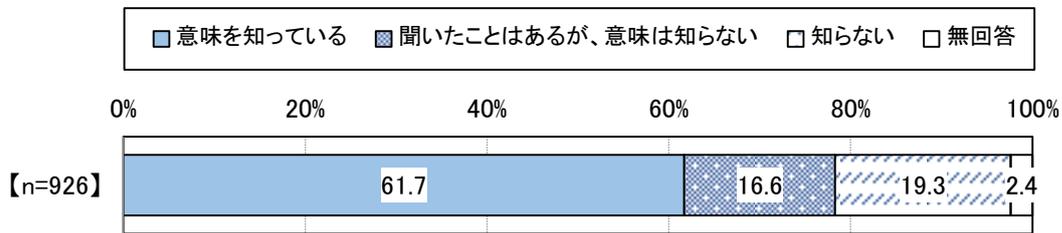
□男性【n=373】 ■女性【n=533】



「性的少数者」の認識度

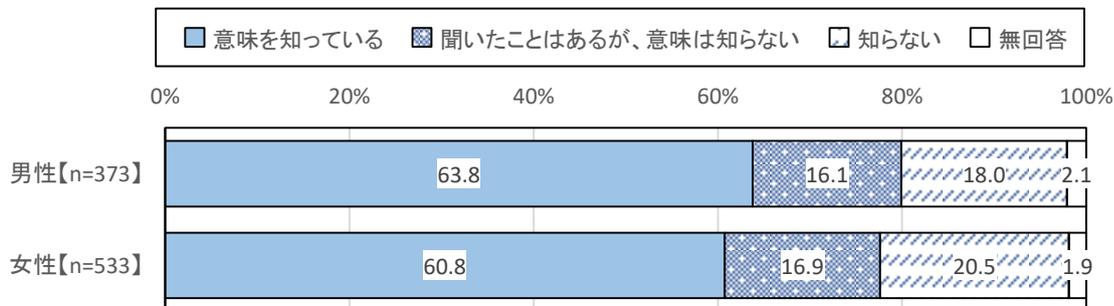
問25 「性的少数者、LGBT」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

【全体】



「性的少数者、LGBT」という言葉を知っているか尋ねたところ、61.7%が「意味を知っている」、19.3%が「知らない」と回答しています。

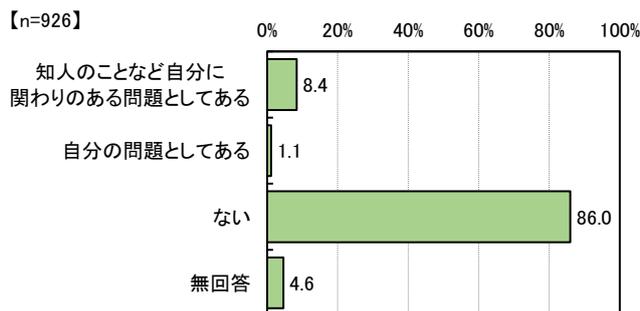
【男女別集計】



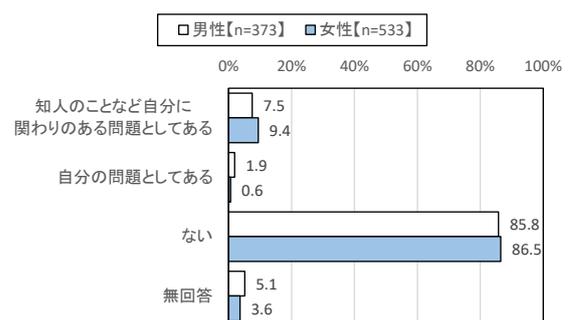
「性的少数者」に対する意識

問26 性的少数者のことを、自分や自分に関わりのある問題として、悩んだり考えたりしたことはありますか。(該当するものに〇)

【全体】



【男女別集計】



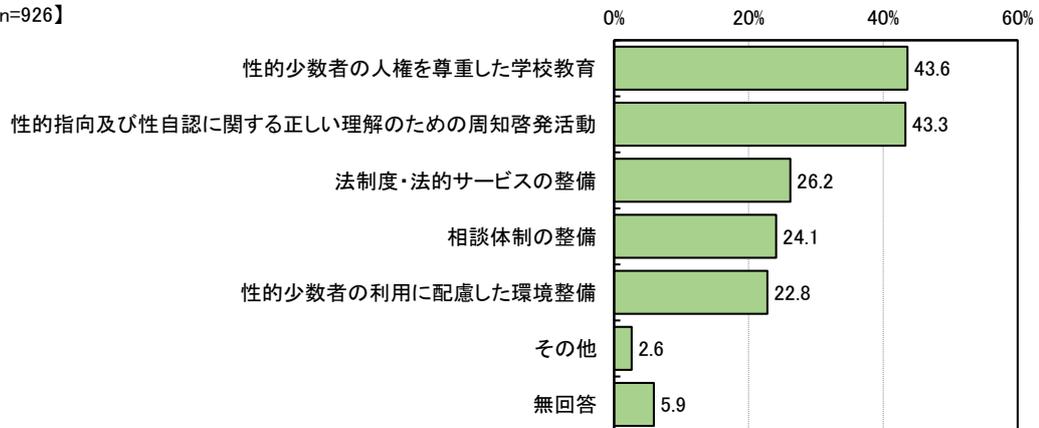
性的少数者について、自分や自分に関わりのある問題として悩んだり考えたことがあるか尋ねたところ、8.4%が「知人のことなど自分に関わりのある問題としてある」と回答しています。また、86.0%が「ない」と回答しています。

「性的少数者」の人権を守るために必要な取り組み

問27 性的少数者の人権を守るために、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

【全体】

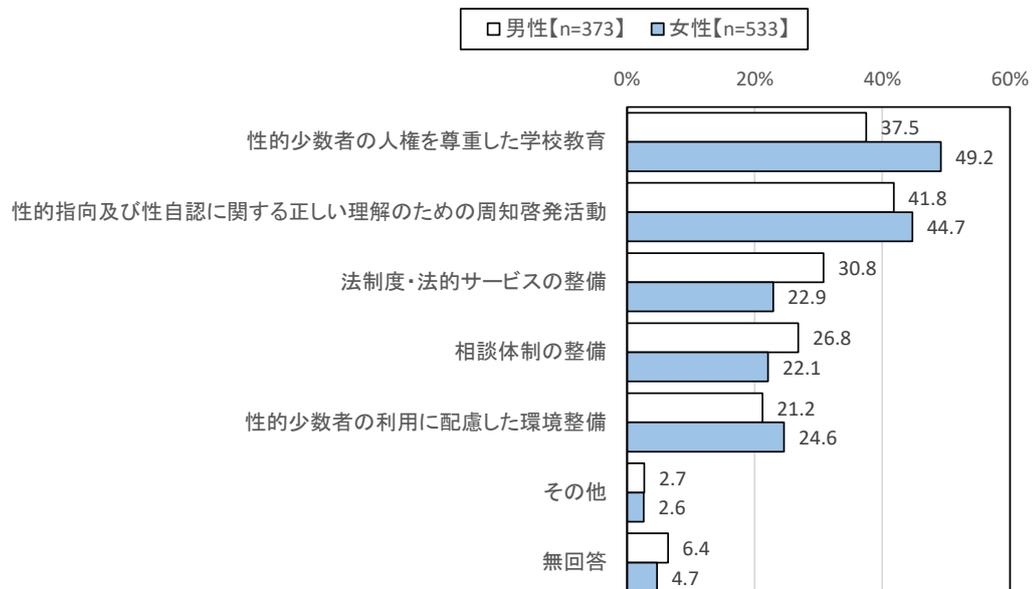
【n=926】



性的少数者の人権を守るために、どのような取り組みが必要だと思うか尋ねたところ、「性的少数者の人権を尊重した学校教育」が43.6%で最も多く、次いで、「性的指向及び性自認に関する正しい理解のための周知啓発活動」が43.3%、「法制度・法的サービスの整備」が26.2%などとなっています。

男女別にみると、上位2項目について、女性の回答割合が多い傾向がみられました。また、女性は「性的少数者の人権を尊重した学校教育」が多いのに対し、男性は「性的指向及び性自認に関する正しい理解のための周知啓発活動」が多くなっています。

【男女別集計】

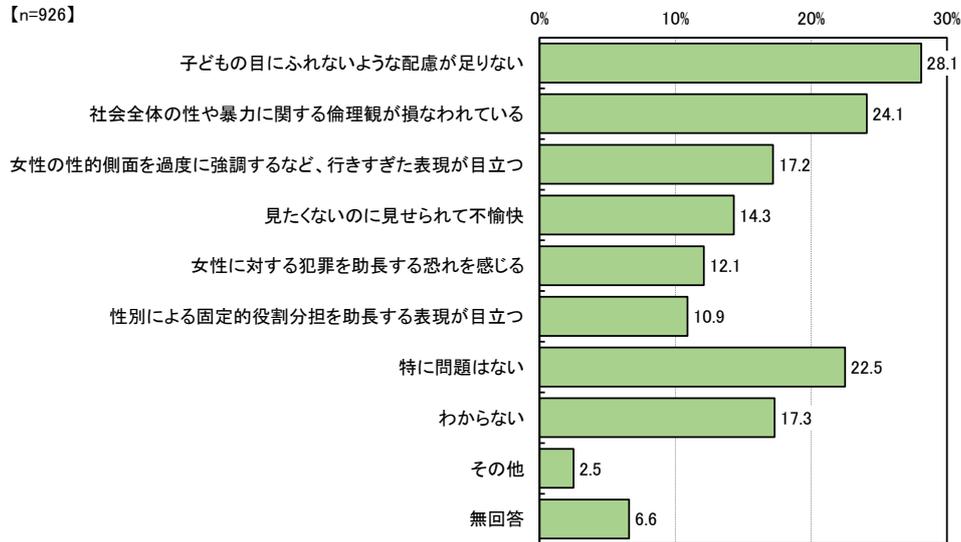


8 情報についておうかがいします

テレビやビデオ、インターネットなどの表現について

問28 テレビ、ビデオ、インターネット、映画・新聞・雑誌・広告などの表現について日頃どのように感じていますか。(〇は3つまで)

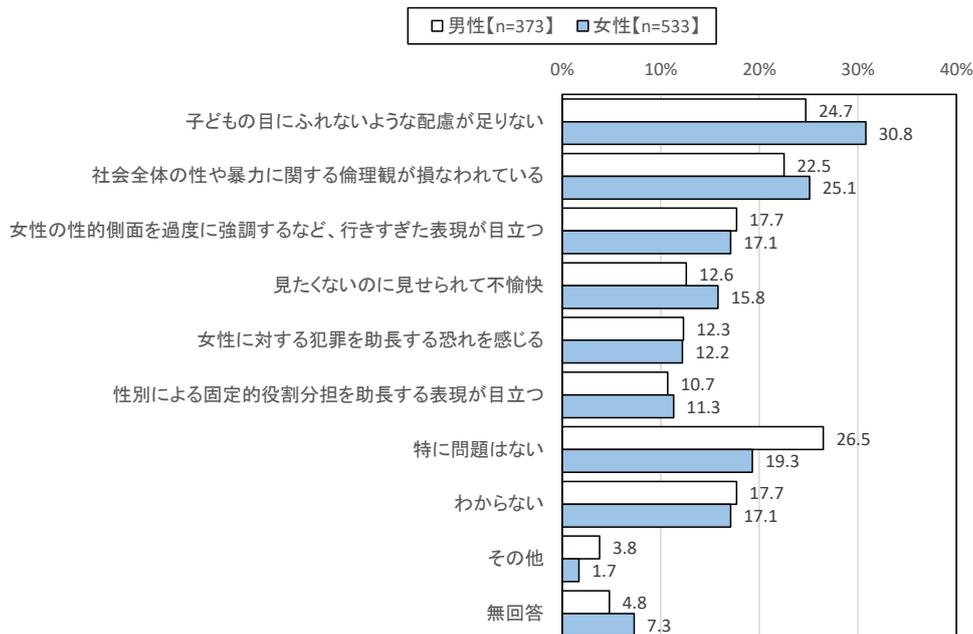
【全体】



テレビやラジオ、インターネットなどの表現について、「子どもの目にふれないような配慮が足りない」が28.1%で最も多く、次いで、「社会全体の性や暴力に関する倫理観が損なわれている」が24.1%、「女性の性的側面を過度に強調するなど、行きすぎた表現が目立つ」が17.2%などとなっています。

男女別でも、全体と同じ傾向がみられました。そのなかで「特に問題はない」において、男性は26.5%、女性は19.3%と男性が女性より7.2ポイント高くなっています。

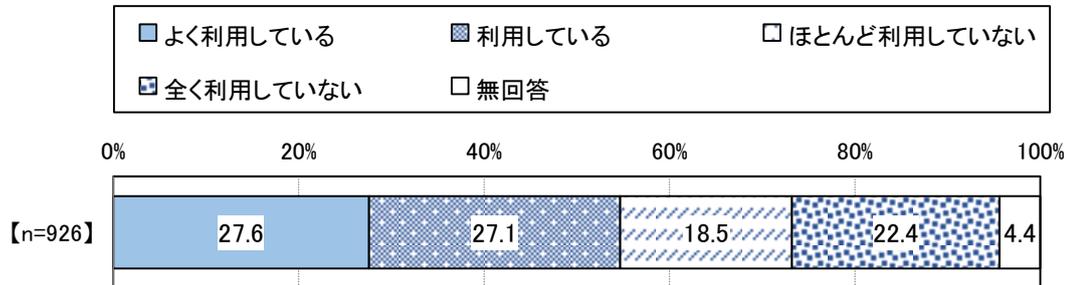
【男女別集計】



インターネットによる情報交換について

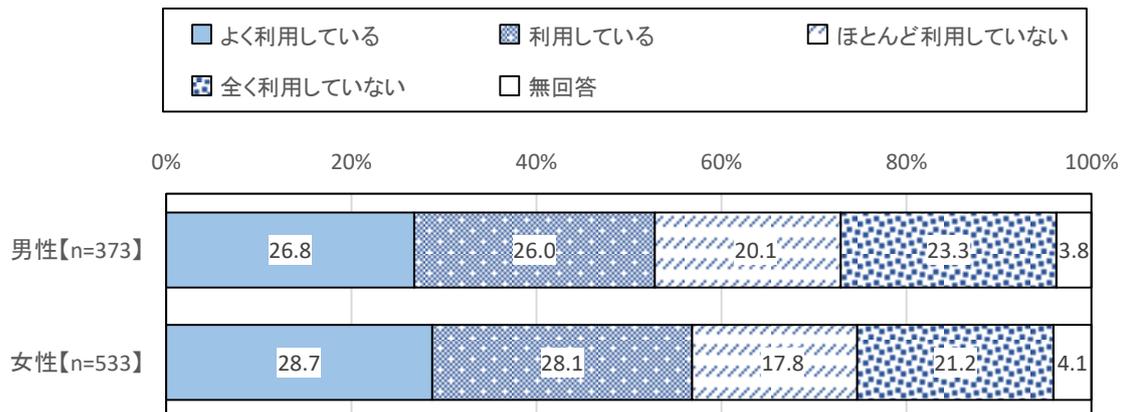
問29 パソコンや携帯電話などを利用しての、インターネットによる情報交換をしていますか。(〇は1つ)

【全体】



インターネットでの情報交換については、「利用している」（「よく利用している」と「利用している」の合計）が54.7%となっています。

【男女別集計】

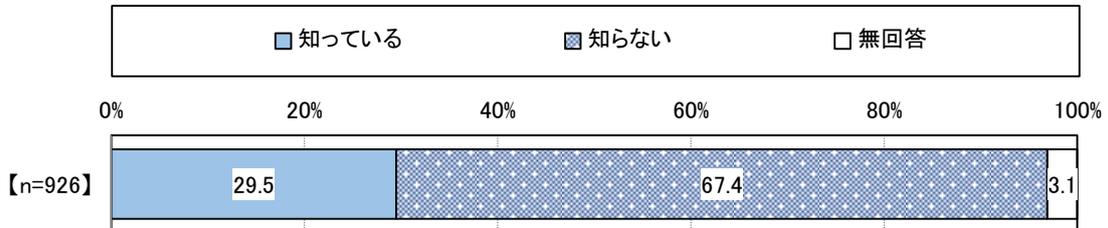


9 男女共同参画センターについておうかがいします

男女共同参画センターの認知度

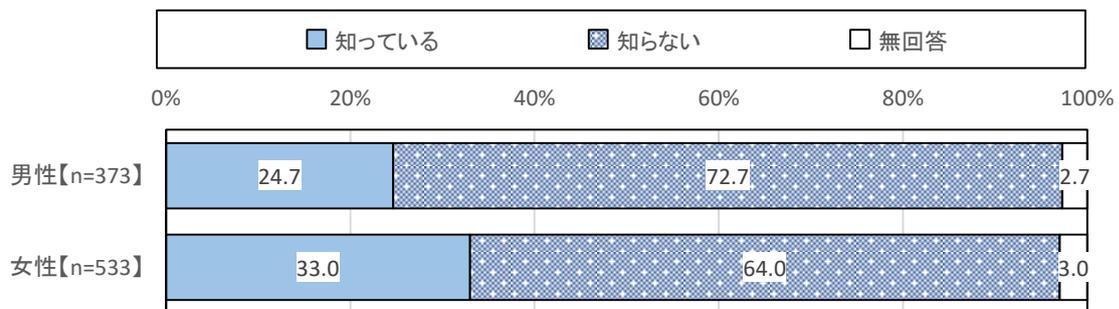
問30 阿見町が男女共同参画センターを開設していることを知っていますか。
(〇は1つ)

【全体】



「男女共同参画センター」の認知度について、29.5%が「知っている」と回答しています。

【男女別集計】

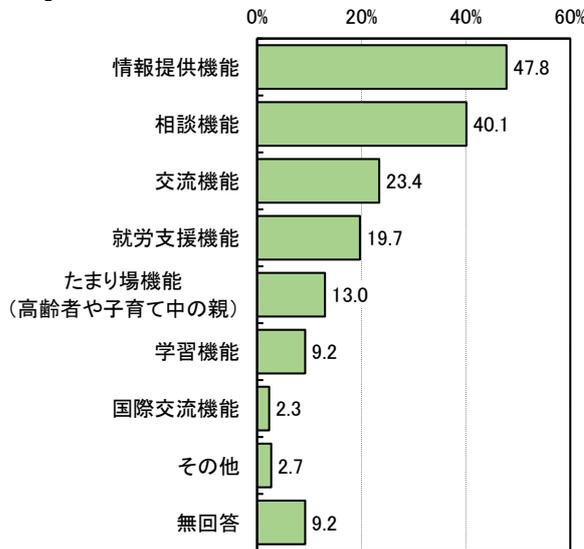


男女共同参画センターに必要な機能

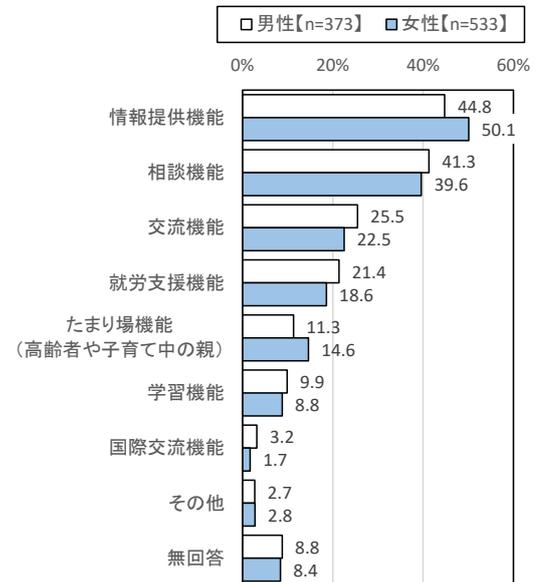
問3 1 男女共同参画センターに必要な機能は何だと思えますか。(〇は2つまで)

【全体】

【n=926】



【男女別集計】



男女共同参画センターに必要な機能について尋ねたところ、「情報提供機能」が47.8%で最も多く、次いで、「相談機能」が40.1%、「交流機能」が23.4%、「就労支援機能」が19.7%などとなっています

また、年齢別でみると、20代では「相談機能」が、30代以上では「情報提供機能」が多くなっています。

【年齢別集計】

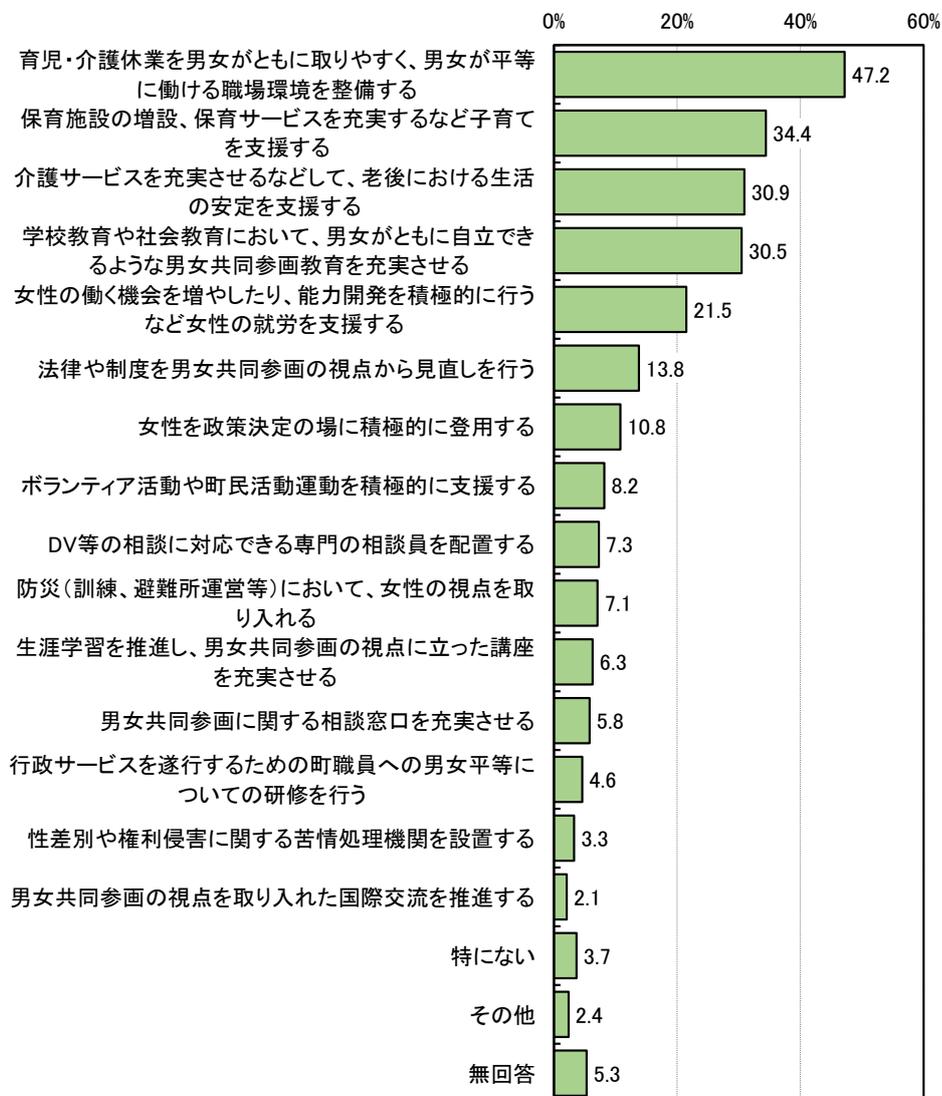
単位: %	情報提供機能	相談機能	交流機能	就労支援機能	者 や 子 育 て 中 の 親 (高 齢)	た ま り 場 機 能 (高 齢)	学 習 機 能	国 際 交 流 機 能	そ の 他	無 回 答
全体【n=926】	47.8	40.1	23.4	19.7	13.0	9.2	2.3	2.7	9.2	
20代【n=45】	33.3	66.7	15.6	35.6	11.1	2.2	4.4	0.0	2.2	
30代【n=118】	53.4	44.9	11.9	26.3	15.3	5.1	4.2	3.4	5.1	
40代【n=168】	44.0	40.5	22.6	25.6	12.5	11.3	2.4	4.2	3.0	
50代【n=155】	49.7	42.6	28.4	18.7	7.1	12.3	1.9	2.6	6.5	
60代【n=190】	51.1	38.4	26.3	18.4	14.2	9.5	2.6	1.1	9.5	
70代以上【n=234】	46.6	32.9	26.5	11.1	15.8	9.0	0.9	3.4	17.1	
無回答【n=16】	50.0	25.0	12.5	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	31.3	

10 施策の要望についておうかがいします

問32 男女共同参画社会を実現するために、行政サービスとしてどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

【全体】

【n=926】



男女共同参画社会を実現するために必要な行政サービスについて尋ねたところ、「育児・介護休業を男女がともに取りやすく、男女が平等に働ける職場環境を整備する」が47.2%と最も多く、次いで、「保育施設の増設、保育サービスを充実するなど子育てを支援する」が34.4%、「介護サービスを充実させるなどして、老後における生活の安定を支援する」が30.9%、「学校教育や社会教育において、男女がともに自立できるような男女共同参画教育を充実させる」が30.5%となっています。

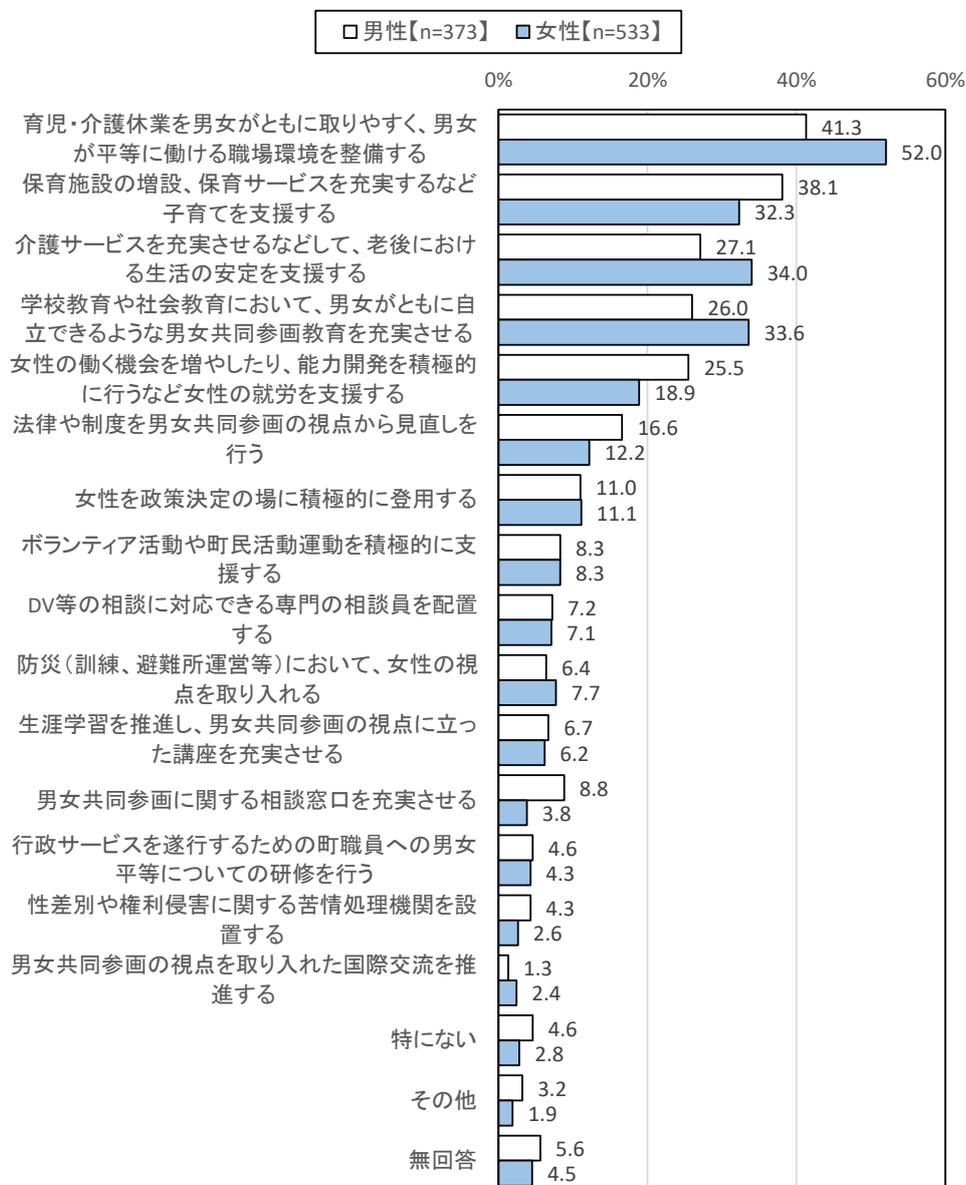
男女別にみると、男性は全体と同じ傾向がみられ、「育児・介護休業を男女がともに取りやすく、男女が平等に働ける職場環境を整備する」、「保育施設の増設、保育サービスを充実するなど子育てを支援する」、「介護サービスを充実させるなどして、老後における生活の安定を支援する」、「学校教育や社会教育において、男女がともに自立できるような男女共同参画教育を充実させる」が多くなっています。

一方、女性では、「育児・介護休業を男女がともに取りやすく、男女が平等に働ける職場環境を整備する」、「介護サービスを充実させるなどして、老後における生活の安定を支援する」、「学校教育や社会教育において、男女がともに自立できるような男女共同参画教育を充実させる」の順で多くなっています。

さらに年齢別でみると、20代と40代以降では「育児・介護休業を男女がともに取りやすく、男女が平等に働ける職場環境を整備する」が多く、なかでも20代の回答割合は73.3%と他の世代と比べて多くなっています。30代では「保育施設の増設、保育サービスを充実するなど子育てを支援する」が多くなっています。

また、50代を境に「介護サービスを充実させるなどして、老後における生活の安定を支援する」の回答割合も多くなっています。

【男女別集計】

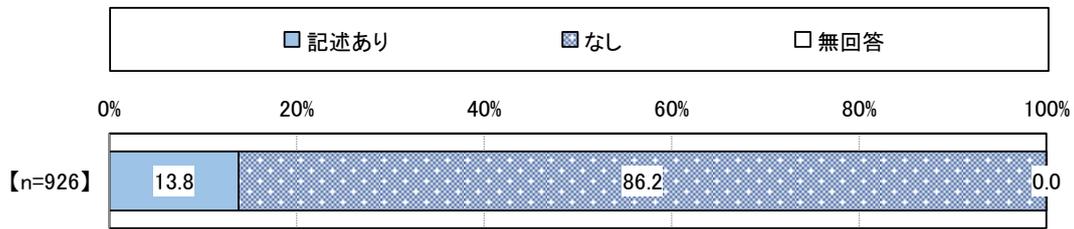


【年齢別集計】

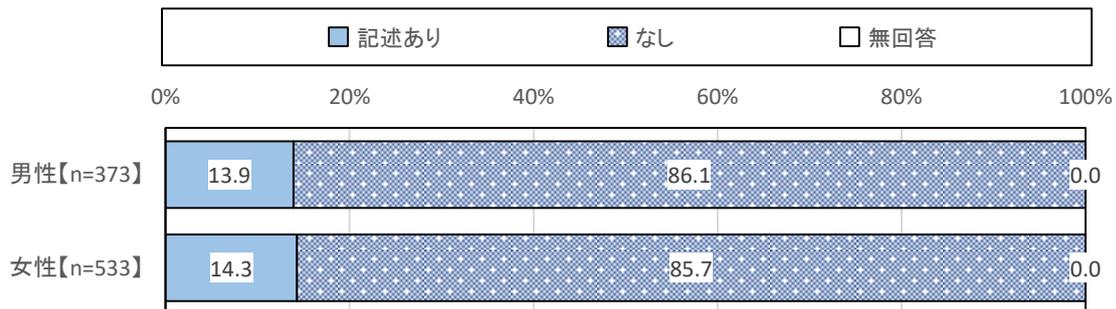
単位: %	育児・介護休業を男女がともに取りやすく、男女が平等に働ける職場環境を整備する	保育施設の増設、保育サービスを充実するなど子育てを支援する	介護サービスを充実させるなどして、老後における生活の安定を支援する	学校教育や社会教育において、男女がともに自立できるような男女共同参画教育を充実させる	女性の働く機会を増やしたり、能力開発を積極的に行うなど女性の就労を支援する	法律や制度を男女共同参画の視点から見直しを行う	女性を政策決定の場に積極的に登用する	ボランティア活動や町民活動運動を積極的に支援する	DV等の相談に対応できる専門の相談員を配置する	防災（訓練、避難所運営等）において、女性の視点を取り入れる	生涯学習を推進し、男女共同参画の視点に立った講座を充実させる	男女共同参画に関する相談窓口を充実させる	行政サービスを遂行するための町職員への男女平等についての研修を行う	性差別や権利侵害に関する苦情処理機関を設置する	男女共同参画の視点を取り入れた国際交流を推進する	特になし	その他	無回答
全体【n=926】	47.2	34.4	30.9	30.5	21.5	13.8	10.8	8.2	7.3	7.1	6.3	5.8	4.6	3.3	2.1	3.7	2.4	5.3
20代【n=45】	73.3	53.3	15.6	33.3	13.3	15.6	6.7	0.0	8.9	2.2	4.4	6.7	2.2	8.9	4.4	6.7	0.0	0.0
30代【n=118】	55.1	59.3	18.6	28.0	16.1	9.3	5.1	5.9	6.8	1.7	4.2	2.5	1.7	3.4	5.9	4.2	4.2	2.5
40代【n=168】	50.0	35.7	28.6	25.6	21.4	14.9	10.7	3.0	13.1	9.5	4.8	5.4	3.0	4.2	1.8	6.0	5.4	1.8
50代【n=155】	46.5	30.3	34.2	30.3	16.1	21.3	12.3	8.4	8.4	11.0	4.5	9.7	4.5	2.6	0.6	2.6	1.3	3.9
60代【n=190】	44.2	30.5	37.9	36.8	24.7	14.2	12.6	8.4	5.8	5.3	6.8	4.7	3.7	2.6	2.6	1.1	1.1	6.3
70代以上【n=234】	40.2	24.4	34.2	28.6	26.9	10.3	12.8	14.5	3.4	8.1	9.8	6.0	7.7	2.6	0.0	3.8	1.7	9.8

自由記述

最後に、町の男女平等推進について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入してください。



【男女別集計】



以前就職活動をしていた際、町内の企業はほとんど、と言うより全て、子供がいることを理由に面接すら拒否されました。働かないと保育園に預けられない、でも、預けていても保育園からの呼び出しや子供の発熱等での突発的な休みに対応できないと断られる始末。子供が欲しくても授からないように努める夫婦や、経済的に困っていても働けない一人親家庭が増えるのもうなずけます。家庭内DVがあっても働けないことで離婚出来ない方も多いかもしれません。企業によっては難しいのも十分承知していますが、もっと様々な人に合う多様な働き方が出来るようになるといいですね。(20代、女性)

ボランティアは男性の参加が少ない様に思います。参加しやすい環境作りが必要で家庭に閉じこもらない様にしないといけないと思います。その点、シルバーのスポーツ大会は男女の比率が半々で大変よいと感じます。高齢男性の社会参加を望みます。(70代以上、女性)

返信の封筒が小さいです。封筒を大きくするか、小さい封筒に収まるようなマークシート等に記入等改善が必要だと思います。(40代、男性)

このアンケートを読んで男女平等や男女共同参画という事をなくして能力がある人(男女の区別なく)をできる範囲で活動してもらう事が良いのでは?と考えました。男女と考えている事が問題なのでは?(60代、女性)

全くの勉強不足で済みません。この活動がより前進していく事を期待いたします。(70代以上、男性)

固定観念を考えるような働きかけをお願いしたいです。頭の固い方々以外でぜひ運営して頂きたい。(30代、女性)

女性、女性と特化している時点で平等ではない。必要な事、教育があれば、男女関係なく支援する体制をつくり、必要な人に情報を届けるべき。(30代、男性)

男性や年配の方の考えが変わらなければ平等はなかなか難しいと思う。(30代、女性)

一人暮らしの為、「問8」については回答できません。(60代、女性)

そういう事より、阿見町の人々の質が悪すぎる。道路も草木が伸びて通れない。自宅で火を燃やすので、洗濯物と部屋が臭くていられない。砂利道でやたらスピードを出して通る人がいてマナーを全く分かっていない。かなり迷惑している。(50代、女性)

<p>去年阿見町に引っ越してきたのですが保育園の空きがなく阿見町の保育園に入園することができませんでした。そのため今は町外の保育園（引っ越し前から通っていた保育園）に通っています。どうにかして保育園を増やすとか保育園の先生を増やすなどしてもう少し保育に力を入れていただきたいのです。阿見町にせっかく引っ越してきたのにとっても不便な思いをしています。保育園の確保をよろしく願いいたします。（20代、女性）</p>
<p>何をしているのか、何をしたいのかよく分からない。啓蒙活動含め生活している中で分かるように活動してほしいです。（30代、女性）</p>
<p>茨城は子供さんがまだ多い地域です。それは子育て中の娘を実母や実家が支援している現状があるからだと思います。子供を産む年齢が高くなっています。将来的には維持できない社会構造です。公的システムを充実しなくては少子化はとまりません。女性が子を産む機会も女性を正當に評価する社会でなければ減るでしょう。私は子供を3人育てましたが子どもたちに、子供を持ってもらわなくてもよいとずっと思ってきました。子を育てたことを後悔はしていません。十分に楽しみましたし自分を育成させてくれたとも思います。でもあんなに必死で、お金を何度も数えなおしながら暮らすこわい思いを自分の子どもたちにしてほしいとは思わなかったからです。男性の意識を変えてください。子育てが報われる社会にしてください。切に願います。（60代、女性）</p>
<p>女性を積極的に登用させて比率を上げる事を目標とせず、性別を問わずに活躍した結果が50%に近づけば良いかと思えます。（40代、男性）</p>
<p>私の家庭では男尊女卑の関係が残っています。男女共に意識改革が必要ですが、女性には出産という大事が控えていることからその特性を生かした男女平等を生かして行政、住民が共に努力して行く必要があります。男性優位の職場でも優秀な女性は男性の倍以上の仕事をし子育てもして管理職を目指して頑張っていますので男女平等の環境はある程度整備されていると思います。（70代以上、男性）</p>
<p>アンケートを取るのも良いですが質問内容を見直すべきだと思います。男女の格差と言っている事がすでに差別があると思います。家庭や個人によって環境が違うのですから、しかも政治的部分に関しては町民で決めている事なので男女差などもっての他、当選になにか作為があるのでしょうか？あるとするならばその方が問題だと思います。（40代、男性）</p>
<p>男性女性関係なく各家庭で最善の生活方法を考えていけば良いのではないかと思います。（60代、男性）</p>
<p>役場の窓口は女性の方が多くに思います。逆に管理職に女性の方はいらっしゃいますか？アンケートも大切ですが、まずは町の行政に係わる方々の男女平等、男女共同参画が必要なのでは？またその意識を持つことが大切だと思います。ぜひ広報等で役場行政の実践状況等をデータで知らせてほしい。（50代、女性）</p>
<p>子育てについて：阿見は保育園足りない。労働時間を短くすると男女ともに平等になる。（30代、女性）</p>
<p>平等にはならないと思う。平等ならいじめや差別はない。平等ってなんですかね？人によって感じ方が違いますからね。阿見町、日本、世界中の人が笑って楽しく生活できる社会になってほしいと思う。（30代、女性）</p>
<p>男女が同じ土俵ではなくそれぞれの土俵で活躍する社会になるといいと思う。今は男女を同じ土俵に立つためには？という流れになっていると思う。（50代、女性）</p>
<p>男であっても、女であっても、仕事に打ち込みたい人は打ち込め、家庭を大事にしたい人は家庭に時間を取れる社会になっていけると良い。自分のまわりでも、家事・育児は得意な方が行うとのことで、家事・育児全般と仕事をフルタイムでしている男性がいる。女性（妻）側は仕事のみ。でもそれで家庭がうまくまわり家族が満足できているようだから、それで良いのだと思う。このような家庭がレアケースでなく、普通であるようになっていくことがベストだと思う。女だから男だからと肩に力が入りすぎないように皆がすごせる社会になると良いと思います。（40代、女性）</p>
<p>不妊治療と仕事の両立に対する支援又は不妊治療をしているときの助成金を出してほしい。（30代、女性）</p>

男女共同参画に1度出席させて頂きました。機会がありましたら、又出席したいと思っております。(70代以上、女性)
仕事のため、十分に子どものしつけ教育に母親の手が回っていないように感じます。世帯主の収入がもう少しあれば負担が減り、もう少し、子育てに時間を割けるのではないかと思います。日本全体として収入の基準が上がることを願っています。又、正直子育てより仕事の方が楽です。そう感じている女性は少なくないと思います。仕事を理由に子供との関わりを十分にとってなかったり、地域交流を避けたりしているところがあるように思うので、それは改善すべき点かなと思います。(30代、女性)
町内に存在した大手(化学)会社をリストラされ、職場が町外となったことから、町内の動向に関心がなくなりました。アンケートには協力しましたが、この企画でどのように変化するのは全く期待しておりません。またこんな時期に当該調査を行うことは妥当でしょうか?直接&間接経費ともにかかりますよね?(50代、男性)
このアンケートの内容自体が偏りや固定概念の元に作られているような気がします。環境の個人差、地域差が必ずあるものと思いますが、年代別にみるとほぼ全国的に変わらないように感じています。法規制やシステム等の整備を望みます。(50代、女性)
単に男女平等と考えるのではなく、仕事や家庭においても持ち場を考えるべき、男性として活躍できる場(例えば災害等)、女性が活躍する場面があると思います。その部分を理解した上での男女共同参画を進めていただきたいと思います。(50代、女性)
女性の愚痴は聞きたくない。なぜなら男性と異なり女性は「自身の勝手な内容発言」が多い。私は過去数回阿見町をよくする・・・に参加したがグループに分かれてのミーティング、女性も多くの発言をしましたが、グループ毎の発表になると逃げるように代表発表しない!上手に男性を誉めて男性に発表させてしまう。「新型コロナ感染に注意され、町民のための激務に頑張ってください」汚い字ですみません。(70代以上、男性)
積極的なアピール。今はスローガンだけで実務性なし。情報伝達。参加し易い環境作り。各行政区に出向いた意見の吸い上げ。(70代以上、男性)
謳い文句は立派だが運動を実践する女性人材が欠如しているのでは?阿見町にかかる運動を実行する人材が存在するのですか?(70代以上、男性)
現在79歳、夫死別の一人暮らしにこのアンケートが届き回答できず、近所の知人居たのみ、すべて代筆です。無作為とはいえある程度考えて送付すべきアンケートだと思います。(70代以上、女性)
「参加してください」というスタンスでは動く人は少ないと思います。このアンケートのように送られてくればこうやって答える人も多いのではないのでしょうか。啓発を積極的に具体的に情報案内していくと動いてくれる人は増えると思います。(そんなに言うなら1回は・・・なんとなく考えることもあるのではないのでしょうか。)(50代、女性)
男女平等イコール男と同じ位仕事をして、女と同じ位家庭の事をするではなく、世の中の扱い方だと思っています。例えば、子供の体調不良で連絡があるのは妻の方で迎えに行くのも妻ではなく、夫の会社に連絡して夫が行く、でもよいのでは?と・・・。やっている家庭もあるかと思いますが、連絡先はお母さんの方で・・・というのもよくあるので根本的問題は、その辺り?とも思います。町内での活動なども子供がいる家庭にも同じような活動をやらされていたり(週1回の夜の集まりや活動参加への強要)家庭をおろそかにしてまでやる事なの?とってしまいます。意見するとお母さんはねーと嫌味まじり。不平等しか感じません。若い人にこういうアンケートを出すより、年配の人に出したほうがいいのでは?そっちのほうが知らない人多いと思いますが。(30代、女性)
アピール不足を感じます。どのような活動等を行っているか、私自身もそうですが、わからない、知らない人が多いと思います。興味を持っている人が少ないかも・・・。(私事です)(60代、女性)
町に対する意見でなく、男女互いに自分の長所短所を理解し、他人を認めることができる人格を形成できるよう、小さいころからの教育、環境・サポートが必要と考える。(40代、女性)
アンケートの活用が活きる努力を期待します。(70代以上、男性)

<p>アンケート内容のまとめと、それらを踏まえてどのように改善したのかを全世帯に周知してほしい。（書類を各家庭に配る等）阿見町内にある企業全てに男女平等についてのアンケートを実施し、内容をまとめて各家庭に配付して町全体での男女平等への意識を高めてほしい。必要に応じて企業に対する男女平等についての研修を設け、職場の改善や評価を実施する等、働きかけをしてほしい。（30代、女性）</p>
<p>自分（と家内も同様）が生まれ育った（～22歳）地域（九州）は男女の役割格差が強く残った地方（例：男子3歳にして厨房に入らず）で茨城・阿見町も別の分野で男女の格差が大きいと思われる。掲題の問題は何世代かにわたって改善（パラダイムシフトを含む）に取り組んでいかなければならないものと思います。（70代以上、男性）</p>
<p>もっとわかりやすい（男女共同参画）小学生でもわかる名はないのかな？例えば個性を活かすプロジェクトみたいな。（30代、女性）</p>
<p>男女雇用機会均等法が制定され20年以上たちますが、まだまだ浸透されているとは思えません。国や社会がもっと真剣に取り組んでもらえたらと思います。（60代、男性）</p>
<p>男女の性差だけでなく、様々な立場の人（多様な人）がそれぞれの能力を生かして、家庭や子育てがその足かせにならないように、やりがいをもって働ける社会が望ましい。（50代、男性）</p>
<p>一人で生活しなければならない高齢（60代）の女性への就職率の悪さ等、常に不安をかかえての（特に収入面）生活を何とかして欲しい。（60代、女性）</p>
<p>アンケートをいただいて、回答することで阿見町の活動を知ることができました。（30代、女性）</p>
<p>住みやすい街づくりに期待しています。（70代以上、女性）</p>
<p>子育てを夫婦共働きで行えるように保育所・教員等の整備（増設）を希望する。子育てはお金がかかり今のままでは子育てをしようとは思えない。貧困になれば子どもに八つ当たりや食事を与えない等弱いものへの攻撃につながりそうである。自分のことで精一杯になってしまう。私は義父母が近くにいるので何かあればお願いするが何もなければ病んだり、うつになりそうなこともある。（30代、女性）</p>
<p>共働き世帯です（フルタイム）。医療従事者であり男女なく仕事はできていると思います。しかし、企業や法人にもよると思いますが、残業が当たり前であり（無給）行政でのテコ入れを得られていないのが現状だと思います。このようなアンケートを行っても、やるだけ無駄だと感じます。意見や要望を活かせるアンケートの活用をお願いします。（40代、女性）</p>
<p>どうせこんなのやっても無駄。やる気がない、変える気がないのでは？今更こんなこと。女性に対して、マイノリティに対して否定的な意見が多いのはこのアンケートの選択肢を見てのとおりです。（40代、男性）</p>
<p>結婚生活で男性の収入が多ければ問題はほとんど解決できると思う。その他特になし。（70代以上、男性）</p>
<p>男女とも、働いた分、均等の対価を与えられるような社会になればこのようにアンケートをとらなくてよい社会になるのでは。（50代、男性）</p>
<p>アンケート結果を反映いただき、必要な施策の早期実施をお願い致します。（50代、男性）</p>
<p>PTAや育成会の負担をほとんど全て母親たちが担っているのがおかしい、と妻が言っています。（40代、男性）</p>
<p>平等とされていない例は何があるのか知りたい。（40代、男性）</p>
<p>もっと社会全体で女性に能力があれば、その他くらいにつかせて働けるようになれば男女平等。（60代、女性）</p>
<p>男女の性別に関係なく、能力のある者が十分にその能力を発揮できるような環境整備は必要と考えます。（70代以上、男性）</p>
<p>最近スマートフォンにしました。困っています。（70代以上、女性）</p>

<p>新聞や回覧板などがない家庭はこのような運動や取り組みを町で行なっていることすら知らない人が多いと思います。情報の発信方法を年配の方だけでなく若年層の人達にもっと広く伝える方法を考えていった方がこれから先は良いと思います。(30代、女性)</p>
<p>働く機会や能力のある者が活躍することなどは男女問わず、平等であるべきだとおもいますが、そもそも男女は身体的に違うため全てを同等にすることは難しいと考えています。それぞれが優劣をカバーする役割を担うことは大切に感じます。そこをはきちがえることなく、男女が助け合っていく社会であってほしいと個人的には考えます。(50代、男性)</p>
<p>男女の共同参画は女性が参画できる様に制度の充実、環境の整備が必要かと思われま。行政区の運営においても女性が中心的な役割を担っていける環境も作り上げていくことが大切であると思われま。(60代、男性)</p>
<p>性別で物事を判断決定することは自分では考えは持ってない!!(60代、男性)</p>
<p>阿見町に住んで4年経ちますが、初めて町が男女平等に力を入れている事を知りました。子供もいるので、割と役場にも行っているんで、全くそういう情報は目に入りません。力を入れているのなら、今まで以上に広告に力を入れないと意味がないと思います。(20代、男性)</p>
<p>より良い町にしていくために多彩な意見を出し合って議論し続けてほしいです。(60代、女性)</p>
<p>男女共同参画というネーミングをそろそろ変えた方が良い。かたいイメージだし何だかわからない人もいる。特に「参画」の部分を変えた方が良い。漢字6字は今時ではない。(40代、男性)</p>
<p>たびたび回覧などで目にしますが、具体的に自分が何をどのように参加すればいいのかが結局わからない。参画ということが難しい。(70代以上、女性)</p>
<p>現在、未就学の子供が2人いて、働いてはいないが、将来的には働きたいと考えている。安心して働くためには、人口増加地域である朝日中学校区の教育の充実は急務であると考え。具体的に以下のことを提案させていただきたい。小学校の学区の見直しについて：同じ分譲地内に住んでいるにも関わらず、居住開始時期により学区が本郷小とあさひ小に分かれてしまう。不測の事態の時には近所のサポートが必要になる可能性があるが、このままでは小学校入学後の不安をかかえてしまう。朝日中学校の教育体制について：現状人数が少ないせいか、部活動が盛んではないと聞いている。学校生活の中でも男女共同参画の意識を高めるべきであり、そのためには男女に関わらず部の新設等を行うことも重要だと考える。(30代、女性)</p>
<p>男女平等、共同参画は絶対に必要だがあくまで機会均等であり、能力適正が条件(その為の教育訓練は必要)逆差別があってはならない。(50代、男性)</p>
<p>アンケートの内容はとても良いと思うのですが、全く活動内容が分かりません。残念ながら存在していたことすら知りませんでした。ただ、若い世代の人たちは、確実に意識が変わってきていると感じます。問題なのは、自分たちの世代以上の人間です。40代の現在管理する立場になっている人が意識を変えなければ少なくともあと20年は共同参画やら平等といえる社会は来ないと感じます。昔に比べればまだ働きやすい世の中かもしれませんが、日本はとても遅れていると思います。(40代、女性)</p>
<p>近隣市町(土浦市、つくば市)に負けない男女共同参画施策を積極的に推進願う。(70代以上、男性)</p>
<p>災害の多い中、阿見町の受け入れ施設の状態は大丈夫でしょうか。町民体育館はかなり老朽化しているように見えるのです。他の市町村をみても比べてしまいます。見直しが必要だと。(60代、女性)</p>
<p>情報が家庭生活の中にあまり入ってこない。(30代、女性)</p>
<p>男女共同参画の事業については全く知りませんでした。この様な形で町全体が良い方向に向かう様な活動をされている事に対して一町民として今後も期待しています。どうぞ宜しくお願いいたします。(50代、男性)</p>
<p>私は高齢の主婦ですが子育て職業など今は離れていますが、考えとしてお答えしました。(70代以上、女性)</p>

<p>長いアンケート頑張って記入しました。茨城は男女平等が浸透しているとはいいいがたい現状ですので少しでも改善されることを望みます。(50代、女性)</p>
<p>今までどのような活動をされていたのかよくわからないのにアンケートされても・・・アンケートの内容についても、男よりの選択内容があり困った。(40代、男性)</p>
<p>男女共同参画をもう少し町の人に広めてほしいと思います。私もこのアンケートでだいぶ知りました。(60代、女性)</p>
<p>グランドゴルフに参加しています。男女平等であり、共同参画?で楽しくすごしています。(60代、女性)</p>
<p>男女共同参画の実現ですが、現状は残念ながら、大きく遅れていると思います。とりわけ重要なのは町議会議員です。町政治分野でも、有権者の50%以上が女性であり、町を代表する議員も男女半々となるのが自然なはずだ! そのため候補者の一定割合を女性に割り当てる仕組みを求める。一女性議員の増加につながる。「男性は外で働き、女性は家を守る」との固定概念は根強く、この傾向は地方ほど色濃く感じます。以上 (70代以上、男性)</p>
<p>女性が自立できるようになる教育が大切で、これが基本だと思います。そして、どのような道を選ぶかは、個々の積極性や考え方、生き方によるもので、それらを受け入れられる社会体制が伴ってくれたらよいと思います。また、私が、町で行っている男女共同参画の事業にあまりにも興味を持っていなかったことにこのアンケートで気づきました。恵まれた環境で生きていると気づきませんね。いま、共働きの時代、よりよい環境が整えられればと願っています。人生は仕事をもって働いている時と、子育てしている時が一番幸せだと思います。両方を体験してそう感じました。誰もが生きていて幸せであると感じてほしいです。(70代以上、女性)</p>
<p>何を企画しても広く周知されないと計画倒れ自己満足だと思う。 今、町は何を考え、何をしようとそているのか町民全部に知らせる方法を考えて欲しい。コロナの町長放送も自粛期間毎日するべきだと思う。何か尻切れとんぼの感じがする。活動するには、労力が必要でも何をしているのか知らない人が多すぎる。(60代、女性)</p>
<p>男女共同参画のイベントは参加している。住みやすい町なのでいろいろなイベントに興味があるが全体的には町民の意識は薄いように感じられる。(70代以上、女性)</p>
<p>80近くになるとこれからの健康と近所の人との交流をこのまま続けられたらいいなと男女を問わず思います。(70代以上、女性)</p>
<p>阿見町役場で働いていらっしゃる女性は、どなたもとても親切で好感が持てる。ここ数年、いつ行っても同じ印象を受けるので女性にとっては職場全体の雰囲気の良いのだろうと感じる。それに比べ男性の対応は残念なことがある。仕事内容が合っていないか、不満を持っているように感じてしまう。適材適所で男女がそれぞれの能力を発揮できる活気に溢れた職場が増えることを願う。(40代、女性)</p>
<p>男女関わらず、口だけの人を議員(これを選んでる私達に問題があるが)や「肩書き」のある役職に就けるのは本当に迷惑なので金輪際やめてほしい。立候補する人は本当に実力のある人か口だけで能力がないのに肩書きが大好きなだけなことに自分自身恥ずかしさが分からない低能な人のどちらかだと思っているので、男女関係なく実力のある人を色々なものに登用してほしい。そんな世の中になってほしい。(40代、女性)</p>
<p>昔ほどこの地域でも存在したオバサン、オジサン、世話好きで人間らしいやさしさ、創造性の育む役割分担の出来る専門家の育成は出来ないものか?産官学の意見は?JICAの仕事で中南米、東南アジアの開発途上国の生活環境をみると男社会で日本は桁違い平和です。 茨城県内においても阿見は立地環境が良好で田舎街であるが、高萩や水戸と比較して町役場の職員、専門家として奮闘されている。職員採用時は能力ある女性も採用(一種・二種)を希望する。(70代以上、男性)</p>
<p>男女共同参画は町では何才までと決めているのでしょうか?(70代以上、女性)</p>
<p>50年間美浦村で生活しており、阿見町にお世話になり生活も浅いため、又、生活保護の身なので、回答出来ない部分等が有り申し訳ありません。お世話になっています。(70代以上、男性)</p>

民意をくみ取り、行政の施策を発展させてください。(60代、男性)
男女共同参画の内容について初めて知りました。自家族も含め認知度がまだ低いと感じる為、多くの人に認知が高まる様、充実したPRや宣伝(広告等)望みます。(40代、男性)
このアンケートの意味は薄い。多分、予算はついたが、何に使ってよいか方針や企画を立てられなかった為に『アンケートでもしてみようか。』と言う安易な逃げではないか? 担当職員、管理者ももう少し勉強して、実のある仕事をして欲しい。又はより必要性の高い事業に予算を振り向けるべき。(50代、男性)
夫婦共働きでなんとか生活をしてはいますが、希望としては、子供が欲しいです。ですが、女性が働かなくなると生活がきびしいです。正社員で働いており、産休・産後の制度もありますが、会社では産休を取りにくい雰囲気なのと妊娠しても会社のフォローが期待できない雰囲気です。産休・育休の支援ではとても生活できる金額では無いし、金銭的に大丈夫であっても、正社員で働きながら、子供を育てるのが、現実的に負担が多いので、仕事をやめなければならない。仕事をやめると産休・育休をもらえなくなるので、子供はあきらめるしかない現状です。税金も高いし、給料も低い状態で満足できる貯金もむずかしいので仕事(生活)を取るか子供を取るかとなったら、仕事を取るしかないです。少子化少子化と言われてはいますが、子供を産ませるような社会ではないと思っています。(30代、女性)
町へという訳ではありませんが、男性(父親)の育児休暇は、まとまるととるというより、決められた日数・時間の中でフレキシブルにとれるようになるとより良いと思っています。(子どもが病気の時に休むなど)(60代、女性)
アンケートの質問に答えられない点が多くてすみません。仕事もしてはず、前からインターネットなどができず…申し訳ないです。(70代以上、女性)
インターネット回答を用意して欲しいです。(40代、男性)
アンケート知らない。年が74だし。(70代以上、男性)
男女平等、男女共同参画は必要なことだと思うが、現在日本の国の象徴である天皇が「男子でなければならない」とかこだわっている国のトップの人達がいるようではなかなか進めていくのは難しいと思う。小さな事から活動して少しずつ変えたいくしかないのでは? たとえば私は現在の所に越して来て、地区の集まりでどうせ「女らは…」とかいう扱いをされた時、違和感を感じてなりません。まずは女性に対する見方から、変えて欲しいと思いました。(60代、女性)
いじめ、ひきこもり、うつ病などのケア、公的な子育て支援や公的な介護サービス不十分と思われまます。障害を負った子供の子育てや親の介護など女性の負担が多い。ダブルケア世帯に配慮した保育施設や介護施設に入所できるなど(優先的に)介護も育児も合わせて相談できる行政窓口の設置、同じ悩みをもつ者の集まる場所、情報交換のできる場所も設置など。高齢者の孤独死防止策として電話連絡や安否確認など定期的の実施するなど、歯磨きや入浴、食事、洗濯など日常生活ができない場合は介護施設に入所できる様に会議施設の整備。一人暮らし老人の認知症により行方不明者が出ない様に。(60代、男性)
私は保育士をしておりますが、仕事内容と給与が見合っていないと感じております。同業の友人の中ではそれを理由に辞める人もいます。保育施設を増設することも大事ですが、職員が集まらないと成立しません。働きたいという環境を整えることも考えてほしいです。(20代、女性)
女性の意見は男と違う見方もあるかと思うので、重要と思い、女性の意見に耳を傾ける必要がある。町民の声を聞く。(70代以上、男性)
図書館を、よく利用させていただいております。とても居心地の良い空間です。(ただし、現在はコロナ禍のため利用できず、とても残念です。)今後も図書館をより充実させ、これまでの心地良さを保って下さい。よろしくお願いします。(70代以上、男性)
このようなアンケートは良いと思いますがもっと簡単にインターネットなどでアンケートも良いと思います。阿見町に住んでまだ3年目ですが、とても住みやすい所だと思いますので、これから少しずつでも男女平等に近づけるといいと思います。(50代、女性)
阿見町が男女共に協力して暮らしやすい街に進化していくことを願っています。(70代以上、女性)

<p>種々と勉強になりました。皆様、頑張ってください。（70代以上、女性）</p>
<p>男女共同参画に関する自分の知識不足（興味不足）を回答を進めるに従い痛感しました。今回このような機会を頂き、自分の考えを改める必要を感じました。ありがとうございます。（40代、男性）</p>
<p>大変なコロナ禍の中、お疲れ様です。アンケートで日常の生活への気づきもありました。（勉強不足で申し訳ありません。）町第3次男女共同参画プランの基本理念は素晴らしいと思いますので、同様に……。みんなが思いやりの心を忘れず、穏やかな生活が送れることを願っています。（60代、女性）</p>
<p>昨今世間はだいぶ男女平等という風潮になってきたと感じられることがある。しかし行政、地域の役職、分担等はまだまだ男性優位というか男性優遇という場面が多々あるような気がします。まだまだ、欧米のように男女平等という世の中には程遠いのかと思います。古い日本の大和魂の名残りかなと……。 （70代以上、女性）</p>
<p>わたくしを含めいろいろ質問されているようですが今まで今日考えている、考えてこれをまとめる方が計画を作るなら今と同じで後退してゆく。一般的に気づかいして計画を作ることなく、アイデアも砂嵐の中から出てきたようなとんでもないアイデア意見、それは両方となる。統計数から解析をした3つか、4つの真なるものを中心にとらえることだ。コロナ社会で今までのことは壊れているのだ。このところ真なるものは何なのかを担当者さんが決めることだ。誰かがみんなが決める、これの社会でそのようなことがいいこととされてきた。世を見たらそれではなくなっている。気づかないのか。これをまとめる役人さんその方の考え方ひとつである。（70代以上、男性）</p>
<p>能力のある女性はたくさんいらっしゃいます。夫婦が働きながら子育てができる様制度を整えてください。チャンスがあれば協力したいと思います。（60代、女性）</p>
<p>男女共同参画の職員の皆様ご苦労様です。阿見町第4次男女共同参画プラン頑張ってください。（60代、女性）</p>

資料編 アンケート調査票

1 調査票

阿見町 男女共同参画に関するアンケート調査 ～ご協力のお願～

町民の皆様には、日頃から町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、阿見町では令和3年度に策定を予定している「阿見町第4次男女共同参画プラン」の基礎資料とするため、町内にお住まいの20歳以上の2,000人の方を無作為に選ばせていただき、男女共同参画に関する意識やご意見等についてアンケート調査を実施することといたしました。

なお、記入は無記名でお願いし、個人情報や回答内容が公表されたり、他の目的に使用されたりすることは一切ございません。ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力よろしくご願ひ申し上げます。

令和2年12月

阿見町

ご記入にあたってのお願い

- 1 調査の回答は必ず**あて名のご本人様**にお願いします。
- 2 ご記入は、ボールペンや濃い鉛筆でお願いします。
- 3 質問ごとにあてはまる回答の番号を「○」で囲むか、お選び願ひます。
- 4 回答の○の数は、(○は1つ)(○は3つまで)(○はいくつでも)などと指示してありますので、それにあわせてお答え願ひます。
- 5 「その他」を選んだ場合は、()内にその内容を具体的にご記入願ひます。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて

令和3年1月31日(日)までにご投函願ひます。

【お問合せ先】

〒300-0392 阿見町中央 1-1-1

阿見町役場 町民生活部 町民活動課 男女共同参画室

電話 029-888-1111 内線 271

阿見町の男女共同参画社会への取組

○「町第3次男女共同参画プラン」

- ・計画期間 平成29年度から令和3年度まで
- ・基本理念 男女の性別をはじめ、国籍、年齢、障がいなどに
関わりなく・・・
誰もが個性と能力を発揮し、お互いに認め合う
「幸せのまち あみ」・・・を目指します。

○主なあゆみ

- | | |
|-------|------------------|
| 平成17年 | 町第1次男女共同参画プランを策定 |
| 平成22年 | 町男女共同参画社会基本条例を施行 |
| 平成24年 | 町第2次男女共同参画プラン策定 |
| 平成25年 | 町男女共同参画推進室を設置 |
| // | 男女共同参画都市宣言 |
| 平成27年 | 町男女共同参画センターを開設 |
| 平成29年 | 町第3次男女共同参画プラン策定 |

1. 男女共同参画社会の形成についておうかがいします

問1 あなたは、次のような場で男女がどの程度平等になっていると思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれに○は1つ)

	優遇されている 男性の方が	優遇されている は男性の方が どちらかといえ	男女平等である	優遇されている は女性の方が どちらかといえ	優遇されている 女性の方が	わからない
(ア) 家庭生活や子育てで	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場で	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(エ) 自治会等の地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
(オ) 政治の場で	1	2	3	4	5	6
(カ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会通念・慣習・しきたり等で	1	2	3	4	5	6
(ク) 社会全体、現在の日本で	1	2	3	4	5	6

問2 次にあげる、法令等のことを知っていますか。(それぞれに○は1つ)

	知っている	聞いたこと はあるが 内容は知ら ない	知らない
(ア) 阿見町男女共同参画社会基本条例	1	2	3
(イ) 阿見町第3次男女共同参画プラン	1	2	3
(ウ) 茨城県男女共同参画推進条例	1	2	3
(エ) 男女共同参画社会基本法	1	2	3
(オ) 男女雇用機会均等法	1	2	3
(カ) 育児・介護休業法	1	2	3
(キ) ストーカー規制法	1	2	3
(ク) 児童虐待防止法	1	2	3
(ケ) DV防止法	1	2	3
(コ) 女性活躍推進法	1	2	3

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |

問4 現在の社会において、行政の政策や会社などの方針を決定する場面に、女性の参画が少ない理由はなんだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1 男性優位の組織運営の定着 | |
| 2 女性を積極的に参画させようという考え方の人が少ない | |
| 3 女性側の積極性不足 | 4 家庭の支援・協力不足 |
| 5 女性の能力開発の機会が不十分 | 6 固定的な性別役割分担意識 |
| 7 女性の活動を支援するネットワークの不足 | |
| 8 わからない | |
| 9 その他 () | |

問5 最近、議員・審議委員会など政策や方針を決定する過程への女性の参加が、少しずつ進んでいます。この状況をどのように思いますか。(〇は1つ)

※参考：阿見町 町議会議員の女性議員 18人中 2人(11.1%)
審議会等の女性委員 716人中238人(33.2%)
(R2.4.1 現在)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 今のままでよい | 2 もう少し増えた方がよい |
| 3 男女半々くらいまで増えた方がよい | |
| 4 男性を上回るほど、女性が増えた方がよい | |
| 5 その他 () | |

問6 「男女の不平等を是正するため、女性があまり進出していない分野で、一時的に、女性の優先枠を設けるなどして男女の実質的な機会の均等を確保すべきである」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

2. 家庭生活についておうかがいします

問7 家庭での男女の役割分担について、「① 現状」はどれだと思えますか、また「② 理想」はどうあるべきと思えますか。(それぞれ1つ選ぶ)

① 現状 →

② 理想 →

- (ア) 男性は仕事、女性は家事・育児をする
- (イ) 男性は仕事、女性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする
- (ウ) 男女とも仕事をし、家事・育児は主に女性が行う
- (エ) 男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する
- (オ) 男女とも仕事をし、家事・育児は主に男性が行う
- (カ) 女性は仕事、男性は家事・育児をする
- (キ) 女性は仕事、男性は家事・育児にさしつかえない範囲で仕事をする
- (ク) 分担できる男性(女性)がいない
- (ケ) その他()

問8 あなたの家庭では、次にあげることをご自分が行っていますか。(それぞれに○は1つ)

	主に男性	男性 どちらかといえば	男性と女性同程度	女性 どちらかといえば	主に女性	サービスの利用	わからない	必要ない
(ア) 食事の献立を考えて作る	1	2	3	4	5	6	7	
(イ) 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7	
(ウ) 食材や日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	
(エ) ごみを分類し、まとめる	1	2	3	4	5	6	7	
(オ) 部屋の掃除	1	2	3	4	5	6	7	
(カ) 洗濯	1	2	3	4	5	6	7	
(キ) 家計管理・運営	1	2	3	4	5	6	7	
(ク) 育児・子どもの教育	1	2	3	4	5	6	7	
(ケ) 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7	

3. 子育てについておうかがいします

問1 1 毎年、出生数が減少していますが、その理由は何だと思えますか。(〇は3つまで)

- 1 子どもを少なく産んで、十分に手を掛けて育てたいから
- 2 子育てや教育にかかる費用などの経済的負担が大きいから
- 3 仕事と子育ての両立が困難だから
- 4 子育てを支援する制度や環境が十分ではないから
- 5 子どもよりも夫婦を中心に考える人が増えたから
- 6 結婚しない人が増えたから
- 7 子育てに自信のない人が増えたから
- 8 子育てに関する女性の負担が大きいから
- 9 その他 ()

問1 2 子育てに関する、以下の考え方についてどう思えますか。(それぞれに〇は1つ)

	そう思う	ばそう思う どちらかといえ	ばそう思わない どちらかといえ	そう思わない	わからない
(ア) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるのがよい	1	2	3	4	5
(イ) 女の子にも、経済的自立ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
(ウ) 男の子にも、家事が出来るように育てるのがよい	1	2	3	4	5
(エ) 男の子も女の子も同じ程度の学歴を持つ方がよい	1	2	3	4	5
(オ) 父親は、今まで以上に子育てに関わる方がよい	1	2	3	4	5
(カ) 子育てには、地域社会の支援も必要である	1	2	3	4	5

問1 3 現在、小・中学校では、以下のような取り組みを行っていることを知っていますか。(該当するものに〇)

- 1 先生から生徒への名前の呼び方を「さん付け」に統一した
- 2 男女混合名簿の採用で男女を分ける習慣を見直した
- 3 技術科・家庭科を男女が共に学ぶなど、授業で男女の区別がなくなった
- 4 道徳や特別活動等の授業で男女共同参画に関する学習指導を取り入れている
- 5 先生に対する男女共同参画に関する研修を行っている
- 6 管理職(校長や教頭)への女性の登用を積極的に行っている
- 7 級長・部長・生徒会役員など、生徒の中の役員を男女が平等に担うようになった

4. 高齢化についておうかがいします

問14 老後について、どのようなことに不安を感じていますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 老後の生きがいを見つけられるか | 2 老後を健康で過ごせるか |
| 3 ひとりぼっちになっても寂しさに耐えられるか | 4 漠然とした不安がある |
| 5 経済的にやっていけるか | 6 社会福祉制度が十分であるか |
| 7 同居した場合、うまくいくか | 8 病気になったら、面倒を看ってくれる人がいるか |
| 9 不安は感じていない | |
| 10 その他 () | |

問15 あなたが、寝たきりの高齢者やからだの不自由な人を「①介護する場合」どうしますか。また、自分が「②介護される場合」の希望もお答え願います。(それぞれ1つ選ぶ)

① 介護する場合 →

② 介護される場合 →

- (ア) 家族が協力して家庭で介護
 (イ) 有償で手伝いの人を頼んで家庭で介護
 (ウ) 近所の人たちやボランティアの人たちに手伝ってもらい家庭で介護
 (エ) 公的な制度を利用しながら家庭で介護
 (オ) 病院や老人ホームなどの施設を利用
 (カ) わからない
 (キ) その他 ()

5. 労働・職場についておうかがいします

問16 あなたの職業は次のどれですか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1 自営業・経営者 | 2 自営業・家族従業者 | 3 自由業・個人事業 |
| 4 家庭内労働・内職 | 5 常勤の勤め人(管理職) | 6 常勤の勤め人(一般) |
| 7 パート・臨時の勤め人 | 8 派遣社員(登録派遣) | 9 家事専業 |
| 10 無職 | 11 学生 | 12 その他 () |

【問16で1～8のいずれかをお答えの方におうかがいします】

問16-1 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で女性に対して次のようなことがありますか。(該当するものに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 賃金に男女差がある | 2 昇進、昇格に男女差がある |
| 3 能力を正當に評価しない | 4 配置場所が限られている |
| 5 補助的な仕事しかやらせてもらえない | 6 女性を幹部職員に登用しない |
| 7 結婚や出産で退職しなければならないような雰囲気がある | |
| 8 中高年以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある | |
| 9 教育・研修を受ける機会が少ない | 10 特にない |
| 11 その他 () | |

問16-2 仕事をしていて困っていることは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 時間に追われて余裕がない | 2 家族のふれあいや子供のしつけがおろそかになる |
| 3 家庭内の仕事がおろそかになる | 4 家族が病気の時世話ができない |
| 5 職場の人間関係 | 6 義理ごとや近所づきあいができない |
| 7 休暇が取りにくい | 8 社会活動や学校行事に参加できない |
| 9 健康管理が難しい | 10 特にない |
| 11 その他 () | |

再び、全員におうかがいします

問17 女性が、職場で役職につくことをどう思いますか。(○は1つ)

- 1 職場での立場で女性が男性の上に立つのはよくない
- 2 女性は家庭を守るの方が大切だから、役職につかない方がよい
- 3 女性の多い職場や女性の特性を活かせる職場で役職につくのはよい
- 4 性別にかかわらず、能力のあるものは当然役職につくべきだ
- 5 その他 ()

6. ワーク・ライフ・バランスについておうかがいします

問18 生活の中で、何を優先したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 「仕事」を優先したい | 2 「家庭生活」を優先したい |
| 3 「自分の活動」を優先したい | 4 「仕事」と「家庭生活」を優先したい |
| 5 「仕事」と「自分の活動」を優先したい | 6 「家庭生活」と「自分の活動」を優先したい |
| 7 わからない | 8 その他 () |

問19 あなたの生活の中で、現状に最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

- 1 「仕事」が中心になっている
- 2 「家庭生活」が中心になっている
- 3 「自分の活動」が中心になっている
- 4 「仕事」と「家庭生活」を主に行っている
- 5 「仕事」と「自分の活動」を主に行っている
- 6 「家庭生活」と「自分の活動」を主に行っている
- 7 わからない
- 8 その他 ()

問20 女性の生き方は多様化していますが、女性にとって望ましい生き方は次のうちどれだと思いますか。(〇は1つ)

- 1 結婚・出産をせずに仕事を続ける
- 2 結婚しても子どもをつくらず、仕事を続ける
- 3 結婚や出産をしても結婚前や出産前と同じように仕事を続ける
- 4 結婚や出産後は、家庭にさしさわりのない範囲で仕事を続ける
- 5 結婚を機に仕事をやめる
- 6 妊娠や出産を機に仕事をやめる
- 7 結婚や出産を機に仕事をやめ、子育て後再び仕事に就く
- 8 仕事を持たない
- 9 その他 ()

問21 一時期家庭に入った女性が、再就職を希望する場合どのような両立支援や対策が望まれると思いますか。(〇は3つまで)

- 1 出産、育児などで退職しても同一企業に再雇用されるようにする
- 2 求人情報を入手しやすくする
- 3 再就職のためのセミナー、講習を実施する
- 4 技術や技能の習得の機会を多くする
- 5 求人の年齢制限の緩和
- 6 パートの労働条件の向上
- 7 働く場を多くすること
- 8 就職に関する相談体制の充実
- 9 保育所などの保育施設の充実
- 10 高齢者の介護施設、医療施設の充実
- 11 その他 ()

7. 男女の人権についておうかがいします

問22 あなたは、ここ1～2年の間に、職場・学校・地域で次のような不愉快な経験をしたことがありますか。(該当するものに○)

- 1 いやがっているのに卑猥な話を聞かされた
- 2 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされた
- 3 異性に身体をさわられた
- 4 宴会でお酒やデュエットを強要された
- 5 交際を強要された
- 6 性的な行為を強要された
- 7 性的なうわさをたてられた
- 8 結婚や異性との交際についてしつこく聞かれた
- 9 容姿について傷つくようなことを言われた
- 10 帰宅途中などに後をつけられたり、つきまとわれたりした
- 11 プライバシーに関することや性的な内容のメールや電話を受けた
- 12 ヌード写真や卑猥な雑誌を目につくところに置かれたり、貼られたりした
- 13 特にない
- 14 その他 ()

問23 これまでに、配偶者(事実婚や別居、離別を含む)や恋人などのパートナーから次にあげるようなことをされたことがありますか。(それぞれに○は1つ)

	何度もあった	1、2度あった	まったくない
(ア) 殴る、蹴るなどの身体的暴力	1	2	3
(イ) 人格を否定するような暴言、または恐怖を感じるような脅迫などの精神的暴力	1	2	3
(ウ) 生活費を渡さないなどの経済的暴力	1	2	3
(エ) 嫌がっているのに性的行為を強要	1	2	3
(オ) 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	1	2	3
(カ) 避妊に協力しない	1	2	3
(キ) 何を言っても無視され続ける	1	2	3
(ク) 交友関係、電話、メール等を細かく監視し、行動を束縛する	1	2	3

【問23で1か2に1つでも〇があった方におうかがいします】

問23-1 これまでに、だれかに打ち明けたり相談したりしましたか。(該当するものに〇)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 警察に通報・相談した | 2 警察以外の公的機関に相談した |
| 3 民間の機関に相談した | 4 医師に相談した |
| 5 家族に相談した | 6 友人・知人に相談した |
| 7 相談しなかった(できなかった) | 8 その他() |

【問23-1で「7 相談しなかった(できなかった)」とお答えの方におうかがいします】

問23-1-1 だれ(どこ)にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| 1 だれ(どこ)に相談してよいかわからなかったから | |
| 2 恥ずかしかったから | 3 相談しても無駄だと思ったから |
| 4 相談したことがわかると相手から仕返しをされると思ったから | |
| 5 相談することによって自分が嫌な思いをすと思ったから | |
| 6 自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思ったから | |
| 7 世間体が悪いから | 8 他人を巻き込みたくなかったから |
| 9 被害を受けたことを忘れたかったから | |
| 10 自分にも悪いところがあると思ったから | |
| 11 相談するほどのことではないと思ったから | |
| 12 その他() | |

再び、全員におうかがいします

問24 配偶者やパートナーからの暴力に対する対策や援助として、特に、どのようなものを充実すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|--|
| 1 家庭内であれ暴力は犯罪であるという意識の啓発 | |
| 2 いざという時に駆け込める緊急避難場所(シェルター)の整備 | |
| 3 緊急時の相談体制の充実 | |
| 4 住居や就労のあっ旋、経済的援助など、生活支援の充実 | |
| 5 カウンセリングや日常的な相談など、精神的援助の充実 | |
| 6 関係機関やスタッフの充実 | |
| 7 関連機関の紹介や暴力への対応方法など、ドメスティック・バイオレンスに関するいろいろな知識の提供 | |
| 8 離婚訴訟への支援など、法的なサポートの充実 | |
| 9 加害者に対する厳正な対処 | |
| 10 カウンセリングなど、加害者の更生に関する対応の充実 | |
| 11 その他() | |

問25 「性的少数者※1, LGBT※2」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- 1 意味を知っている
- 2 聞いたことはあるが、意味は知らない
- 3 知らない

※1 性的少数者とは

「身体の性」と「心の性」が一致しない人や、恋愛感情などの性的な意識が同性や両性に向かう人、恋愛や性的な感情を誰に対しても抱かない人などのことをいいます。

※2 LGBTとは

L：レスビアン（女性の同性愛者） G：ゲイ（男性の同性愛者）

B：バイセクシュアル（両性愛者）

T：トランスジェンダー（生まれた性と異なる性で生きる人）

問26 性的少数者のことを、自分や自分に関わりのある問題として、悩んだり考えたりしたことはありますか。(該当するものに○)

- 1 自分の問題としてある
- 2 知人のことなど自分に関わりのある問題として) ある
- 3 ない

問27 性的少数者の人権を守るために、どのような取り組みが必要だと思いませんか。(○は2つまで)

- 1 性的指向及び性自認に関する正しい理解のための周知啓発活動
- 2 性的少数者の人権を尊重した学校教育
- 3 相談体制の整備
- 4 性的少数者の利用に配慮した環境整備
- 5 法制度・法的サービスの整備
- 6 その他 ()

8. 情報についておうかがいします

問28 テレビ、ビデオ、インターネット、映画・新聞・雑誌・広告などの表現について日頃どのように感じていますか。(〇は3つまで)

- 1 性別による固定的役割分担を助長する表現が目立つ
- 2 女性の性的側面を過度に強調するなど、行きすぎた表現が目立つ
- 3 社会全体の性や暴力に関する倫理観が損なわれている
- 4 女性に対する犯罪を助長する恐れを感じる
- 5 子どもの目にふれないような配慮が足りない
- 6 見たくないのに見せられて不愉快
- 7 特に問題はない
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問29 パソコンや携帯電話などを利用しての、インターネットによる情報交換をしていますか。(〇は1つ)

- 1 よく利用している
- 2 利用している
- 3 ほとんど利用していない
- 4 全く利用していない

9. 男女共同参画センターについておうかがいします

問30 阿見町が男女共同参画センターを開設していることを知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

※阿見町男女共同参画センターとは

- ・男女共同参画社会推進活動の拠点として、阿見町中央公民館1階に開設しています。
- ・男女共同参画に関する情報の収集や提供、市民活動の支援等を行っています。

問31 男女共同参画センターに必要な機能は何だと思えますか。(〇は2つまで)

- 1 相談機能
- 2 交流機能
- 3 学習機能
- 4 情報提供機能
- 5 国際交流機能
- 6 たまり場機能(高齢者や子育て中の親)
- 7 就労支援機能
- 8 その他 ()

10. 施策の要望についておうかがいします

問32 男女共同参画社会を実現するために、行政サービスとしてどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 保育施設の増設, 保育サービスを充実するなど子育てを支援する
- 2 法律や制度を男女共同参画の視点から見直しを行う
- 3 女性の働く機会を増やしたり, 能力開発を積極的に行うなど女性の就労を支援する
- 4 育児・介護休業を男女がともに取りやすく, 男女が平等に働ける職場環境を整備する
- 5 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 6 学校教育や社会教育において, 男女がともに自立できるような男女共同参画教育を充実させる
- 7 防災(訓練, 避難所運営等)において, 女性の視点を取り入れる
- 8 介護サービスを充実させるなどして, 老後における生活の安定を支援する
- 9 男女共同参画に関する相談窓口を充実させる
- 10 DV等の相談に対応できる専門の相談員を配置する
- 11 生涯学習を推進し, 男女共同参画の視点に立った講座を充実させる
- 12 ボランティア活動や町民活動運動を積極的に支援する
- 13 男女共同参画の視点を取り入れた国際交流を推進する
- 14 性差別や権利侵害に関する苦情処理機関を設置する
- 15 行政サービスを遂行するための町職員への男女平等についての研修を行う
- 16 特にない
- 17 その他 ()

阿見町 男女共同参画に関する
町民意識調査結果報告書

発 行／阿見町 町民生活部 町民活動課
編 集／阿見町 町民生活部 町民活動課
発 行／令和3年6月
